様式第７号

事業報告書

令和３年４月３０日

（あて先）千葉市長　様

所在地　　千葉市中央区千葉寺町１２０８番地２
指定管理者の名称　社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
代表者氏名　　会　長　竹　川　幸　夫　印

地方自治法第２４４条の２第７項及び千葉市療育センターの管理に関する基本協定書第２４条第２項の規定により、下記のとおり提出します。

記

１　施設の名称　　千葉市療育センター
２　事業報告書（令和２年度）　　別紙のとおり

（注）経費決算書（様式第８号）を添付すること。

事 業 報 告 書
（令和２年度）

千葉市療育センター

目　　次

１　管理業務の実施体制に関すること
（１）基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）事業名等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）職務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（５）勤務体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
（６）会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
（７）研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
（８）安全管理（危機管理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
（９）苦情解決・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
（１０）個人情報保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（１１）施設の社会化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
（１２）関係機関との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

２　管理業務の実施に関すること
（１）目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
（２）令和２年度利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（３）事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
（４）就労移行（就労移行、実習等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
（５）工賃向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
（６）健康管理（保健衛生）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６
（７）給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８８
（８）保護者(家族)との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
（９）感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９１
（１０）身体拘束等の禁止及び虐待防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９２
（１１）広報その他の使用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９３
（１２）使用料の確実な徴収（滞納防止）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４

３　維持管理の実施計画に関すること
（１）建築物の保守管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
（２）設備・備品の保守管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１００
（３）警備に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０３
（４）清掃に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０４
（５）植栽等の維持管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０５
（６）駐車場の管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０５
４　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・１０６
５　管理経費の縮減　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９０
６　年度の総括(評価)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９１

1　管理業務の実施体制に関すること

（1）基本理念

ア　療育相談所

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

イ　すぎのこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

ウ　やまびこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

エ　相談支援事業ぱれっと

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供しました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉及び障害者福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して障害児（者）を支援しました。

オ　いずみの家

（ア）一人ひとりの主体性を尊重し、ご利用者本位の施設運営に努めました。

（イ）社会の一員として働く喜びと働く機会を提供しました。

（ウ）地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設け、地域生活の支援を行いました。

カ　ふれあいの家

（ア）ご利用者の社会参加を推進し、生きがいを感じる活動の充実に努めました。

（イ）障害者福祉の増進を図り、ご利用者のさまざまなニーズに応えるよう努めました。

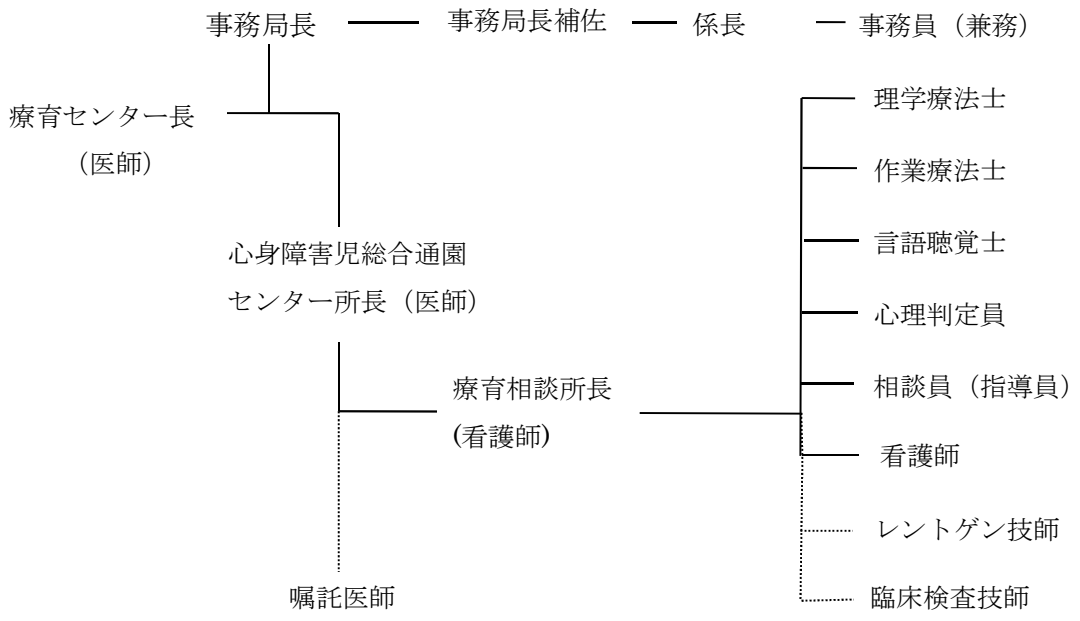
（ウ）医療・保健その他障害者福祉に関連する機関等と積極的に連携し、最良のサービスを提供しました。

（２）事業名等

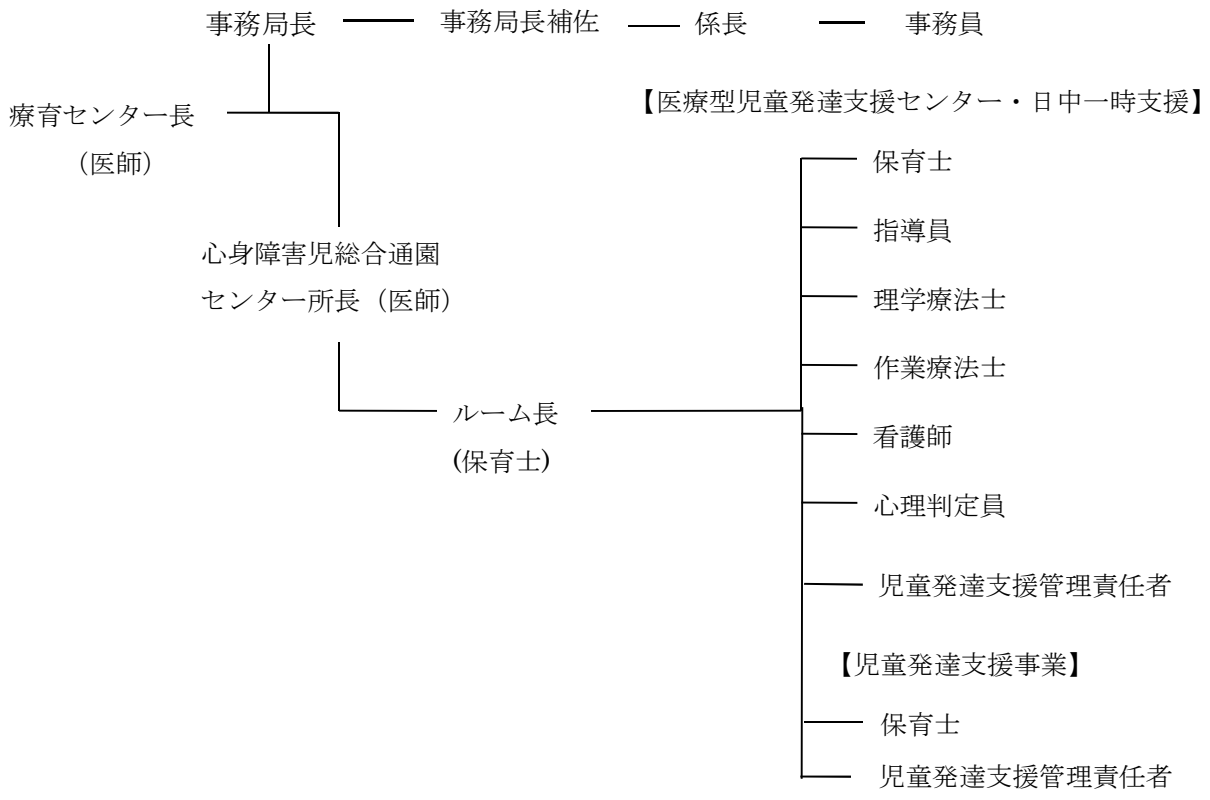
施設名	事　　業	関　係　法　令	定員
療育相談所	外来診療	医療法第７条第１項	―
すぎのこルーム	医療型児童発達支援センター	児童福祉法第６条の２の２第３項	10 人
	児童発達支援事業	児童福祉法第６条の２の２第２項	10 人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第3項	１人
やまびこルーム	福祉型児童発達支援センター	児童福祉法第６条の２の２第２項	20 人
相談支援事業所ぱれっと	特定相談支援事業及び障害児相談支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第16項及び児童福祉法第６条の２第６項	―
いずみの家	就労移行支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第13項	６人
	就労継続支援Ｂ型事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第14項	34 人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第3項	３人
ふれあいの家	身体障害者福祉センターB型事業	身体障害者福祉法第31条	―

（3）組織図

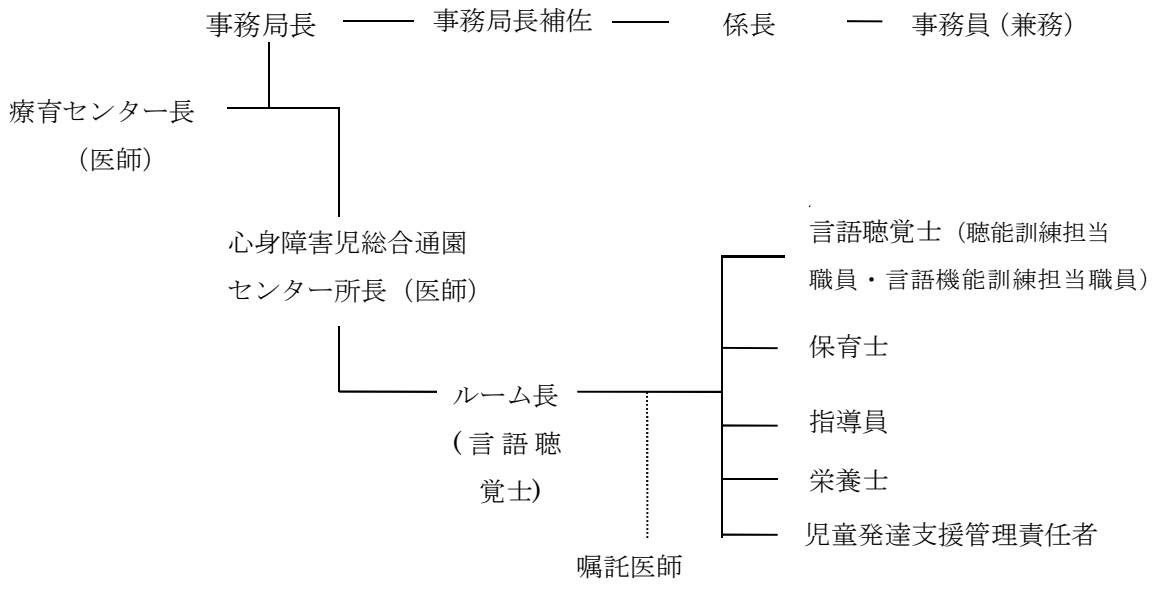
ア　療育相談所



イ　すぎのこルーム

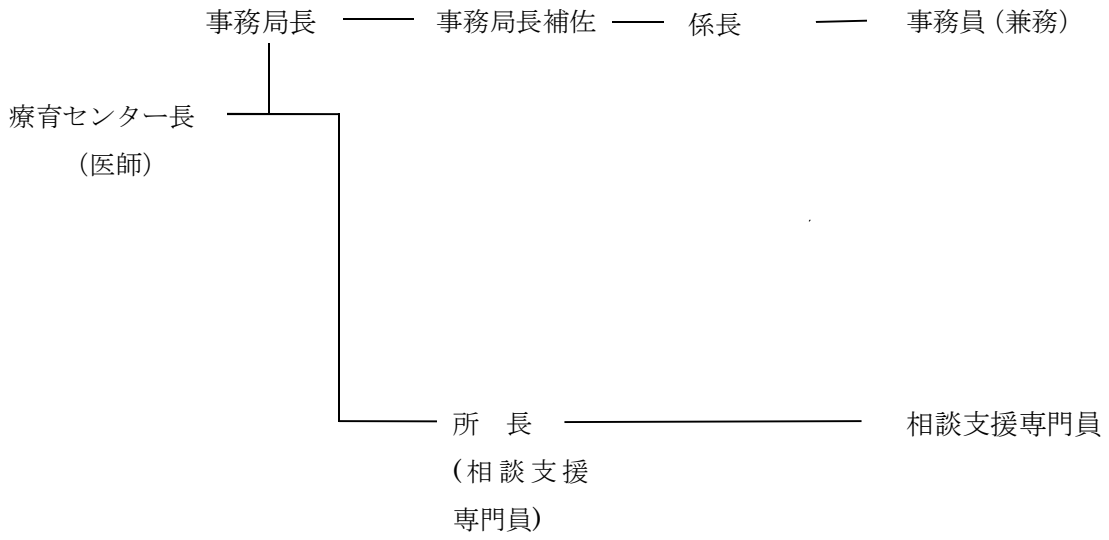


ウ　やまびこルーム

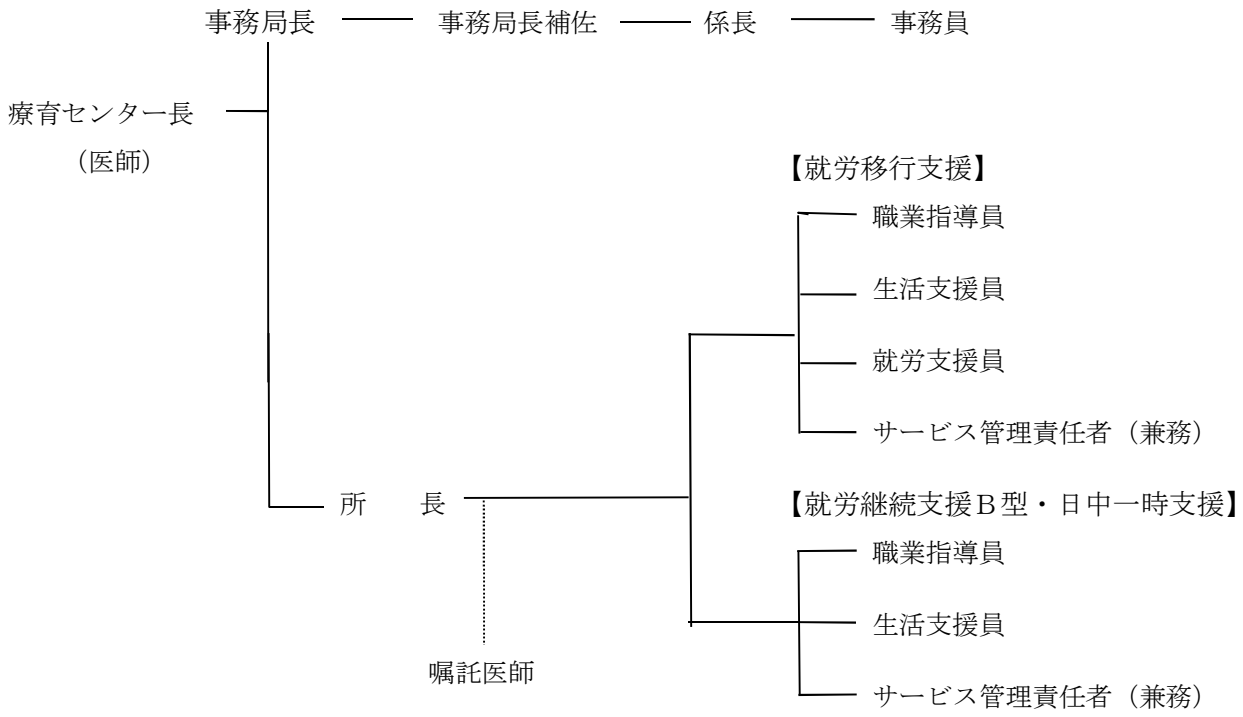


※栄養士は「すぎのこルーム」「いずみの家」の給食業務も担当します。

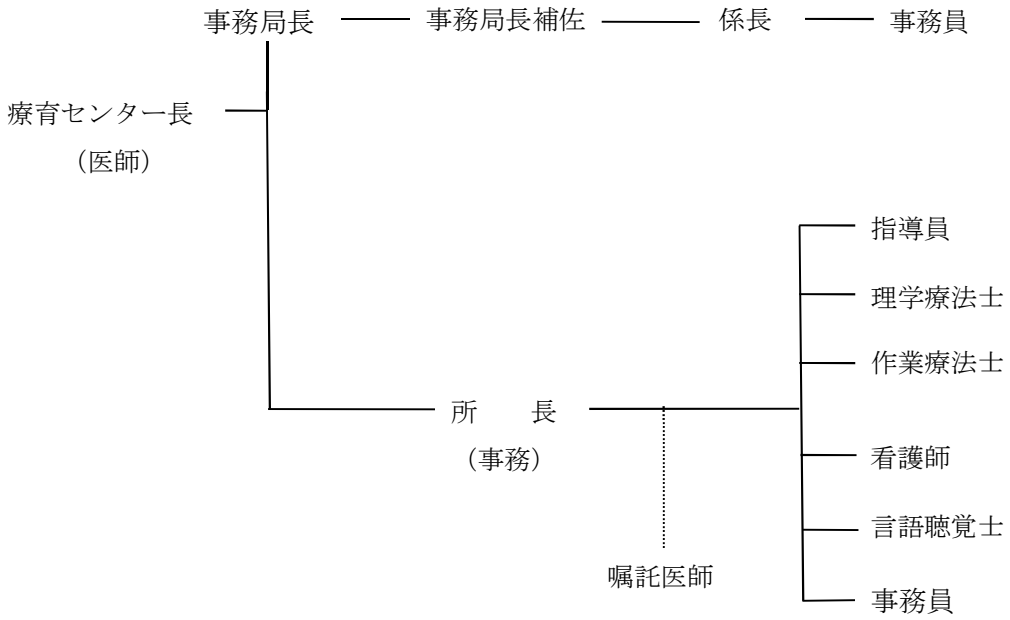
エ　相談支援事業所ぱれっと



オ　いずみの家



カ　ふれあいの家



（4）職務分掌

ア　療育相談所

職　　名	事　　務　　分　　掌
センター長	・療育センター全体の統括に関すること ・保健医療機関としての医療に関する統括管理
事務局長	・療育センター事務局の総括に関すること ・療育センターの基本的な計画に関すること ・労務、人事管理に関すること ・嘱託医師等の連絡調整に関すること ・防火管理責任者に関すること
事務局長補佐	・療育センター各施設の調整に関すること ・公印管理に関すること ・文書管理に関すること ・予算・決算のとりまとめに関すること ・消防計画の作成及び訓練の実施に関すること ・嘱託医師等の雇用に関すること ・各種職員表彰事務に関すること ・施設運営連絡会議の開催に関すること
庶務係長	・係の総括に関すること ・運営方針・事業概要のとりまとめに関すること ・指定管理関係事務に関すること ・全体予算の執行及び調整に関すること ・事務職会議の開催に関すること ・３６協定の認可申請事務に関すること ・担当施設の事務に関すること
所長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること
小児科医師 嘱託小児科医師 嘱託小児神経科医師	・小児科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること ・児の健康に関すること ・医療記録に関すること ・医薬品の処方、管理及び医療機器、備品に関すること
嘱託耳鼻咽喉科医師	・耳鼻咽喉科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
嘱託整形外科医師	・整形外科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること

嘱託精神科医師	・精神科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
非常勤脳波検査技師	・脳波検査に関すること
嘱託レントゲン技師	・レントゲン撮影に関すること
理学療法士	・医師の指示のもと理学療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
作業療法士	・医師の指示のもと作業療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
言語聴覚士	・医師の指示のもと言語・聴覚の評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・聴力検査機器の調整に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
心理判定員	・医師の指示のもと心理発達評価及び指導に関すること ・個別指導計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
相談員	・電話や面接による相談の受理に関すること ・診療・検査・療育等の調整に関すること ・心理・社会的問題の相談に関すること ・福祉制度等の情報提供に関すること ・他機関との連携に関すること ・地域支援に関すること
看護師	・診療に関すること ・診療に関する文書管理 ・衛生管理に関すること ・感染症予防・管理に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・診療窓口業務及び診療報酬請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

イ　すぎのこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること ・医療型児童発達支援センター、児童発達支援事業及び日中一時支援事業の管理運営に関すること ・児童の入退所に関すること ・通所給付費、給食費、医療費会計に関すること ・児童の名簿に関すること ・統計簿、出席簿の作成及び記入に関すること ・利用契約に関すること ・諸会議に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・見学及び利用希望者への相談業務に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること
医師	・診察及び医療に関すること ・ケース会議に関すること ・健康診断に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること
保育士	・療育および生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・ボランティアの受け入れに関すること ・文書作成に関すること

	・諸会議に関すること ・苦情に関すること
指導員	・療育及び生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・利用契約に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成等に関すること ・諸会議に関すること
理学療法士	・児童の姿勢と運動を中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・児童発達支援事業に関すること
作業療法士	・児童の日常生活と遊びを中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・行事に関すること ・食形態・アレルギーに関すること

	・実習生の受け入れに関すること ・児童の送迎に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
心理判定員	・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・個別支援計画の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・児童発達支援事業に関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
看護師	・児童の健康管理および記録に関すること ・診察補助 ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・保護者の保健指導に関すること ・環境・予防衛生に関すること ・食物アレルギーに関すること ・行事に関すること ・諸会議に関すること ・応急処置に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・分離時の医療的ケアに関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

ウ　やまびこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること

	・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・見学希望及び利用希望者への相談業務に関すること ・関係文書の作成及び保存に関すること ・嘱託医師の連絡調整に関すること ・保護者支援に関すること ・親の会との連携に関すること ・児童の言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・入退所者の統計及び報告に関すること
嘱託医師 （耳鼻咽喉科）	・医療に関すること ・診察に関すること
言語聴覚士	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・保護者支援に関すること ・行事に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・在園児の保育所や幼稚園でのコミュニケーションの支援に関すること ・卒園児の支援に関すること ・設備の安全点検に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること
指導員	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・保育の指導計画立案に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・保護者支援に関すること ・保育・行事に関すること ・設備の安全点検に関すること ・苦情処理に関すること ・ボランティアに関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること

保育士	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・保育の指導計画立案に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・保育・行事に関すること ・保護者支援に関すること ・在園児の健康管理に関すること ・設備の安全点検に関すること ・給食業務に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること
栄養士	・やまびこルーム、すぎのこルーム、いずみの家の給食に関すること ・献立の作成に関すること ・調理盛りつけ指導に関すること ・食品の購入検品及び食材管理に関すること ・保護者への栄養指導に関すること ・嗜好調査の実施に関すること ・アレルギー食・特別配慮食に関すること ・給食委託業者の指揮・監督に関すること ・給食会議の実施に関すること

エ　相談支援事業ぱれっと

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長（相談支援専門員）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること ・モニタリングに関すること

	・サービス担当者会議に関すること ・月次報告に関すること
相談支援専門員	・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること ・モニタリングに関すること ・サービス担当者会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・相談支援給付費の請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

オ　いずみの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・保護者会との連携に関すること
サービス管理責任者	・就労移行及び就労継続支援Ｂ型における個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明に関すること ・利用契約に関すること
指導員 （就労支援員） （生活支援員） （職業指導員）	・就労移行支援に関する実務及び総括 ・就労に関する関係各機関との連絡調整及びジョブコーチ支援 ・生活・作業等支援に関すること ・個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・情報提供と相談支援に関すること ・健康管理に関すること ・就労に関すること ・就労後のアフターケアに関すること ・ご家族との連絡調整に関すること ・苦情受付に関すること ・工賃支給に関すること ・ボランティアの受け入れに関すること

	・他機関からの実習等受入に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・障害福祉サービス訓練等給付費の請求に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

カ　ふれあいの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること
指導員	・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・創作活動事業に関すること ・ボランティア養成等事業に関すること ・スポーツ、レクリエーション事業に関すること ・サークル活動に関すること ・声の市政だより事業に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・苦情受付に関すること ・統計事務に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること ・施設、備品の管理に関すること
理学療法士	・機能訓練事業に関すること ・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・巡回機能訓練事業に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・スポーツ、レクリエーション事業に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること

看護師	・更生相談、機能訓練（巡回を含む）に関すること ・利用者の健康管理に関すること ・医療情報の収集 ・講習会等の会場設営、補助、片付け等
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・休暇処理に関すること ・施設（図書館関係、備品等含む）の利用受付に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・声の市政だよりテープ整理他事務補助 ・利用統計事務に関すること ・来所者の接客 ・施設及び備品等の維持管理に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請に関すること
言語聴覚士（嘱託）	・言語訓練等に関すること
作業療法士（嘱託）	・作業療法等に関すること
医師（嘱託）	・医学的相談に関すること ・判定に関すること

（５）勤務体制

（人）

施設	職種	R2.4.1人員		R3.3.31現在		増減		備考
		常勤	非常勤 嘱託	常勤	非常勤 嘱託	常勤	非常勤 嘱託	
療育相談所	医師	1	8	1	10		2	センター長　常勤嘱託1
	理学療法士	1		1				
	作業療法士	2		2				
	言語聴覚士	4	1	4	1			
	心理判定員	4		4				
	指導員(相談員)	4		4				
	看護師	1	4	1	4			所長 常勤1
	レントゲン技師		1		1			
	臨床検査技師		1		1			
	事務員	4	1	4	1			
すぎのこルーム	保育士	4	1	4			△1	ルーム長　常勤1
	指導員	2		1	1	△1	1	
	心理判定員	1		1				
	理学療法士	1	1	1	1			常勤1育児休業　代替1
	作業療法士	1		1				
	看護師	1		1				
	事務員		2		1		△1	
やまびこルーム	言語聴覚士	4		4				ルーム長　常勤1
	保育士		2		2			
	指導員	1		1	1		1	
	栄養士	1		1				
	医師		3		3			
	事務員		1		1			
相談支援事業所	指導員(相談支援専門員)	5		5				所長 常勤1
ぱれっと								
いずみの家	指導員(職業・生活・就労指導員)	7	5	7	5			所長 常勤1
	事務員	1		1				
	医師		1		1			
ふれあいの家	指導員	1	2	2	3	1	1	
	理学療法士	1		1				
	看護師		2		2			
	言語聴覚士		1		1			
	作業療法士		1		1			
	医師		2		2			
	事務員	2	2	2	2			所長　常勤1
計		54	42	54	45		3	

職　　種	勤　務　時　間	
事務員	A	８：３０～１７：１５
	B	９：００～１７：４５
センター長・所長・ルーム長・看護師・理学療法士・作業療法士・心理判定員・指導員（相談員・支援員・相談支援専門員）・言語聴覚士・保育士・栄養士	８：４５～１７：３０ ※いずみの家の日直当番 （８：３０～１７：１５）	

（６）会議

ア　療育相談所

（ア）職員連絡会議　（研修報告会の開催を月１回含む）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	8日	15日	22日				3	所長、看護師、相談員、PT、OT、ST、心理判定員
5月	13日	20日	27日				3	
6月	3日	10日	17日	24日			4	
7月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
8月	5日	12日	19日	26日			4	
9月	2日	9日	16日	23日	30日		5	
10月	7日	14日	21日	28日			4	
11月	4日	11日	18日	25日			4	
12月	2日	9日	16日	23日			4	
1月	6日	13日	20日	27日			4	
2月	3日	10日	17日	24日			4	
3月	3日	10日	17日	24日	31日		5	
計							49	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月								
4月	3日	10日	17日	24日			4	医師、所長、看護師、相談員、PT、OT、ST、心理判定員
5月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
6月	5日	12日	19日	26日			4	
7月	3日	10日	17日	31日			4	
8月	7日	14日	21日	28日			4	
9月	4日	11日	18日	25日			4	
10月	2日	9日	16日	23日	30日		5	
11月	6日	13日	20日	27日			4	
12月	4日	11日	18日	25日			4	
1月	8日	15日	22日	29日			4	
2月	5日	12日	19日	26日			4	
3月	5日	12日	19日	26日			4	
計							50	

イ　すぎのこルーム

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	6日	20日	22日				3	ルーム長、看護師、PT、OT、保育士、指導員、心理判定員
5月	11日	18日					2	
6月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
7月	2日	8日	27日				3	
8月	7日						1	
9月	7日	28日					2	
10月	19日	26日					2	
11月	2日						1	
12月	14日	21日					2	
1月	18日						1	
2月	1日	8日	15日	22日			4	
3月	1日	8日	15日	22日			4	
計							30	

（イ）ケース会議（医療型児童発達支援センター）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
5月	22日						1	ルーム長、医師、看護師、PT、OT、保育士、指導員、心理判定員
9月	16日						1	
11月	30日						1	
12月	7日						1	
1月	19日						1	
計							5	

（ウ）個別支援計画会議

開催回数　児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種　ルーム長、看護師、ＰＴ、ＯＴ、保育士、指導員、心理判定員

（エ）リハビリテーション計画会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
5月	1日						1	ルーム長、医師、看護師、PT、OT、心理判定員、保育士、指導員
8月	26日						1	
2月	1日	8日					2	
3月	1日						1	
計							5	

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日１６時３０分よりヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、看護師、ＰＴ、ＯＴ、保育士、指導員、心理判定員

（カ）給食会議（すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家）

①委託者会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	3日						1	栄養士、委託職員、すぎのこルーム担当者、やまびこルーム担当者、いずみの家担当者
5月	8日						1	
6月	4日						1	
7月	7日						1	
8月	7日						1	
9月	4日						1	
10月	7日						1	
11月	9日						1	
12月	9日						1	
1月	7日						1	
2月	4日						1	
3月	4日						1	
計							12	

②給食担当者会議（すぎのこルーム、大宮学園たけのこルーム）

開催回数：０回　施設間での給食提供に関する調整等を行うため開催していますが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症対応により開催しませんでした。

参加職種：ルーム長、栄養士、看護師、ＯＴ、委託職員

（キ）児童発達支援事業グループ別療育会議

開催回数：１日２回（９：３０～１０：００　１４：００～１４：３０）実施しました。

参加職種：ルーム長、保育士、指導員、心理判定員

（ク）児童発達支援事業調整会議（すぎのこルーム、療育相談所、大宮学園たけのこルーム）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
8月	27日						1	医師、園長、ルーム長、保育士、指導員、療育相談所関係職員
2月	5日						1	
計							2	

（ケ）児童発達支援事業ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	13日	17日					2	医師、ルーム長、保育士、指導員、心理判定員、療育相談所関係職員
5月							0	
6月							0	
7月	31日						1	
8月	7日						1	
9月	18日						1	
10月							0	
11月							0	
12月	4日	18日					2	
1月	15日						1	
2月	5日						1	
3月	12日	19日					2	
計							11	

ウ　やまびこルーム

（ア）運営会議

開催日								月実施回数	構成職員
月	日								
4月	7日	14日						2	ルーム長、保育士、指導員、言語聴覚士
5月	12日	19日	26日					3	
6月	2日	9日	16日	23日	25日	30日		6	
7月	4日	7日	14日	21日	28日			5	
8月	4日	11日	18日	25日				4	
9月	1日	7日	15日	28日				4	
10月	6日	13日	20日	27日				4	
11月	10日	17日	24日					3	
12月	1日	8日	15日	22日				4	
1月	5日	12日	14日	19日	26日			5	
2月	2日	9日	16日	18日				4	
3月	2日	3日	4日	9日	16日	23日	30日	7	
計								51	

（イ）ケース会議

開催日								月実施回数	構成職員
月	日								
4月	9日	16日	21日	23日	24日	28日	30日	7	ルーム長、保育士、指導員、言語聴覚士
5月	14日	21日	27日	28日				4	
6月	4日	11日	18日					3	
7月	2日	9日	30日					3	
8月	6日	13日						2	
9月	3日	10日	17日	24日				4	
10月	1日							1	
11月	26日							1	
12月	3日	10日	17日					3	
1月								0	
2月	4日							1	
3月	11日	18日	25日					3	
計								32	

（ウ）個別支援計画作成会議

開催日：児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種：ルーム長、保育士、指導員、言語聴覚士

（エ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日１７時より、終礼時にヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、保育士、指導員、言語聴覚士

（オ）言語聴覚士会議

開催日：月２回、月曜日９時～１０時　個別指導、保護者支援の課題の検討を行いました。

参加職種：ルーム長、言語聴覚士

エ　相談支援事業所ぱれっと

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	10日						1	所長、相談支援専門員
5月	15日						1	
6月	12日						1	
7月	21日						1	
8月	25日						1	
9月	23日						1	
10月	21日						1	
11月	25日						1	
12月	16日						1	
1月	14日						1	
2月	16日						1	
3月	23日	31日					2	
計							13	

（イ）サービス担当者会議

利用児（者）が使用する福祉サービス提供事業所の担当者と利用計画等についての連絡調整を随時行いました。

オ　いずみの家

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	7日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	12日						1	
6月	2日						1	
7月	7日						1	
8月	4日						1	
9月	1日						1	
10月	6日						1	
11月	10日						1	
12月	1日						1	
1月	5日						1	
2月	2日						1	
3月	2日						1	
計							12	

（イ）支援会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	21日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	19日						1	
6月	16日						1	
7月	21日						1	
8月	18日						1	
9月	15日						1	
10月	20日						1	
11月	17日						1	
12月	15日						1	
1月	19日						1	
2月	9日						1	
3月	16日						1	
計							12	

（ウ）サービス検討会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	28日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	26日						1	
6月	23日						1	
7月	28日						1	
8月	25日						1	
9月	29日						1	
10月	27日						1	
11月	24日						1	
12月	22日						1	
1月	26日						1	
2月	16日						1	
3月	23日						1	
計							12	

（エ）個別支援計画検討会議

開催日：利用者１人に対して継続Ｂ型年２回、移行年４回実施しました。

参加職種：所長、サービス管理責任者、指導員

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日８時４５分より、前日のヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：所長、サービス管理責任者、指導員

カ　ふれあいの家

（ア）職員連絡会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	15日						1	所長、指導員、PT、看護師、ST、OT、事務職員
5月	20日						1	
6月	17日						1	
7月	15日						1	
8月	28日						1	
9月	18日						1	
10月	21日						1	
11月	18日						1	
12月	16日						1	
1月	20日						1	
2月	17日						1	
3月	24日						1	
計							12	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月							0	所長、指導員、PT、OT、ST、看護師
5月							0	
6月	12日	26日					2	
7月	8日	22日					2	
8月		21日					1	
9月	9日						1	
10月	14日						1	
11月	11日	25日					2	
12月	11日	23日					2	
1月	13日	27日					2	
2月	10日	24日					2	
3月	10日	24日					2	
計							17	

（ウ）講習会等推進会議

新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため中止（書面開催）

（エ）身体障害者福祉センター連携会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
10月	7日						1	指導員・理学療法士
3月	24日						1	
計							2	

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日８時５０分からの打合せ時に、ヒヤリハット事項について報告し、必要に応じ会議にて対応と再発防止策を検討しました。

参加職種：所長、指導員、看護師、ＰＴ、ＯＴ、言語聴覚士、事務員

キ　その他

（ア）心身障害児総合通園センター運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	16日						1	センター長、総合通園センター所長、事務局長、大宮学園長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、ひまわりルーム長、たけのこルーム長、ぱれっと所長
5月	21日						1	
6月	18日						1	
7月	16日						1	
8月	20日						1	
9月	17日						1	
10月	15日						1	
11月	19日						1	
12月	17日						1	
1月	21日						1	
2月	18日						1	
3月	18日						1	
計							12	

（イ）施設運営連絡会議（療育センター全体）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	9日						1	事務局長、事務局長補佐、センター庶務係長、療育センター各施設長、大宮園長、大宮学園庶務係長
6月	11日						1	
8月	4日						1	
10月	7日						1	
12月	10日						1	
2月	10日						1	
計							6	

（ウ）感染症に対する体制における会議

ａ　感染症予防委員会

開催日：令和２年６月３０日

内　容：新型コロナウイルスへの対応及び食中毒注意報発令に伴う対応について開催しました。

参加職員：療育ｾﾝﾀｰ（大宮学園含む）の各施設委員及び事務局長、事務局長補佐

※　新型コロナウイルスへの対応については、年間を通して心身障害児総合通園センター運営会議及び施設運営連絡会議において対応の協議や情報共有を行いました。

b　感染症対策会議

開催日：令和３年３月１７日

内　容：新型コロナウイルス陽性者発生への対応について開催しました。

参加職員：療育センター長及び事務局長、通園センター所長、事務局長補佐

（エ）虐待防止委員会

開催日：令和３年６月１１日

内　容：「虐待防止に関する指針」の周知徹底等及び家族による虐待の事例報告を実施しました。

参加職員：療育センター（大宮学園含む）各施設長及び事務局長、事務局長補佐、各係長

（オ）療育相談所見直しプロジェクト会議

開催日：令和３年５月１５日・２９日

内　容：協議会会長に任命された職員により構成され、療育相談所の役割や部門設置の検討、待機期間の短縮とご家族の不安軽減などのため、機能見直しと新たな運用フロー構築を図るため、２回の会議を開催しました。

参加職員：療育センター長、療育センター事務局長、療育相談所長、各療育相談所専門スタッフ、施設福祉総務課長補佐

（カ）療育センター事務局会議

事務局内での報告、連絡の情報共有、課題の検討等を行いました。

開催日：週１回　水曜日１５時３０分～１６時３０分（４５回開催）

参加職員：事務局長、事務局長補佐、庶務係事務職員

（キ）事務管理会議（療育センター全体）

療育センター及び大宮学園における事務管理業務の共通化・効率化のために実施。

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	22日						1	事務局長補佐、療育センター係長、大宮学園係長
5月	27日						1	
6月	11日						1	
7月	29日						1	
8月	27日						1	
9月	29日						1	
10月	7日						1	
11月	26日						1	
12月	10日						1	
1月							0	
2月	2日						1	
3月	19日						1	
計							11	

（ク）専門職会議（千葉市社会福祉事業団専門職）

職種	回数	開催日			
指導員	3回	7/14	10/8	3/11	
看護師	3回	6/17	10/21	3/10	
栄養士	3回	6/26	10/27	2/17	
心理判定員	3回	8/19	11/25	2/24	
言語聴覚士	3回	7/29	11/25	3/17	
理学療法士	2回	7/7	10/6		
作業療法士	4回	7/16	10/14	1/13	3/11
保育士	2回	7/8	10/28		
社会福祉士	1回	6/23			

（7）研修

常に新しい知識・情報を共有できるよう研修会に積極的に参加しました。

ア　療育相談所

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第14回こども発達支援研修会	ＳＳＴの理論と支援実践	心理判定員	1人	8/23	オンライン
日本行動分析学会　第38回年次大会	ＡＳＤ児に対する介入研究	心理判定員	1人	8/28～30	オンライン
サービス管理責任者研修	児童発達支援管理責任者基礎研修	相談員	1人	9/23～24	
共働力研修	共に協働していく価値を再認識	心理判定員	1人	10/21	
第61回児童青年精神医学会総会	児童青年精神医学のこれから	心理判定員	1人	10/24	オンライン
第84回言語発達障害研究会定例会	はじめての質問-応答関係検査	言語聴覚士	1人	10/30	オンライン
千葉県特別支援教育研究連盟言語障害教育研究部会	新版　構音検査について	言語聴覚士	1人	11/3	オンライン
日本乳幼児教育学会第30回大会	乳幼児教育に関する最新の知見と動向	心理判定員	1人	11/14～15	オンライン
認知機能改善のための実践トレーニング	前頭葉・実行機能プログラム（ＦＥＰ）を活用した認知機能改善のための実践トレーニング	心理判定員	1人	11/23	オンライン

サービス管理責任者研修	児童発達支援管理責任者基礎研修	理学療法士	1 人	12/9・11	
サービス管理責任者研修	児童発達支援管理責任者基礎研修	作業療法士	1 人	12/14・15	
発達障害医学オンラインセミナー	発達障害者にみられる内科的な併存症の理解と対応	作業療法士	1 人	1/12～25	オンライン
ペアレントトレーニング基礎講習会	ペアレントトレーニング実践ガイドブックとコアエレメント	言語聴覚士	1 人	2/12	オンライン
千葉県公認心理師セミナー	相談希望がなくても関わらなくてはいけないケースへの対応	心理判定員	1 人	2/28	オンライン
管理職研修	ハラスメントについて	所長	1 人	3/19	
サービス管理責任者更新研修	児童発達支援管理責任者更新研修	主任相談員	1 人	3/23	
【内部研修】社会福祉協議会施設交流研修	他施設の見学とグループ討論	言語聴覚士	1 人	11/4	
【内部研修】福祉サービス苦情解決研修	苦情解決と対応について	主任相談員	1 人	1/18	
【内部研修】メンタルヘルス研修	レジリエンスの基礎	相談員	1 人	2/19	

イ　すぎのこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第４５回発達臨床セミナー	子どもたちの深い学びを支える視点等	作業療法士	1 人	10/3	オンライン
令和２年度千葉県管理責任者基礎研修	児童発達支援管理責任者基礎研修	作業療法士	1 人	10/20・21	オンライン
令和２年度福祉サービス苦情解決研修	苦情解決におけるリスクマネジメント	心理判定員	1 人	12/18	
令和２年度千葉市社会福祉協議会中堅職員研修	キャリアデザイン研修	保育士 看護師	2 人	12/25	
医療的ケア看護師研修会	医療的ケアに関する知識と技術について	看護師	1 人	12/26	オンライン
発達障害医学セミナー	発達障害者に見られる内科的な依存症の理解	心理判定員	1 人	配信期間 1/12	オンライン

	と対応について			～25	
令和２年度第１回保健部会	新型コロナウイルス感染症による事業所運営について	看護師	１人	1/18	
令和２年度障害者虐待防止・権利擁護研修	施設における虐待防止の体制整備と管理者の責務について	保育士	１人	1/22	オンライン
管理職研修	ハラスメントについて	ルーム長	１人	3/19	
第４８回公開研究会	知的障害児の深い学びをどう支えるか	保育士	１人	3/11	オンライン
【内部研修】虐待防止に関する指針について	虐待防止に関する指針	全職員	８人	8/17	
【内部研修】呼吸リハビリテーションについて	呼吸法について	全職員	10 人	9/16	
【内部研修】感染症について	感染症について	全職員	９人	12/4	

ウ　やまびこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
保護者勉強会講師（東京医療センター医師）との研修会	ケース報告・情報交換	全職員	８人	7/4	
AGBell グローバル LSL シンポジウム	リスニングと話し言葉に関連する最新の研究と革新的な実践について	言語聴覚士	１人	7/9～10 7/27～8/14	オンライン
補聴器フィッティング研修（ソノヴァ・ジャパン株式会社担当者）	補聴器のフィッティングについて、ケース相談および研修	言語聴覚士	３人	8/21	
第６５回日本聴覚医学会学術講演会学術講演会	ヒト脳内回路に内在する可塑性：ＭＲＩ研究でみえてきたこと	言語聴覚士	２人	10/27～11/24	オンライン
「フォナックＡＰＡＣ Outlook 2020」セミナー	フォナックのブランド哲学・製品紹介・トレンドについて	言語聴覚士	３人	11/5	オンライン
ＡＥＤ心肺蘇生法研修	ＪＲＣ蘇生ガイド 2015 に基づくＡＥＤを用い	言語聴覚士、指導員	２人	11/18・12/2	

	た心肺蘇生法及び異物除去法の救命処置と止血法の講義・演習				
福祉職員キャリアパス対応生涯研修　チームリーダーコース	キャリアデザインとセルフマネジメントに関する講義とグループワーク	言語聴覚士	1人	11/26・27	
難聴児の切れ目のない支援体制の構築とさらなる支援の推進に向けた全国研修会	難聴児の早期支援に携わる保健・医療・福祉教育関係者の難聴児理解等	ルーム長	1人	事前配信 11/13～12/10 12/11	オンライン
コクレア　人工内耳　研修（コクレア社　テクニカルサービス課担当者）	人工内耳のプログラミングについて	言語聴覚士	2人	1/6	
オンライン会議・研修の手法を楽しく学ぼう	ZOOMの基本機能の説明、体験、レクリエーション	保育士・指導員	4人	1/18	オンライン
令和２年度福祉サービス苦情解決研修会（応用編）	福祉サービスにおける苦情解決の基本視点	指導員	1人	1/18	
障害者虐待防止・権利擁護研修	障害者虐待防止法の概要及び留意事項、通報義務について	指導員	1人	1/22	オンライン
ペアレントトレーニング基礎　講習会	まめの木式をベースにしたペアレントトレーニングプログラム	言語聴覚士	1人	2/12	オンライン
コクレア　プロフェッショナル　ウェビナー	人工内耳装用児者とその家族との関わり方について	言語聴覚士	1人	2/19	オンライン
令和２年度メンタルヘルス研修（レジリエンス研修）	レジリエンスの基礎を学び、日々の業務やプライベートにも応用することにより、自身のライフワークバランスを保ちながら業務にあたることを目指す	言語聴覚士	1人	2/26	
聴覚を活用した聴覚障がい児教育オンラインセミナー	難聴児療育システムの構築と補聴器・人工内耳での療育の成果。日本中での厚労省研究も	言語聴覚士	2人	事前配信 2/17～26 全体会	オンライン

	含めて			２/26	
きっともっとずっと聴こう！10　聞いて話せる難聴児を育てるための講演会とワークショップ	聴く脳を育てる難聴児療育	言語聴覚士	２人	3/6・7	オンライン
管理職研修	ハラスメントについて	ルーム長	１人	3/19	
【内部研修】危機管理計画について	療育センターの危機管理計画について	全職員	８人	9/7	
【内部研修】保護者向けセミナーを聴講（全９回）	難聴理解に関して	指導員	１人	11/30～3/22	オンライン
【内部研修】感染症対策	感染症の対応および嘔吐処理についての研修・演習	全職員	８人	12/22	
【内部研修】虐待防止	虐待防止と権利擁護について	全職員	８人	2/16	

エ　ぱれっと

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会	千葉市６区センター開設に伴い、他自治体の実践例から千葉市の基幹相談支援の在り方を考える。	所長	１人	9/29	オンライン
相談援助技術研修「面接技術」	面接技術の基本について学ぶ。	所長	１人	10/14	
相談支援現任者研修	相談支援専門員の知識、技術の確認	主任指導員	２人	12/5	オンライン
令和２年度福祉サービス苦情解決研修会	苦情解決について学ぶ。	主任指導員	１人	1/18	
家族のヘビークレームへの対応	ヘビークレームへの対応方法を学ぶ。	所長	１人	1/18	オンライン
令和２年度虐待防止・権利擁護研修	管理者・マネージャーの障害者虐待・権利擁護の視点を学ぶ。	主任指導員	１人	1/22	オンライン
令和２年度虐待防止・権利擁護研修	苦情解決について学ぶ。	主任指導員	１人	2/12	
若葉・美浜・緑・中央区	精神障害のある方の疾患	主任指導員	２人	2/16	オンライン

合同意見交換会研修	の理解、保健所との連携、当事者のおもいを学ぶ。				
相談業務の基本的な対応技法	精神障害者への対応から学ぶ、具体的な聴き方・話し方・終わらせ方（オンライン ZOOM）	所長	1 人	3/4	オンライン
令和 2 年度第 3 回 CSW 事例検討会	事例検討（多問題家族支援と連携）	所長・主任指導員	3 人	3/8	オンライン
緑区障害児・者支援他職種連携の会みどりっこクラブ	新型コロナ渦の障害児・者支援の在り方について	所長	1 人	3/12	オンライン
【内部研修】虐待防止研修（伝達研修）	令和 2 年度虐待待防止・権利擁護研修の伝達	全職員	4 人	2/16	

オ　いずみの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
就労支援フォーラム NIPPON フクオカ	働く「重度」障害者が変える社会　共生社会は何を生み出すのかを学ぶ	指導員	1 人	11/18	
新型コロナ感染症クラスター発生とその終息までの対応	北総育成園でおきたウイルスのクラスターに対してどのような感染対策をとったのか	所長	1 人	12/3	
福祉サービス苦情解決研修会（基礎編）	苦情解決に取り組む意義と福祉サービス事業者の役割	指導員	1 人	12/14	
オンライン会議・研修の手法を楽しく学ぼう	「ZOOM」によるオンライン会議を体験し今後の事業及び活動に導入するきっかけとする	主任指導員	1 人	1/18	オンライン
福祉職に必要なメンタルヘルス・ストレスマネジメント	職場でのメンタルヘルス対策の必要性やクレーム対応とメンタルヘルス、対応能力を養う	主任指導員	1 人	2/12	
管理職研修	ハラスメントについて	所長	１人	3/19	
【内部研修】新規作業について	受注作業の新規開拓に向けた取り組みのノウハウ	全職員	9 人	9/15	

	を学ぶ				
【内部研修】苦情解決研修（基礎編）	施設内で福祉サービス苦情解決研修会の報告と演習議題を行った	全職員	9 人	2/16	
【内部研修】メンタルヘルス・ストレスマネジメント	職場でのメンタルヘルス対策の必要性やクレーム対応とメンタルヘルス、対応能力を養う	全職員	9 人	3/23	

カ　ふれあいの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
初級障がい者スポーツ指導員養成講習	障害者スポーツ指導者の養成	所長	１人	10/3・4・10・11	
会計システム研修	消費税の知識・仕分け、会計システムの操作	所長	１人	10/23	
中堅職員研修（キャリアデザイン研修）	モチベーションマネジメントのスキル習得	理学療法士指導員	2 人	12/25	
メンタルヘルス研修（レジリエンス研修）	レジリエンスの基礎	指導員	１人	2/19	
災害ボランティアセンター運営講座	災害ボランティアセンターの基礎	所長	１人	3/4	
災害ボランティアセンター開設・運営訓練	運営ボランティア、作業ボランティア訓練	所長	１人	3/10	
管理職研修	ハラスメントについて	所長	１人	3/19	
【内部研修】介護予防勉強会	理学療法士による体操や座学	全職員	11 人	6/12・7/10	
【内部研修】感染症対策勉強会	嘔吐対応	全職員	8 人	10/30	
【内部研修】災害対応勉強会	避難救助袋の使用方法と体験	全職員	12 人	11/11	
【内部研修】脳震盪対応勉強会	頭部損傷発生時の初期対応	全職員	13 人	12/16	
【内部研修】スポーツ系教室利用者対応勉強会	スポーツ系教室での事故防止対応や疑問点のディスカッション	全職員	12 人	1/20	
【内部研修】	窓口や利用者対応で使え	全職員	11 人	2/17	

受付で使う手話勉強会	る初歩手話の習得				
【内部研修】 普通救命講習会	救命処置、AED の操作、応急手当の方法	全職員	11 人	3/5	
【内部研修】 受付対応について	受付対応、体育室の予約手順等	全職員	6 人	3/17	

キ　センター事務局

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
ＳＫＹＳＥＡ運用研修	ネットワークセキュリティソフトのＳＫＹＳＥＡの運用と使い方を学ぶ	事務	4 人	7/15	
セルフコントロール研修	自己の感情・行動のコントロール方法を学ぶ	事務	1 人	7/21	
令和２年度第１回給食部会	各施設状況報告、令和2年度計画、その他	栄養士	1 人	10/19	
第一種衛生管理者受験対策実践講習	労働者の安全衛生を学ぶ	事務	1 人	10/19～21	
会計システム研修	社協会計システムの使用法について	事務	4 人	10/19・23	
安全運転管理者講習	組織における安全な運転の確保、指導管理を学ぶ	事務	1 人	11/11	
衛生推進者養成講習	労働衛生・労働管理及び作業環境管理を学ぶ	事務	1 人	1/5	
千葉市指定管理者研修会	公の施設における市民サービス向上	事務	1 人	2/16	
メンタルヘルス研修（レジリエンス研修）	レジリエンスの基礎（人材育成）	事務	1 人	2/19	
令和２年度災害ボランティアセンター運営講座	災害が発生したときの千葉市社会福祉協議会の体制について等	事務	６人	3/4	
普通救命講習	ＡＥＤを用いた心肺蘇生法	事務	1 人	3/5	
管理職研修	ハラスメントについて	管理職	２人	3/14	

ク　センター共通

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第１４回プライマリケア医のための子供の心診療セミナー	発達障害児の診療・支援のポイント、上手な連携方法について	医師	１人	10/4	オンライン
第４３回日本小児遺伝学会学術集会	遺伝性・先天性疾患について	医師	１人	1/8・9	オンライン
第２１８回日本小児科学会千葉地方会	小児悪性固形腫瘍を対象とした小児がんパネル開発の試みと小児がんゲノム医療の展望	医師	１人	2/21	オンライン
第１５回プライマリケア医のための子供の心診療セミナー	落ち着きのない子どもへの外来診療エッセンス他	医師	１人	3/7	オンライン

（８）安全管理（危機管理）

ア　災害対策の内容

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉事業団で統一した災害対応マニュアルを整備し、災害時に備えました。

ａ　災害レベル別の配備計画

	配備時期の目安	配備体制
警戒配備	市内に地震、風水害等の警報が発令された場合。	施設長は情報収集に努め、職員は速やかに次の段階の体制がとれるように、緊急役割分担の再確認（夜間・休館日は自宅待機）を行って、準備を整える。
第１配備	事業実施に支障はない程度の災害が発生、またはその恐れがある場合。もしくは、市内に震度５弱程度の地震が発生した場合。	初期対応班が必要な対応を行い、状況を施設長に報告する。施設長は必要に応じて、事務局および千葉市に報告する。 夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める場合は、担当職員を施設へ配備する。
第２配備	施設で災害が発生し、今後の事業実施に影響を及ぼす状況である場合。または、市内に震度５強程度の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制により、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、施設長は、事務局および千葉市に報告する。夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める、担当職員を施設へ配備する。
第３配備	施設で災害が発生し、事業実施が困難な状況である場合。または、市内に震度６以上の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制にのっとって、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、初期対応が落ち着き次第、施設長は、事務局および千葉市に報告する。また、施設の閉鎖および近隣住民のための開放などについて、千葉市と相談し対応を図る。

ｂ　災害を想定した消防・防災訓練の実施

消防計画に基づき、火災、地震等の災害を想定し、避難訓練を実施しました。また、療育センター全体での防災訓練（総合）を実施しました。なお、防災訓練（総合）のうち一回は、厚生労働省からの指示に基づき「水害・土砂災害の場合」を想定した訓練を実施しました。※「総合」とは通報・消火・避難等の総合防災訓練

(a)療育相談所（事務等含む）

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5月	20日			○	13人	センター全体訓練参加
8月	13日			○	2人	センター全体訓練参加
11月	20日			○	12人	センター全体訓練参加

(b)すぎのこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4月	9日	○	○		7人	
5月	7日	○	○		7人	
5月	20日			○	17人	センター全体訓練参加
6月	10日	○	○		10人	
7月	28日	○	○		19人	
8月	13日			○	13人	センター全体訓練参加
8月	26日	○	○		16人	
9月	24日	○	○		18人	
10月	8日	○	○		12人	
11月	17日	○	○		15人	
11月	20日			○	16人	センター全体訓練参加
12月	24日	○	○		23人	
1月	7日	○	○		10人	
2月	25日	○	○		18人	
3月	25日	○	○		17人	

(c)やまびこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4月	16日	○	○		8人	
5月	15日	○	○		14人	
5月	20日			○	7人	センター全体訓練参加
6月	10日	○	○		22人	
7月	10日	○	○		20人	
8月	13日			○	5人	センター全体訓練参加
	19日	○	○		13人	
9月	15日	○	○		25人	
10月	26日	○	○		16人	
11月	20日			○	8人	センター全体訓練参加
	27日	○	○		20人	
12月	9日	○	○		18人	
1月	15日	○	○		12人	
2月	24日	○	○		25人	
3月	11日	○	○		18人	

(d)相談支援事業所ぱれっと

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5月	20日			○	4人	センター全体訓練参加
8月	13日			○	4人	センター全体訓練参加
11月	20日			○	4人	センター全体訓練参加

(e)いずみの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4月	24日	○	○		29人	火災想定
5月	20日			○	33人	センター全体訓練参加
6月	8日	○	○		38人	地震、火災想定
7月	21日	○	○		42人	火災想定
8月	13日			○	26人	センター全体訓練参加
	28日	○	○		38人	火災想定
9月	16日	○	○		41人	地震、火災想定
10月	8日	○	○		39人	火災想定
11月	20日			○	37人	センター全体訓練参加
12月	3日	○	○		38人	地震、火災想定
1月	18日	○	○		35人	地震、火災想定
2月	12日	○	○		35人	火災想定
3月	2日	○	○		37人	地震、火災、津波想定

(f)ふれあいの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5月	20日			○	1人	センター全体訓練参加
7月	17日			○	27人	はまのわ全体訓練参加
11月	20日			○	1人	センター全体訓練参加
12月	11日	○			45人	はまのわ全体訓練参加

イ　事故発生時の報告体制

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉事業団で危機管理計画を策定し、これに基づく「事故対応マニュアル」を整備し事故発生時に備えました。

（イ）事故発生時の対応

事故が発生した場合は、利用者の安全確保を最優先に迅速に対応しました。また、事故後リスクマネジメント会議を開催し、事故が発生した要因を把握するとともに、事故の再発を防止するための改善策について検討しました。

（ウ）事故発生時および緊急時の連絡

災害等による被害や建物、設備についての事故はありませんでした。

ウ　その他

千葉市から「拠点的福祉避難所」の指定を受けており、災害時に備えました。

（９）苦情解決

当協議会福祉サービスに関する苦情解決実施要綱（社会福祉法第８２条の規定に基づく）で定められている苦情受付担当者や苦情解決責任者及び第三者委員への苦情の申し出については、療育相談所において２件、ふれあいの家において１件ありました。また、センター事務所の窓口に常時設置されているご意見箱には意見・苦情等は寄せられておりませんでした。

苦情の内容については、次のとおりです。

①　療育相談所における職員の対応等について

日時：令和２年６月２日受付

【苦情の状況】

職員の態度や言動、説明の不足等についての苦情があり、苦情受付担当者が受付を行った。ご要望としては、当該職員に改心してもらうか、担当の変更を希望された。あわせて、第三者委員への報告の希望を示された。

【対応状況】

担当の変更と第三者委員への報告を実施。当該職員へは協議会会長より、ご利用者への接遇について厳重注意を行い、ご利用者に寄り添った姿勢に努めることを指導。（②の件とあわせての注意）

② 療育相談所における職員の対応について

日時：令和２年６月２９日受付

【苦情の状況】

職員（①の職員）の態度、言動についての苦情があり、苦情受付担当者が受付を行った。ご要望としては、担当の変更を希望された。

【対応状況】

苦情解決責任者からの謝罪と担当の変更を実施。

申し出者からの希望はなかったが、①の件もあるため、第三者委員への報告を実施。

③ ふれあいの家における講師の対応について

日時：令和２年１１月４日受付

【苦情の状況】

主催事業である教室参加者の同行援護者から、自身に対する講師の発言が不快であったとの苦情が協議会施設福祉総務課にあった。

【対応状況】

施設福祉総務課受付者、施設長が当事者に対し事実確認のうえ、申し出者に不快な思いをさせたこと、施設と講師の共通理解が欠けていたことを謝罪し、納得していただいた。

ア 苦情解決責任者

施設名	職名	氏名
療育相談所	所長	門脇　真弓
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	三代川　一弘
ぱれっと	所長	古川　由布子
ふれあいの家	所長	佐藤　道雄

イ 苦情受付担当者

施設名	職名	氏名
療育相談所	主任相談員	早坂　俊枝
すぎのこルーム	主任心理判定員	山田　恵美
やまびこルーム	主任指導員	中村　るみ

いずみの家	主任指導員	五十嵐　久美
ぱれっと	主任指導員	大塚　里恵
ふれあいの家	主任指導員	緑川　菜津子

ウ　第三者委員

近藤みつる（民生委員・児童委員）、伊藤博子（元保育所長）、大野治充（元中学校長）

電話番号　０４３－２０９－８８１５（千葉市社会福祉協議会施設福祉総務課）

エ　その他

施設で話し合って解決しないときは、「千葉県運営適正化委員会」に申し出ることができる体制を整えました。

所在地　千葉市中央区千葉港４番３号　電話番号　043-246-0294

（１０）個人情報保護

個人情報保護への取組

個人情報保護法や千葉市個人情報保護条例に沿って、「個人情報に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を制定しており、当協議会のホームページや各施設内で掲示するとともに、これを遵守できるように、下記のような取り組みを行いました。

ア　個人情報に関する基本方針

①　個人の人格尊重の理念の基に関係法令等を遵守し、個人情報を慎重に取り扱います

②　個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。

③　個人情報の使用目的をできる限り限定し、その使用目的の範囲でのみ個人情報を使用します。

④　あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。

⑤　個人情報を正確な状態に保ち、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。

⑥　自己の個人情報について、開示・訂正・削除等の申出があった場合には速やかに対応します。

⑦　個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。

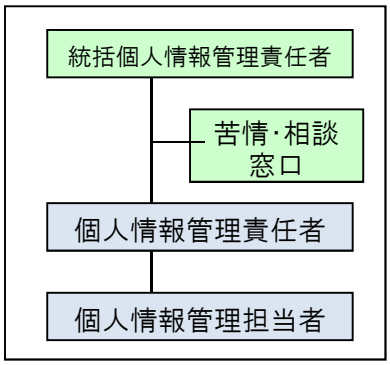
⑧　個人情報保護に関する適切な管理体制を講じるとともに、職員の意識啓発に努めます。

⑨　この方針を実施するため、個人情報保護規程を職員に周知徹底し、確実に実施します。

イ　個人情報保護に関する体制の整備

個人情報の適正な管理を推進するため、当協議会施設福祉総務課に、統括個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報に関する苦情・相談窓口を設置しています。

また、各施設においても、個人情報保護を遵守し、個人情報の取り扱いに関する苦情に速やかに対応できるように、施設ごとに個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報の管理担当者を施設内に掲示し利用者等に明確にして対応しています。



a　個人情報管理責任者

施設名	職種	氏名
療育相談所	所長	門脇　真弓
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	三代川　一弘
ぱれっと	所長	古川　由布子
ふれあいの家	所長	佐藤　道雄

b　個人情報管理担当者

施設名	職種	氏名
療育相談所	主任理学療法士	三井　圭子
すぎのこルーム	主任心理判定員	山田　恵美
やまびこルーム	主任指導員	中村　るみ
いずみの家	主任指導員	五十嵐　久美
ぱれっと	主任指導員	大塚　里恵
ふれあいの家	主任指導員	緑川　菜津子

ウ　個人情報保護に関する体制の整備

①　利用者の氏名や病歴､家族構成などの個人情報は､施錠できる書庫や金庫に格納し、カギの管理を徹底しています。

②　利用者の個人情報を収集する際、施設使用中の不慮の事故などによる医療機関や消防署等への個人情報の開示等を想定し、「個人情報使用同意書」をご提出いただきました。

③　パソコン等には、ＩＤ、パスワードを設定し、インターネットに接続するパソコンは、ファイヤーウォールの設定やウイルス対策等を講じました。

④　個人情報の持出しを原則として禁止しています。やむを得ず持出しする場合は個人情報管理責任者の許可を受けることとし、持ち出す情報の内容・保護方法等の厳しいチェックを行いました。

⑤　職員に個人情報保護に関する研修を実施するとともに、委託業者や実習生を含む個人情報に触れる機会のある全スタッフに対して「個人情報に関する誓約書」の提出をしてもらいました。

エ　特定個人情報への取り組み

特定個人情報を取り扱う事務の範囲やセキュリティ等、特定個人情報取扱規程に基づき適正かつ厳重に取り扱いました。

（１１）施設の社会化

ア　療育相談所

（ア）実習生の受け入れ

施設機能を生かし、後進の育成を目的として学校等の専門職学生実習を積極的に受け入れて来ましたが、令和２年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大により学校側からの辞退のため、受け入れを中止しました。

実習名	受入れ予定期間	人数	学校名
作業療法学生の臨床体験実習	令和２年６月１０日、１７日	３人	千葉県立保健医療大学
言語聴覚士臨床実習	令和２年５月１１日～６月６日	１人	国際医療大学成田保健医療学部
言語聴覚士臨床実習	令和２年６月１５日～７月１０日	１人	武蔵野大学専攻科

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用し、障害についての理解を深めていただけるよう、毎年、保護者支援『ヒポポの会』の開催時の児童託児を実施していましたが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の対応により、開催自体が中止となったため、ボランティア受入がありませんでした。

ボランティア受入担当者　　主任理学療法士　三井　圭子

（ウ）保護者支援

療育相談所および児童発達支援事業をご利用している保護者の方を対象に、集団選択についての情報提供やアドバイス、保護者同士の情報交換の場として毎年『ヒポポの会』を開催していましたが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の対応のために中止しました。

イ　すぎのこルーム

（ア）実習生の受け入れ

後進を育成するため、学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
保育実習	令和 2 年 8 月 11 日～26 日	１人	千葉女子専門学校
保育実習	令和 2 年 8 月 27 日～9 月 11 日	１人	東京家政大学
介護等体験	令和 2 年 9 月 28 日～10 月 2 日	１人	神田外語大学
看護師実習	令和 2 年 10 月 1 日	２人	東京情報大学
保育実習	令和 2 年 10 月 20 日～11 月 5 日	１人	東京成徳大学
看護師実習	令和 2 年 10 月 28 日	２人	東京情報大学
心理士実習	令和 2 年 11 月 11 日	２人	和洋女子大学
保育実習	令和 2 年 11 月 16 日～12 月 2 日	１人	城西国際大学

介護等体験	令和２年 12 月７日～11 日	１人	二松学舎大学
保育実習	令和３年２月１日～17 日	１人	東京家政大学短期大学部
保育実習	令和３年２月 18 日～３月８日	１人	共立女子大学

※　下記の実習は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い受け入れを中止しました。

実習名	受入れ予定期間	人数	学校名
保育実習	令和２年６月８日～19 日	１人	千葉経済大学短期大学部
保育実習	令和２年６月 22 日～７月７日	１人	城西国際大学
保育実習	令和２年７月 14 日～31 日	１人	千葉大学

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　指導員　青木　綾奈

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園する児童の兄弟・姉妹の託児）	５人
制作	１人
運動会・家族参観（通園児童の兄弟姉妹の見守り）	０人

※　新型コロナウイルス感染症感染予防のため運動会・家族参観（通園児童の兄弟姉妹の見守り）でのボランティア受入を休止しました。

（ウ）交流保育

高洲第３保育所との交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から中止しました。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

保護者の疾病その他の理由により家庭において介護を受けることが一時的に困難になった小学校３年生までの肢体不自由児をお預かり（定員１人）し、必要な支援を実施しました。

※　実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和２年度利用実績」を参照

（オ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がすぎのこルームに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
すぎのこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	４人	６人

ウ　やまびこルーム

（ア）実習生の受け入れ

後進を育成するため、学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
保育実習	令和２年８月 24 日～９月３日	１人	千葉明徳短期大学

介護等体験	令和２年１２月７日～11 日	１人	二松學舍大学

※　下記の実習は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い受け入れを中止しました。

実習名	受入れ予定期間	人数	学校名
保育実習	令和３年２月９日～２２日	１人	千葉明徳短期大学
ST 臨床実習	令和２年１１月９日～20 日	１人	国立障害者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ学院
介護等体験	令和２年９月３日～7 日	１人	－
介護等体験	令和２年 10 月 15 日～19 日	１人	－

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　主任指導員　中村　るみ

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園する児童の兄弟・姉妹の託児）	14 人
作業補助（製作物の作成）	0 人
秋祭り（会場準備、進行の補助等）	0 人
運動会（会場準備、競技進行の補助等）	0 人
クリスマス会（運営の補助等）	0 人
グループ活動補助	0 人
保護者勉強会（７月・11 月・２月）（兄弟・姉妹・卒園児の託児）	0 人
卒園式（兄弟・姉妹の託児）	0 人

※　新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全体行事を中止し、平日のグループ活動の中での行事開催としたため、行事ボランティアの受け入れはありませんでした。

（ウ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がやまびこルームに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
やまびこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	5 人	27 人

エ　いずみの家

（ア）実習生の受け入れ

学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
産業現場実習	令和２年 10 月 19 日～30 日	２人	千葉県立千葉特別支援学校

産業現場実習	令和 2 年 10 月 19 日～30 日	１人	千葉市立高等特別支援学校
介護福祉士実習	令和 2 年 11 月 16 日～18 日	2 人	中央介護福祉専門学校
介護等体験実習	令和 2 年 11 月 16 日～20 日	１人	日本大学
産業現場実習	令和 2 年 11 月 30 日～ 12 月 11 日	1 人	千葉市立高等特別支援学校
産業現場実習	令和 2 年 12 月 7 日～11 日	1 人	千葉市立養護学校
介護等体験実習	令和 3 年 1 月 25 日～1 月 29 日	1 人	帝京平成大学

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受け入れ担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

また、ボランティアセンターを通じた募集や、ことぶき大学のボランティア体験の受け入れ、学生の受け入れなどを積極的に行いました。

ボランティア受入担当者　　指導員　中村　春香

内容	人数
第１、第２、第３作業室の作業支援	登録者９３人　（活動延６２人）

※　新型コロナウイルス感染症が収束に向かい７月より受け入れを開始しましたが、再び感染拡大のため１０月に再度受け入れを休止しました。

（ウ）他施設との交流

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、他施設との交流は行いませんでした。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

日中、障害者を見守る方がいない場合、一時的にお預かり（定員３人）し、必要な支援を実施しました。

※　実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和２年度利用実績」を参照

（オ）土日余暇活動支援

市内在住の障害者を対象とした事業を休日に開催し、余暇活動の機会を提供しました。

事業名	日程	開催回数 （回）	参加延人数 （人）
①レクリエーション・スポーツ ②映画鑑賞（ポップコーン作り）	①令和２年１１月１４日（土） ②令和２年１２月１９日（土）	２	１７

※ 前年度実績：事業名「みんなで楽しくレクリエーション」「簡単でおいしい調理実習」
開催回数６回、参加延人数４７人

オ　ふれあいの家

（ア）実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症拡大により実習の受け入れはありませんでした。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　主任指導員　緑川　菜津子

内容	人数
パソコン教室	1 人（延 18 人）
卓球教室	6 人（延 50 人）
サウンド・テーブル・テニス教室	1 人（延 4 人）
ボッチャ教室	1 人（延 1 人）
点字講習会	4 人（延 31 人）
視覚障害者プチ旅行	1 人延 1 人）

（ウ）小学校生徒の体験学習

千葉市立高洲第３小学校と連携し、体験学習の受け入れを行っていましたが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の対応のため小学校から中止依頼があり実施できませんでした。

カ　その他

（ア）見学の受け入れ

学校・関係機関等の見学を積極的に受け入れました。

見学団体名等	見学日	人数	対象施設
千葉市立高等特別支援学校	令和 2 年 7 月 22 日	3 人	いずみ
市川大野高等学園	令和 2 年 7 月 29 日	3 人	いずみ
桜が丘特別支援学校	令和 2 年 8 月 20 日	1 人	すぎのこ
桜が丘特別支援学校	令和 2 年 8 月 21 日	1 人	すぎのこ
千葉大学特別支援学校	令和 2 年 8 月 27 日	3 人	いずみ
千葉県立特別支援学校	令和 2 年 9 月 16 日	16 人	いずみ
千葉市中央区保健福祉センター職員	令和 2 年 9 月 28 日	3 人	全施設
千葉市社会福祉研修センター実習生	令和 2 年 9 月 29 日	3 人	全施設
和洋女子大学心理学科学生	令和 2 年 9 月 29 日	1 人	すぎのこ
千葉市立高等特別支援学校	令和 2 年 10 月 8 日	3 人	いずみ
市川大野高等学園	令和 2 年 10 月 19 日	3 人	いずみ
和洋女子大学心理学科学生	令和 2 年 11 月 11 日	2 人	全施設
千葉市立養護学校	令和 2 年 11 月 11 日	2 人	いずみ
千葉県立特別支援学校	令和 2 年 11 月 19 日	14 人	いずみ
千葉県立特別支援学校	令和 2 年 12 月 10 日	8 人	いずみ
千葉市立養護学校	令和 3 年 1 月 19 日	8 人	いずみ

高洲第３保育所	令和３年１月 26 日	１人	すぎのこ
千葉市立高等特別支援学校	令和３年３月 23 日	５人	いずみ

（１２）関係機関との連携

ア　療育相談所

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等との連携を図りました。

（ア）保健センター、児童相談所

利用児に関して、共通理解や共通認識が必要な場合にサービス調整会議に参加しました。

（イ）幼稚園、保育所

幼稚園協会主催の事例研究会に年３回参加しました。また、保護者に同意が得られた利用者に対して、園での、利用児との具体的な関わり方法について等の情報交換を適宜実施しました。

（ウ）養護教育センター

千葉市特別支援連携会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催になりました。養護教育センター、大宮学園、療育センターの教育相談連携会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が中止になりました。

（エ）発達障害者支援センター

子育てアシストに年２回参加しました。

イ　すぎのこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等との連携を図りました。

（ア）利用児が併行通園している幼稚園、保育所

幼稚園、保育園に職員が訪問した件数は５件、幼稚園、保育園の職員が見学された件数は４件、その他電話での情報交換等による連携を行いました。

（イ）特別支援学校等教育機関

桜が丘特別支援学校の入学式、運動会、桜翔祭等行事への参加や訪問、見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。また、学校見学会では、就学担当の先生から学校についての概要や保護者の悩みなどにも個別相談にて応えて頂く機会を設けました。

（ウ）医療機関

千葉県千葉リハビリテーションセンターへ７月と１０月に出向き、情報交換を行いました。

（エ）その他

養護教育センターとの教育相談連携会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が中止になりました。

ウ　やまびこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等

との連携を図りました。

（ア）医療機関

千葉県こども病院と密な連携を取るため、7月と３月に連絡会を実施しました。（３月はオンラインで実施）

（イ）教育機関

千葉聾学校ぱんだルーム、筑波大学附属聴覚特別支援学校けやきルームと早期支援聴覚担当者連絡会を年２回（８、２月）実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止となりました。ケースに関する情報交換については、文書又は電話にて行いました。

（ウ）千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進協議会（うさぎねっと）

１０月に参加し、千葉県内における関係教育事務所、教育委員会、きこえの教室、特別支援学校と聴覚障害教育に関する情報交換を行いました。

（エ）千葉県特別支援教育連盟聴覚障害教育研究部会

第１回研修会において、言語聴覚士（１人）が研修講師を務めました。

（オ）全国盲ろう難聴児施設協議会

主にメールにて、全国の関係各施設と連携し、情報交換、情報提供を行いました。

（カ）横浜・さいたま・千葉児童発達支援センター（難聴児）連絡協議会

療育参観、情報交換を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となりました。

（キ）その他

・　6 月に千葉県内の医療、教育、市町村の障害担当課等関係機関を対象に公開療育を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止としました。

必要に応じ、在園児が通う保育所・幼稚園訪問を行い、情報交換をしました。また、就学に際しては、難聴学級の担当者に引継ぎを行いました。

・　聴覚障害児の中核的な療育施設として、言語聴覚士（１人）が外部の療育機関の言語聴覚士に難聴児の療育について研修及びケース検討をオンラインにて行っています。また、外部の難聴児の親の会の研修においてコメンテーターを務めました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

医療機関･保健福祉センター･他市の障害関係課･福祉サービス事業所等との連携を図りました。

（ア）医療機関

医療機関との連携では、主にこども病院、千葉県リハビリテーションセンター、下志津病院、桜木園等と連携を図りました。

（イ）保健福祉センター

各区高齢障害支援課とは常に連絡を取り、障害福祉サービス受給者証等に関わる事務手続き等の相談を実施しました。

（ウ）福祉サービス事業所

障害福祉サービス事業所・障害児通所支援事業所とは連絡調整・情報交換を行うとともに、事業所訪問時にサービス提供時モニタリングを実施しました。

（エ）相談支援事業所

相談支援事業所との連携では、市内で定期的に行われる相談支援事業所意見交換会（美浜・中央地区部会と若葉・緑地区部会・稲毛地区部会）にオンライン開催も含めて月１回程度参加しました。

オ　いずみの家

関係施設・関係機関との連絡調整・情報交換などの連携を図りました。

（ア）千葉県障害者就労事業振興センター

障害者福祉施設向けの作業や役務などの依頼や発注に関する情報を提供していただきました。

（イ）千葉障害者キャリアセンター（障害者就業・生活支援センター）

就労移行のご利用者と面談をして就職への助言や、障害者雇用の求人情報をしていただきました。

（ウ）千葉障害者職業センター

就労移行のご利用者について、就労先の会社からの依頼により重度知的障害者判定をしていただきました。

（エ）ハローワーク千葉

就労先、求人情報の提供や就労した方の職場定着に関する相談を受けていただきました。

（オ）特別支援学校等教育機関

進路を考える機会として依頼を受け、実習生を受け入れました。

（カ）相談支援事業所

利用における利用計画書作成やご家族状況も含めた情報提供にご協力いただきました。

（キ）就職先の関係企業

就労が定着するように就職先企業の訪問などを行いました。

（ク）施設連絡協議会

県内施設間の情報交換や会議、研修会への参加を行いました。

カ　ふれあいの家

千葉市障害者福祉センター、千葉市身体障害者福祉連合会、千葉市中途失聴難聴者協会、市内医療機関、千葉市ボランティアセンター、Bring up ちば子ども発達センター等との連携を図りました。

（ア）関係機関

千葉市身体障害者連合会をはじめとする関係団体とは、各事業の運営協力（千葉市聴覚障害者協会、千葉市中途失聴・難聴者協会、千葉県視覚障害者福祉協会、千葉県聴覚障害者協会、声の市政だより協力会）の他、千葉市障害者作品展への出展、千葉市障害者社会参加推進協議会（２回）、講習会等事業推進会議（１回）での書面による意見交換、情報共有、各事業開催の広報など連携を図りました。

千葉市障害者福祉センターとは、連携会議（２回）にて意見交換、情報共有し、合同交流イベントのボッチャ大会開催や、相互にフェスティバルへ協力しました。

（イ）医療機関等

市内の医療機関、福祉施設、あんしんケアセンターと更生相談、機能訓練、社会適応訓練において連携し、各区保健センター、公民館、コミュニティーセンター、近隣商店、自治会、学校、千葉市ボランティアセンター、千葉市民活動支援センターと各事業開催の広報、ボランティア募集について連携を図りました。

（ウ）はまのわ内施設

はまのわ内施設の Bring up ちば子ども発達センター、市立稲毛高等学校附属中学校とは、日常の施設管理での連携を図りました。

２　管理業務の実施に関すること

（１）目的

ア　療育相談所

心身障害児及びその疑いのある児に対する、医学的診断及び検査を行うとともに、その障害に応じた療育訓練を行いました。

イ　すぎのこルーム

（ア）医療型児童発達支援センター

上肢、下肢、または体幹に機能障害のある就学前の幼児に対し、心身の健やかな発達と集団生活に適応できる基礎作りを目的とした療育を行いました。

（イ）児童発達支援事業

通所給付費の支給決定を受けた就学前の児童に対し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を行いました。

ウ　やまびこルーム

通所給付費の支給決定を受けた就学前の聴覚に障害のある児童が保護者とともに通園し、専門スタッフによる聴覚・言語の指導を行い、コミュニケーション能力を育てる支援を行いました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

障害福祉サービスや障害児通所支援支給決定の申請・変更を希望する障害者若しくは障害児の保護者に対し、サービス等利用計画もしくは障害児支援利用計画の作成や一定期間ごとのモニタリングを行うなどの支援を行いました。

オ　いずみの家

（ア）就労移行支援事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、就労を希望する６５歳未満で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれ、通所できる知的障害のある方に、一般就労へ向けた支援を実施しました。

（イ）就労継続支援Ｂ型事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、６５歳未満で雇用契約を締結する通常の事業所に雇用されることが困難な通所できる知的障害のある方に就労継続の支援を実施しました。

カ　ふれあいの家

身体障害者の各種相談・福祉教室・機能訓練等、社会との交流の促進及びスポーツ、レクリエーションのための機会や施設を提供し、障害者の福祉の増進を図り、多様な障害者ニーズに応えました。

（２）令和２年度利用実績

ア　療育相談所

月別利用状況　（人）

月別	開所日数（日）	相談状況					
		新規相談	受理面接	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
令和2年4月	21	20	60	156	82	0	318
5月	18	39	29	132	77	0	277
6月	22	76	61	186	104	1	428
7月	21	91	51	214	104	1	461
8月	20	99	36	205	123	0	463
9月	20	95	54	172	122	3	446
10月	22	93	61	218	139	2	513
11月	19	88	63	190	120	4	465
12月	20	107	63	195	131	2	498
令和3年1月	19	55	61	177	129	3	425
2月	18	65	57	175	111	3	411
3月	23	99	69	223	190	2	583
計	243	927	665	2,243	1,432	21	5,288
月平均	20.3	77.3	55.4	186.9	119.3	1.8	440.7
前年度実績	240	1,068	805	2,415	822	16	5,126
前年度月平均	20	89.0	67.1	201.3	68.5	1.3	427.2

（人）

月　別	診療状況　（　）は新規									
	小児科		整形外科		精神神経科		耳鼻咽喉科		計	
令和2年4月	397	(63)	6	(2)	-	(0)	21	(6)	424	(71)
5月	350	(30)	2	(0)	1	(1)	19	(6)	372	(37)
6月	477	(58)	4	(0)	5	(5)	32	(9)	518	(72)
7月	502	(47)	6	(0)	3	(2)	32	(8)	543	(57)
8月	491	(31)	4	(0)	5	(3)	37	(11)	537	(45)
9月	472	(51)	4	(0)	3	(1)	39	(12)	518	(64)
10月	513	(59)	6	(2)	5	(2)	44	(7)	568	(70)
11月	470	(58)	2	(0)	2	(1)	44	(10)	518	(69)
12月	526	(62)	7	(2)	6	(5)	46	(12)	585	(81)
令和3年1月	504	(60)	8	(3)	5	(3)	48	(16)	565	(82)
2月	495	(57)	6	(1)	7	(2)	31	(10)	539	(70)
3月	601	(68)	5	(0)	7	(2)	46	(15)	659	(85)
計	5,798	644	60	10	49	27	439	122	6,346	803
月平均	483.2	53.7	5.0	0.8	4.1	2.3	36.6	10.2	528.8	66.9
前年度実績	6,383	776	82	6	0	0	635	175	7,100	957
前年度月平均	531.9	64.7	6.8	0.5	0	0	52.9	14.6	591.7	79.8

（人）

月　別	訓練・評価					検査			
	理学療法	作業療法	聴能・言語	心理	計	X線	脳波	一般	計
令和2年4月	15	29	48	89	181	6	0	36	42
5月	17	36	65	67	185	0	0	10	10
6月	24	47	87	92	250	0	0	143	143
7月	26	51	107	106	290	3	0	11	14
8月	20	55	106	89	270	2	0	0	2
9月	20	49	112	93	274	3	0	44	47
10月	25	51	126	99	301	6	0	14	20
11月	23	41	128	94	286	3	0	9	12
12月	30	46	154	101	331	0	0	0	0
令和3年1月	34	46	133	92	305	0	0	119	119
2月	29	46	128	92	295	3	0	16	19
3月	33	54	153	110	350	4	0	0	4
計	296	551	1,347	1,124	3,318	30	0	402	432
月平均	24.7	45.9	112.3	93.7	276.5	2.5	0.0	33.5	36.0
前年度実績	417	727	1,726	1,177	4,047	16	2	433	451
前年度月平均	34.8	60.6	143.8	98.1	337.3	1.3	0.2	36.1	37.6

年間	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
理学療法	7	1	0	8
作業療法	2	4	0	6
聴能・言語	5	47	4	56
心理	33	35	3	71
計	47	87	7	141
月平均	3.9	7.3	0.6	11.8
前年度実績	18	58	8	84
前年度月平均	1.5	4.8	0.7	7.0

新規患者主訴別状況

区分	人数(人)
言葉の遅れ	332
情緒・行動の問題	204
発達障害の疑い	40
発音不明瞭	92
運動発達の遅れ	26
対人関係の問題	25
集団行動の問題	100
吃音	33
聞こえの問題	18
他機関のすすめ	12
その他	58
計	940

※重複あり

新規患者年齢別利用状況

年齢	人数 (人)
0 歳	5
1 歳	40
2 歳	188
3 歳	168
4 歳	122
5 歳	107
6 歳	27
7 歳	2
8 歳	1
9 歳	4
10 歳	0
11 歳	1
12 歳	0
13歳～	1
計	666

※前年度人数 807人

イ　すぎのこルーム（医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	医療型児童発達支援センター 定員10人		児童発達支援事業 定員10人		日中一時支援事業 定員1人	
		実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）
令和2年4月	21	7	40	71	88	1	1
5月	18	9	38	69	109	1	1
6月	22	16	92	87	170	1	1
7月	21	17	97	90	178	0	0
8月	20	14	75	91	150	1	1
9月	20	16	62	92	173	0	0
10月	22	15	56	91	173	0	0
11月	19	16	85	91	146	0	0
12月	20	15	90	91	163	1	1
令和3年1月	19	14	58	94	173	0	0
2月	18	18	72	99	173	0	0
3月	23	20	107	98	158	0	0
計	243	—	872	—	1,854	—	5
月平均	—	14.8	72.7	88.7	154.5	0.4	0.4
前年度実績	239	—	872	—	1,962	—	2
前年度月平均	—	13.9	72.7	112.2	163.5	0.2	0.2

ウ　やまびこルーム（福祉型児童発達支援センター）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	福祉型児童発達支援センター 定員20人	
		実人員（人）	延べ人員（人）
令和2年4月	21	55	87
5月	18	57	122
6月	22	59	226
7月	21	60	233
8月	20	63	229
9月	20	65	241
10月	22	69	273
11月	19	72	249
12月	20	75	281
令和3年1月	19	75	283
2月	18	77	283
3月	23	76	306
計	243	—	2,813
月平均	—	66.9	234.4
前年度実績	240	—	2,982
前年度月平均	—	63.3	248.5

エ　相談支援事業所ぱれっと

月別契約者数

月別	開館日数	新規契約者数			契約解除者数			契約者数		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和2年4月	21	0	0	0	6	3	9	663	111	774
5月	18	0	0	0	6	0	6	657	109	766
6月	22	3	0	3	3	1	4	655	108	763
7月	21	1	0	1	2	0	2	653	107	760
8月	20	0	0	0	3	0	3	651	107	758
9月	20	1	0	1	1	0	1	649	107	756
10月	22	2	0	2	1	0	1	649	107	756
11月	19	0	0	0	6	0	6	648	107	755
12月	20	2	0	2	5	0	5	644	107	751
令和3年1月	19	2	0	2	2	0	2	640	107	747
2月	18	0	0	0	1	1	2	639	107	746
3月	23	1	0	1	18	3	21	643	106	749
計	243	12	0	12	54	8	62	－	－	－
月平均	－	1.0	0.0	1.0	4.5	0.7	5.2	－	－	－
前年度実績	239	14	0	14	67	7	74	－	－	－
前年度月平均	－	1.2	0	1.2	5.6	0.6	6.2	－	－	－

月別利用状況

月別	開館日数	新規相談			計画書(案)作成			計画書作成		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和2年4月	21	0	0	0	38	4	42	125	8	133
5月	18	0	0	0	34	2	36	62	7	69
6月	22	3	0	3	36	4	40	60	12	72
7月	21	1	0	1	54	7	61	51	6	57
8月	20	0	0	0	56	6	62	49	5	54
9月	20	1	0	1	47	4	51	41	2	43
10月	22	3	0	3	49	5	54	50	4	54
11月	19	0	0	0	56	7	63	57	6	63
12月	20	2	0	2	57	6	63	55	6	61
令和3年1月	19	2	0	2	56	7	63	52	9	61
2月	18	0	0	0	45	8	53	58	8	66
3月	23	1	0	1	115	16	131	46	8	54
計	243	13	0	13	643	76	719	706	81	787
月平均	－	1.1	0.0	1.1	53.6	6.3	59.9	58.8	6.8	65.6
前年度実績	239	14	0	14	722	71	793	804	82	886
前年度月平均	－	1.2	0.0	1.2	60.2	5.9	66.1	67	6.8	73.8

月別	開館日数	モニタリング報告書作成			サービス提供時モニタリング			合計		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和2年4月	21	41	28	69	0	0	0	204	40	244
5月	18	72	31	103	0	0	0	168	40	208
6月	22	56	21	77	12	0	12	167	37	204
7月	21	59	8	67	13	0	13	178	21	199
8月	20	42	2	44	38	0	38	185	13	198
9月	20	40	6	46	27	0	27	156	12	168
10月	22	47	19	66	31	0	31	180	28	208
11月	19	34	10	44	11	0	11	158	23	181
12月	20	35	14	49	14	0	14	163	26	189
令和3年1月	19	31	13	44	8	1	9	149	30	179
2月	18	47	8	55	2	1	3	152	25	177
3月	23	53	9	62	0	1	1	215	34	249
計	243	557	169	726	156	3	159	2,075	329	2,404
月平均	－	46.4	14.1	60.5	13.0	0.3	13.3	172.9	27.4	200.3
前年度実績	239	547	117	664	82	44	126	2,169	314	2,483
前年度月平均	－	45.6	9.8	55.3	6.8	3.7	10.5	180.8	26.2	207

月別職員動向

月別	開館日数	利用者／家族,関係機関等との相談及び調整等電話			関係機関等訪問		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和2年4月	21	758	85	843	161	18	179
5月	18	711	79	790	145	16	161
6月	22	718	80	798	299	33	332
7月	21	697	78	775	238	26	264
8月	20	729	82	811	209	23	232
9月	20	677	76	753	191	21	212
10月	22	550	61	611	216	24	240
11月	19	666	74	740	231	26	257
12月	20	682	76	758	201	22	223
令和3年1月	19	711	79	790	178	20	198
2月	18	711	79	790	176	21	197
3月	23	790	88	878	159	28	187
計	243	8,400	937	9,337	2,404	278	2,682
月平均	－	700	78.1	778	200.3	23.2	223.5
前年度実績	239	9,444	569	10,013	2,601	288	2,889
前年度月平均	－	787	47.4	834	216.8	24	240.8

オ　いずみの家（就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）

月別利用状況

月別	開所日数	就労移行支援 定員6人		就労継続支援B型 定員34人		日中一時支援事業 定員3人	
	（日）	実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）
令和2年4月	21	4	58	29	450	0	0
5月	18	4	48	27	404	0	0
6月	22	4	82	29	584	0	0
7月	21	4	69	29	566	0	0
8月	20	4	73	29	471	0	0
9月	20	3	60	30	529	0	0
10月	22	3	61	30	587	0	0
11月	19	2	38	30	491	0	0
12月	20	1	20	29	509	0	0
令和3年1月	19	1	19	29	456	0	0
2月	18	1	18	29	452	0	0
3月	23	1	23	28	578	1	1
計	243	—	569	—	6,077	—	1
月平均	—	2.7	47.4	29.0	506.4	0.1	0.1
前年度実績	239	—	875	—	6,294	—	69
前年度月平均	—	3.8	72.9	29.3	524.5	1.8	5.8

カ　ふれあいの家

月別利用状況

月別	開所日数	生活・訓練・健康相談（人）	機能回復訓練（人）	巡回訓練		福祉バス			福祉カー	
				日数（日）	人数（人）	日数（日）	団体数（団体）	人数（人）	日数（日）	人数（人）
令和2年4月	25	60	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	24	40	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	25	113	15	0	0	1	1	15	0	0
7月	25	131	18	0	0	6	6	59	2	6
8月	25	109	18	0	0	2	1	26	2	4
9月	25	116	20	0	0	2	2	21	0	0
10月	27	135	23	0	0	8	8	134	8	22
11月	23	114	22	0	0	7	6	113	0	0
12月	24	136	25	1	1	2	2	19	0	0
令和3年1月	23	110	23	2	2	3	3	44	0	0
2月	22	130	20	1	1	3	3	43	0	0
3月	25	106	22	2	2	10	10	182	14	66
計	293	1,300	206	6	6	44	42	656	26	98
月平均	—	108.3	17.2	0.5	0.5	3.7	3.5	54.7	2.2	8.2
前年度実績	287	1,493	684	12	12	159	147	4,484	114	495
前年度月平均	—	124.4	57.0	1.0	1.0	13.3	12.3	373.7	9.5	41.3

月別	ヒアリングループ		声の市政だより		体育室		その他の施設利用	
	団体数（団体）	日数（日）	日数（日）	部数（部）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）
令和2年4月	0	0	2	150	0	0	26	103
5月	0	0	2	150	0	0	23	79
6月	0	0	1	75	35	421	97	702
7月	1	1	1	75	33	411	150	1,105
8月	0	0	1	74	29	387	128	733
9月	0	0	1	74	29	410	136	1,004
10月	0	0	1	74	34	508	168	1,117
11月	0	0	1	74	29	435	135	937
12月	0	0	2	148	32	440	144	959
令和3年1月	0	0	2	146	6	93	60	341
2月	0	0	1	73	0	0	68	317
3月	0	0	1	73	13	189	125	740
計	1	1	16	1,186	240	3,294	1,260	8,137
月平均	0.1	0.1	1.3	98.8	20.0	274.5	105.0	678.1
前年度実績	5	18	14	1,092	389	10,099	2,059	22,479
前年度月平均	0.4	1.5	1.2	91.0	32.4	841.6	171.6	1,873.3

創作的活動事業

事業名	期間	予定回数→開催回数(回)	参加延人数（人）
書道教室	6～3月	18	258
パソコン教室	6～3月	18	295
アートDEふれあい教室　※	6～3月	18	205
組紐教室　※	6～3月	18	133
絵手紙教室	6～3月	10	150
陶芸教室　※	6～3月	10	146
音楽療法教室　※	6～3月	10→　8	103
計	―	100	1,290
前年度実績	―	111	1,909

※参加者を半分に分け、隔回の参加
　令和2年4月8日～令和2年5月27日　緊急事態宣言に伴い、主催事業中止

事業名	期間	開催回数（回）	出品作品数（点）
千葉市障害者作品展	10月7～9日	1	68
ふれあいの家作品展	2月9～21日	1	174
計	―	2	242
前年度実績	―	2	240

（イ） 社会適応訓練事業

事業名	期間	開催回数（回）	参加延人数（人）
視覚障害者プチ旅行	10月	1	8
肢体・内部・聴覚障害者プチ旅行	11月	1	9
介護予防勉強会	6、7月	2	18
介護技術勉強会	9～12月	4	46
OT短期講座　心も体もリフレッシュしよう		2	31
計	―	10	112
前年度実績	―	19	434

（ウ） ボランティア養成事業

事業名	期間	予定回数→開催回数(回)	参加延人数（人）
要約筆記講習会	6、7月	10→　7	49
音訳講習会	10～12月	10	202
初級手話講習会	9～10月	16	419
中級手話講習会	11、12月	16	426
手話講習会応用編	1月	6	108
点字講習会	1～3月	10	191
点字講習会（令和元年度受講者補講）	7～9月	8	108
中級手話講習会応用編（令和元年度受講者補講）	7、8月	8	108
計	―	81	1,611
前年度実績	―	70	2,384

（エ） スポーツ・レクリエーション事業

事業名	期間	予定回数→開催回数(回)	参加延人数（人）
卓球教室　※	6～12月	18→　13	209
ボッチャ教室　※	6～12月	10→　8	116
サウンドテーブルテニス教室　※	6～3月	10→　8	77
ふれあいレク教室　※	6～3月	18→　14	263
ふれあいミニフェスティバル	2月	1	61
計	―	44	726
前年度実績	―	65	4,328

※参加者を半分に分け、隔回の参加
　令和2年4月８日～令和2年5月27日　緊急事態宣言に伴い、主催事業中止
　令和3年1月８日～令和3年3月21日　緊急事態宣言に伴い、スポーツ系の教室中止

※新型コロナウイルス感染症感染拡大による施設運営対応状況

令和２年４月　１日～令和２年５月２７日　主催事業の中止（４５日間）
令和２年４月　１日～令和３年３月３１日　カラオケ、コーラスの中止（通年）
令和２年４月　８日～令和２年５月２７日　緊急事態宣言に伴う対応として
音訳・点訳ボランティア活動を除き休館（４５日間）
令和２年５月２８日～令和３年３月３１日　主催事業、施設貸出、たいよう号運行の利用人数等を制限し再開（２４８日）
令和３年１月　９日～令和３年３月２１日　緊急事態宣言に伴う対応として
スポーツ系の教室、施設貸出の中止（５８日）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等による実施回数、利用者数の減少の影響について

1　緊急事態宣言(R2.4.7～5.25)での中止（R2.4.8～5.27)による影響

生活相談・機能訓練等利用者数の減少の影響(推計)

生活相談・機能訓練等	年度予定			実施		影響	備考
	日数	定員	延べ人数	日数	延べ人数	人数	
生活・訓練・健康相談	45日		281人	49日	100人	△ 181人	※
機能回復訓練・巡回訓練	45日		143人	49回	0人	△ 143人	※

※年度予定はR1年度4・5月実績数

2　緊急事態宣言(R2.4.7～5.25)での中止（R2.4.8～5.27)及び感染拡大等による影響

福祉バス等に係る利用者数の減少の影響(推計)

福祉バス・カー貸出	年度予定		実施		影響	備考
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
福祉バス	32回	957人	0回	0人	△ 957人	※1
	115回	3,527人	42回	656人	△ 2,871人	※２　乗車人数制限あり
福祉カー	29回	123人	0回	0人	△ 123人	※1
	91回	372人	26回	98人	△ 274人	※２
計	267回	4,979人	68回	754人	△ 4,225人	

※1　年度予定回数・延べ人数はR1年4・5月実績数

※２　年度予定回数・延べ人数はR1年6月～R2年3月実績数

3　感染予防対策及び緊急事態宣言(R3.1.7～3.21)での運動系講座中止等による影響

主催事業の開催変更状況及び利用者数の減少の影響(推計)

教室事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
書道教室	18回	12	216人	18回	216人	0人	
パソコン教室	18回	12	216人	18回	216人	0人	
アートDEふれあい教室	18回	15	270人	18回	135人	△ 135人	定員を半分に分けて隔回で開催
組紐教室	18回	10	180人	18回	90人	△ 90人	定員を半分に分けて隔回で開催
絵手紙教室	10回	14	140人	10回	140人	0人	
陶芸教室	10回	15	150人	10回	75人	△ 75人	定員を半分に分けて隔回で開催
音楽療法教室	10回	20	200人	8回	80人	△ 120人	定員を半分に分けて隔回で開催
卓球教室　※1	18回	20	360人	13回	130人	△ 230人	定員を半分に分けて隔回で開催
ボッチャ教室　※1	10回	18	180人	8回	72人	△ 108人	定員を半分に分けて隔回で開催
ふれあいレク教室　※1	18回	30	540人	14回	210人	△ 330人	定員を半分に分けて隔回で開催
サウンドテーブルテニス教室　※1	10回	20	200人	8回	100人	△ 100人	定員を半分に分けて隔回で開催
写真撮影会	2回	30	30人	0回	0人	△ 30人	春・秋ともに中止
写真講評会	2回	30	30人	0回	0人	△ 30人	春・秋ともに中止
短期教室　※２	26回		558人	0回	0人	△ 558人	R1年度と同等開催予定も中止
計	188回		3,270人	143回	1,464人	△ 1,806人	

※１　緊急事態宣言(R3.1.7～3.21)での中止あり

※２　短期教室年度予定は昨年度実績

4　感染予防対策による実施方法の変更、人数制限及び中止等による影響

主催事業の開催変更状況及び利用者数の減少の影響(推計)

社会適応訓練事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
聞こえにくくなった方の勉強会	10回	30	300人	0回	0人	△ 300人	応募者寡少のため中止
視覚障害者バス旅行	2回	30	60人	1回	8人	△ 52人	春中止、秋プチ旅行
肢体・内部・聴覚障害者バス旅行	2回	60	120人	1回	9人	△ 111人	春中止※1、秋プチ旅行
OT短期「心も体もリフレッシュしよう」				1回	14人	14人	※1春の肢体・内部・聴覚障害者バス旅行の代替
応急処置勉強会	1回		20人	0回	0人	△ 20人	
計	15回		500人	3回	31人	△ 469人	

ボランティア養成事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
要約筆記講習会	10回	20	200人	7回	140人	△ 60人	緊急事態宣言発令により回数減での開催
音訳講習会	10回	10	100人	10回	100人	0人	
初級手話講習会	16回	20	320人	16回	320人	0人	
中級手話講習会	16回	20	320人	16回	320人	0人	
点字講習会	10回	10	100人	10回	100人	0人	
計	62回		1,040人	59回	980人	△ 60人	

交流・レクリエーション事業	年度予定			実施		影響	備考
	回数	定員	延べ人数	回数	延べ人数	人数	
地域交流会	1回		26人	0回	0人	△ 26人	R1年度と同等開催予定も中止
体験会・交流会	3回		169人	0回	0人	△ 169人	R1年度と同等開催予定も中止
ふれあいフェスティバル	1回		2,851人	1回	61人	△ 2,790人	規模を縮小して実施
計	5回		3,046人	1回	61人	△ 2,985人	

※年度予定はR1年度実績数

5　緊急事態宣言(R2.4.7～5.25)での中止（R2.4.8～5.27)及び感染拡大等による影響

施設貸出に係る利用者数の減少の影響(推計)

施設貸出	年度予定		影響	備考
	団体数	延べ人数	人数	
体育室貸出	66回	1,398人	△ 1,398人	4・5月　※1
	81回	1,422人	△ 1,422人	6～3月　※2　利用人数制限あり
その他施設貸出	328回	3,946人	△ 3,946人	※1
計	475回	6,766人	△ 6,766人	

※1　団体数はR2年4・5月予約キャンセル数、延べ人数はH31年4・5月実績数

※2　団体数はR3年1月7日～3月21日予約キャンセル数、延べ人数はR2年1・2月実績数+3月×1/2実績数
緊急事態宣言(R3.1.7～3.21)での運動系利用での貸出中止あり

※　体育室等利用団体における行事の中止状況（上記キャンセル数に含まず）

千葉市中途失聴・難聴者協会総会	サウンドテーブルテニススポーツ大会
スペシャルオリンピック	千葉市身体障害者福祉会体育祭
スペシャルオリンピック(バスケ)	千葉市手をつなぐ育成会(クリスマス会)

月別施設利用人数集計

月別	相談･訓練事業利用人数		施設貸出利用人数		主催事業参加人数		計	
	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）
令和2年4月	－	60	26	103	－	0	26	163
5月	－	40	23	79	－	0	23	119
6月	－	128	133	1,138	－	296	133	1,562
7月	－	149	190	1,581	－	323	190	2,053
8月	－	127	158	1,150	－	330	158	1,607
9月	－	136	167	1,435	－	499	167	2,070
10月	－	158	210	1,781	－	551	210	2,490
11月	－	136	170	1,485	－	476	170	2,097
12月	－	162	178	1,418	－	506	178	2,086
令和3年1月	－	135	69	478	－	276	69	889
2月	－	151	71	360	－	244	71	755
3月	－	130	148	1,177	－	238	148	1,545
計	－	1,512	1,543	12,185	－	3,739	1,543	17,436
月平均	－	126.0	128.6	1,015.4	－	311.6	128.6	1,453.0
前年度実績	－	2,189	2,588	37,557	－	9,055	2,588	48,801
前年度月平均	－	182.4	215.7	3,129.8	－	754.6	215.7	4,066.8

※　相談・訓練事業利用人数＝月別利用状況のうち、「生活・訓練・健康相談」、「機能回復訓練」及び「巡回訓練」の人数計

施設貸出利用人数　＝団体数
月別利用状況のうち、「福祉バス」、「ヒアリングループ」、「体育室」及び「その他の施設利用」の団体数
＝人数
月別利用状況のうち、「福祉バス」、「福祉カー」、「体育室」及び「その他の施設利用」の人数計

主催事業参加人数　＝「創作的活動事業」、「社会適応訓練事業」、「ボランティア養成事業」及び「スポーツ・レクリエーション事業」の人数計

（３）事業内容

ア　療育相談所

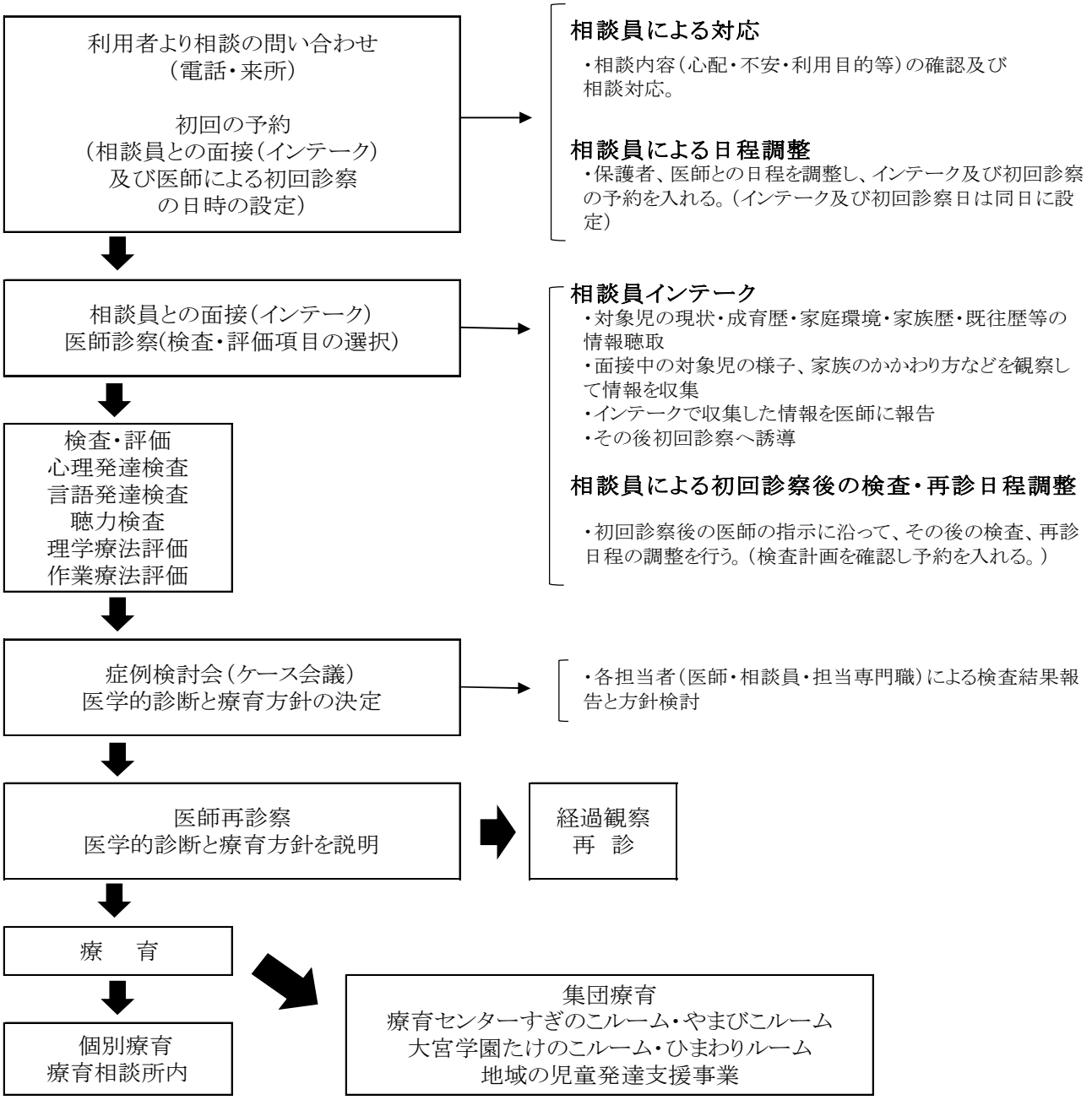
（ア）対象児

対象児は、０歳から１８歳未満までの、心身の発達に心配や障害がある児童です。

（イ）利用料

健康保険法に基づく保険医療機関として認可されており、保険診療の自己負担額を徴収します。診療・訓練をともなわない相談は無料です。

（ウ）利用の流れ



（エ）相談

電話、面談により、児童及び家族が抱える問題・不安や悩みについて相談に応じ、適切

な支援に繋げました。

必要に応じて、福祉制度等の社会資源について情報提供を行いました。また、関係機関と連携し、適切な支援が受けられるようにしました。

（オ）診療科

a　小児科・小児神経科

言葉や運動の発達に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行いました。診断結果に基づき、適切な療育方針を決定しました。

b　整形外科

骨格・関節・筋肉・神経などの運動器系統に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断・補装具等の相談・処方を行いました。

c　耳鼻咽喉科

聞こえや発音について心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断や補聴器等の相談・処方を行いました。

d　精神科

発達の遅れや行動面に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行います。

（カ）診察予定表

	午　　前		午　　後	
	診　療　科　・　医　師　名		診　療　科　・　医　師　名	
月	小児科（小児神経）	杉田　克生 木下　裕実	小児科	木下　裕実 遠藤　真美子
火	小児科（小児神経）	杉田　克生 久保　美保 中村　美樹	小児科（小児神経）	杉田　克生 柿沼　宏明
水	小児科 耳鼻咽喉科	木下　裕実 内田　智子 嶋田　耿子 （第 1，第 3，第 4）	小児科（小児神経） 精神科 整形外科	木下　裕実 宮内　厚子 鈴木　陽大（第 2） 早津　龍之介（第 4） 村田　淳（第 1, 第 3）
木	小児科（小児神経）	杉田　克生 久保　美保	小児科（小児神経） 耳鼻咽喉科	杉田　克生 小松　健祐（第 2, 第 4）
金	小児科（小児神経）	木下　裕実 中村　美樹 杉田　記代子（第 1, 第 3）	小児科	木下　裕実

（キ）検査／評価

医師の指示のもと検査／評価を行いました。

a　理学療法

運動発達の遅れや身体を動かすことに心配や問題のある児童に対し臨床観察評価：姿勢（臥位・座位・立位など）・移動手段（ずり這い・四つ這い・歩行など）毎に姿勢・運

動の状態を評価しました。

b　作業療法

運動発達、精神発達の遅れや日常動作に心配や不安のある児童に対し、運動機能・感覚統合機能・認識機能・社会機能・摂食機能等の評価を行いました。

c　言語療法

言語発達の遅れ、発音の問題、聞こえの問題、吃音などの言語の障害やコミュニケーション関係に問題を持つ児童に対し、対象児の状態や年齢を考慮し、言語発達遅滞検査・言語能力・会話・コミュニケーション能力・構音・吃音・聴力検査等を行いました。

d　心理判定

発達に何らかの心配や問題のある児童に対し、対象児の年齢、状態に応じた発達検査・知能検査・行動観察等を行いました。

（ク）療育

医師の診断に基づき療育が必要と判断した場合は、保護者の理解のもと適切な療育支援を行います。対象児の障害及び程度を考慮しながら対象児に適した療育方法を検討し、個別指導療育もしくは児童発達支援事業に繋げました。

【個別療育】

医師の診断、各専門職の評価の中で個別の療育が必要と判断された児童に対し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理判定員による、必要に応じた専門職の個別指導を行いました。

対象児個々の目標を設定し、指導内容・指導回数等を検討しながらリハビリテーション実施計画（個別支援計画）を立案し、保護者の了承のもと計画に沿って個別指導を実施しました。支援計画については対象児童の発達や成長に応じて、定期的に見直しを行いました。

（ケ）他機関との連携・協力

保健所・地域医療機関・教育機関・保健福祉センター・福祉機関・児童相談所等と情報交換、連携を図ることにより、地域での療育支援、見守り等が円滑に行えるよう努めました。また、施設の役割として発達障害児支援の啓発に努めました。

a　千葉市の乳幼児健診への協力

乳幼児精密健康診査指定機関として精密健康診査を行いました。

三歳児耳鼻科二次健診派遣：千葉市健康支援課保健衛生事業に言語聴覚士を派遣し、検査を行いました。

実施日	派遣先
7/16・8/5・9/10・11/18・1/21・3/18 計 6 回	千葉市障害者相談センター

b　外部研修講師派遣

研修主催および内容	派遣日	派遣講師職員	参加者人数
千葉市幼稚園協会　事例研究会 「特別支援教育事例研究会」	４回開催予定 中止	療育相談所長 心理判定員 作業療法士 相談員	市内幼稚園教諭 毎回４０人参加

c　地域との連携

①各機関との連絡会議

双方の施設・機関の現状報告および支援内容等を確認しました。

実施日	機関名（会議名）
5 月 28 日予定、3 月 11 日予定	養護教育センター→中止
6 月 2 日・1 月 19 日	千葉市特別支援連絡会議（書面開催）
9 月 29 日	千葉市特別支援連携会議作業部会

②個別訪問・医療機関訪問

療育相談所の利用児（個別）を対象に、療育支援を検討、対象児の評価をする上で、幼稚園・保育園・学校等で、集団での様子を把握する必要があると判断した場合に訪問を行い、対象児の様子や担任との情報交換・支援への助言を行いました。

③各担当者電話相談対応

保護者からの相談内容に合わせて、各担当者が電話にて助言、支援等の相談対応を行う他、保護者の同意のもと、対象児が通う幼稚園または保育所職員へ対象児の支援法や特性等の助言、情報交換を行いました。

イ　すぎのこルーム

＜医療型児童発達支援センター＞

（ア）療育

a　目　標

(a)様々な遊びを経験する中で、自発性を育てるよう支援しました。

(b)人や物への関わりを広げ、自己表現力を育てるよう支援しました。

(c)生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけるよう支援しました。

(d)保護者が主体性をもって子育てに取り組めるように育児支援を行いました。

(e)利用児が健康に生活していくための基礎作りを、保護者と共に行いました。

(f)個別支援計画･リハビリテーション計画に基づき、個々の発達に応じた個別指導を行いました。

b　個別支援計画

利用児の課題と保護者の意向を把握し、個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明し同意を得たうえで作成しました。

c　療育内容

(a)保育

①生活リズムの調整、基本的な生活習慣（食事、排泄、衣服の着脱など）の援助や利用児が持っている力を発揮できるように取り組みました。

②家庭以外の生活の場として集団生活に向けての基礎作りを行いました。

③様々な遊びを経験し、意欲や自発性、積極性等を育てるよう支援しました。

④保護者と共に通園することにより、対人関係の基となる親子関係を育み、様々な発達段階にある児童に応じた療育を行いました。

(b)保育形態

①グループ保育

保育士、指導員が担当し、グループ保育を行いました。

②分離保育

母親以外の人とも過ごせるようになること等を目的として、年齢に応じた回数で分離保育を行いました。

③遊び別グループ保育

利用児の目的に応じたグループ編成を行い、２週に１回実施しました。

④個別保育

集団での療育を基本とした上で、より個々に合わせた支援を行いました。

d　医師による診察及びリハビリテーション計画説明、発達評価・個別指導

医師による診察、相談を行い、診察後、医師の指示により各専門職員よる評価を行いリハビリテーション計画に基づき個別指導を行いました。

(a)理学療法

・姿勢や運動面のよりよい発達を促すための援助及び保護者支援を行いました。

・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応じました。

(b)作業療法

・日常生活に密着した遊び､生活動作等についての援助及び保護者支援を行いました。

・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応じました。

・利用児の状態に応じた食形態の指導、相談を行いました。

(c)心理判定

・発達検査での行動観察を通して利用児の発達段階や発達課題を把握し、保護者支援を行いました。

（イ）日課表

<table>
<tr><th>時　間</th><th>内</th><th>容</th></tr>
<tr><td>10:00</td><td>登園　朝の集まり　生活指導</td><td rowspan="2">個別指導
診察</td></tr>
<tr><td>10:20</td><td>保育</td></tr>
<tr><td>11:20</td><td>給食準備
給食指導</td><td></td></tr>
<tr><td>11:40</td><td>帰りの集まり</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>生活指導</td><td rowspan="3">個別指導
診察</td></tr>
<tr><td>12:50
13:00
13:20</td><td>保育</td></tr>
<tr><td></td><td>生活指導</td></tr>
<tr><td>14:00
14:30</td><td>帰りの集まり　　降園</td><td></td></tr>
</table>

（ウ）各種行事

季節に応じた行事やレクリエーション等を実施いたしました。また、利用児の保護者等に対しては個別支援の他に勉強会や交流の場を設けて支援を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
新年度オリエンテーション	令和２年４月 23 日	「運営方針」に基づいて、当年度の療育体制について保護者に説明。	２人
就学指導（学校見学）	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
家族参観	令和２年７月４日	園児の療育を家族に見てもらい、子供とルームへの理解を深め、家庭療育に役立てる。	25 人
保護者勉強会	令和２年７月 16 日	福祉制度について 講師：ぱれっと所長	３人
保護者勉強会	令和２年９月８日	「特別支援学校・支援級について」 講師：すぎのこルーム卒園児保護者	６人
保育所交流	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
運動会	令和２年 10 月９日 12 日 15 日	場所：３階体育室（分散開催） 生活経験の拡大、集団行動経験、家族交流等。	８人 ４人 ６人
芋掘り遠足	令和２年 11 月５日	通常の療育ではできない芋掘りを体験することにより、園児の生活経験を広げた。 於：農政センター	22 人
保護者勉強会	令和２年 11 月 19 日	訪問摂食嚥下講習会 講師：千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会	５人
クリスマス会	令和２年 12 月 11 日	親子ゲームや職員の出し物、サンタクロースとの交流を通して季節の行事としてクリスマスを楽しんだ。	８人
保護者勉強会	令和２年 12 月 17 日	「言葉とコミュニケーションについて」 講師：療育相談所言語聴覚士	６人

保護者勉強会	令和 2 年 12 月 22 日	訪問摂食嚥下講習会 講師：千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会	4 人
芸術鑑賞会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
家族参観日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
保護者勉強会	令和 3 年 2 月 18 日	訪問摂食嚥下講習会 講師：千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会	6 人
卒園式	令和 3 年 3 月 26 日	令和 2 年度卒園式	26 人
お別れ会	令和 3 年 3 月 31 日	親子ゲームや職員の出し物等を行うことで卒園児と在園児が共に楽しめる機会とする。	18 人

＜児童発達支援事業＞

（ア）療　育

a　指導内容

(a)プレ集団グループ　　（４グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にまだ所属していない児童を対象に、親子遊びを中心にして経験を広げ、生活習慣を身につけるための援助や指導を個々の発達状況に配慮して行いました。

日　課　表

第１グループ　（月・木・金）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	体操、親子遊び
	集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給
	設定保育
１１：４０	給食
１２：１５	歯磨き　　身支度
１２：３０	おかえり

第２グループ　（火）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	体操、親子遊び
	集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給
	設定保育
１１：３０	おやつ　身支度
１２：００	おかえり

(b)集団参加児グループ　（１０グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にすでに所属している児童を対象に、個々の発達状況に応じ、小集団での経験を積み重ねることで所属集団への適応を目指すと共に、必要に応じて所属集団との連携を図りました。

なお、年長児グループにおいては保護者への就学支援を行いました。

日　課　表

第１グループ（水）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	リズム体操
	集まり(呼名･ペープサート等)
	トイレ・水分補給
	設定保育
１１：４０	給食
１２：１５	歯磨き　身支度
１２：３０	おかえり

第２グループ（毎週月及び火・水・木・金の隔週）

時　間	内　　容
１４：３０	身支度　自由遊び　保護者との話し
１４：５０	リズム体操
	集まり(呼名･ペープサート等)
	トイレ・水分補給
	設定保育
	身支度
１６：３０	おかえり

(c)発達障害児グループ　（３グループ）

知能の発達はノーマル域にある発達障害児を対象に、小集団での活動を通して、社会的コミュニケーション能力を身につけ所属集団への適応を促す支援を行い、また、必要に応じて所属集団との連携を図りました。

なお、年長児グループにおいては保護者へ就学支援を行いました。

日　課　表

（火、金の隔週）

時　間	内　　容
１５：００	身支度　　自由遊び
１５：２０	集まり(呼名･ペープサート、活動の説明等)
	設定保育
１６：１５	紙芝居　　シール貼り　身支度
１６：３０	おかえり

ウ　やまびこルーム

＜福祉型児童発達支援センター＞

（ア）療　育

a　個別支援計画の作成

児童の課題と保護者の意向を反映し、年 2 回個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。

b　療育内容

個々の利用児の身体及び精神発達、聴覚・言語発達に応じて療育を行いました。また、保護者に対して、助言及び情報交換等を実施しました。

(a)聴覚・言語及びコミュニケーションの指導

集団指導と個別指導を有機的に関連させながら、療育プログラムを実施しました。個別療育では、定期的に聴力検査を実施し、適宜、補聴器の調整と装用指導を行いました。また、個々の児童の発達状況に合わせた遊びや体験活動、課題学習等を通して、ことばや聴く力、人と関わる力を保護者とともに取り組みました。

(b)集団生活の適応支援

集団療育では、児童同士の関わりのなかで、社会性やコミュニケーションの力を身につけられるよう取り組みました。

(c)聴覚面の健康管理

耳鼻科医による定期的な診察と言語聴覚士による聴力検査を行い、聴覚面の健康管理に努めました。

(d)個別支援計画に基づいて保護者支援を行い、家庭で実践できるよう支援しました。

c　療育形態

区　分	対　　象　　児		形　　態	
親子通園	聴覚障害児	0 歳児	集団療育　（午前親子療育）	個別療育
		1 歳児	集団療育（午前親子療育）	個別療育
		2 歳児	集団療育（午前親子療育）	個別療育
		3～5 歳児	集団療育 （13：30～15：20 親子療育・15：20～16：00 分離保育、保護者支援）	個別療育

d　集団療育

様々な活動を通してコミュニケーション関係、及び言語や聴く力を育てる指導を行いました。また保護者に対しては、年齢に応じた親子のコミュニケーションの持ち方、育児及び聴覚障害の認識、受容などについて話し合い、助言しました。

集団療育の日課表

（０・１歳児）

時　間	主な活動	指　　導　　内　　容
１０：００	登園 親子活動	朝の集まり：おはようの歌、お名前呼び 体操・遊戯 紙遊び、パラバルーン、ボール遊び、楽器遊び、散歩など 手遊び歌、ふれあい遊び
１１：００	保護者支援	難聴について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。
１１：３０	降園	

（２歳児）

時　間	主な活動	指　　導　　内　　容
１０：００	登園 親子活動	朝の集まり：おはようの歌、お名前呼び 体操・遊戯 歌、手遊び ごっこ遊び、劇遊び、製作活動、楽器遊び、散歩など
１１：００	保護者支援	難聴や言葉の発達について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。 食事指導
１１：３０	食事	
１２：００	降園	

（３～５歳児）

時　間	主な活動	指　　導　　内　　容
１３：３０	登園 親子活動	集まり あいさつ、名前呼び、カレンダーワーク、補聴器の点検、絵日記 体験活動、ごっこ遊び、劇遊び、伝承遊び、歌、制作活動、ルールのある遊びなど
１５：２０	分離保育	児童同士の関わりを大切に、自由遊び、制作、ごっこ遊びなどを行う。
	保護者支援	難聴や言葉の発達について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。幼稚園等集団の様子を話し合い、助言をする。
１６：００	降園	

e　個別療育

個々の児童の年齢、聴力レベル、発達に合わせて、言語・コミュニケーション指導、及び聴力検査、補聴器の調整と装用指導を行いました。保護者に対しては、家庭療育や育児、遊び、障害の認識などについて話し合い助言しました。

f　オンラインによる個別療育

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中、来所を控える利用者に対して、オンラインによる個別指導（通常と同じ１時間）の実施を始めました。

（イ）保護者支援

コミュニケーションは、日常生活の中で育まれます。保護者が子どもとの関わり方を理解し、日常生活の中で子どもの気持ちに共感しながら、豊かなコミュニケーションができるよう支援しました。また、個別の相談に応じるとともに、保護者勉強会などをとおして子育てに対する不安の解消に努めました。年長児の保護者に対しては、就学に向けた情報提供を行い、適宜相談、助言をしました。

（ウ）補聴器メンテナンス

補聴器を安全に装用できるように補聴器メンテナンスを４回（７月、８月、１０月、３月）実施し、４８人の保護者と在園児が参加しました。

（エ）卒園後支援

やまびこルーム卒園後、就学する児童については、切れ目のない支援が受けられるよう就学先や難聴学級と連携をとり、引継を行いました。また、保護者勉強会やルームの行事についてお知らせし、在園児との交流・保護者支援を行いました。

（オ）行事

季節に応じた行事やレクリエーション、講習会等を実施いたしました。また、利用児の保護者等に対しては個別支援の他に勉強会や交流の場を設けて支援を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
お花見 （合同グループ）	令和２年４月初旬	0～5 歳児の合同ｸﾞﾙｰﾌﾟで近隣を散歩し、桜やタンポポなど春の花を観賞する。	９人
いちご狩り遠足	令和２年４月 21 日	春の自然に親しみ、いちご狩りの体験をする。異年齢の子ども同士、保護者同士の交流を深める。	※中止
保護者参観	令和２年６月６日	子どもの療育を参観する機会を設け、療育に対する理解を深めるとともに、保護者支援を行う。	※中止
公開療育	令和２年６月 23 日	小児難聴を診断する主な医療機関、県内聾学校、千葉市及び近隣市の保健福祉機関の職員にやまびこルームの療育について説明し、実際に見学することによって理解を深めてもらい、連携を強化する。	※中止

第１回保護者勉強会	令和２年７月４日	「難聴児をめぐる就学と就労の現状と支援」をテーマに、独立行政法人東京医療センター　耳鼻咽喉科　医長南　修司郎先生に、講義をしてもらい、保護者支援を行う。	保護者 43 人（オンライン参加 30 人）園児７人
チューリップグループ（重複障害を持つ難聴児）の保護者勉強会	令和２年７月頃	「重複障害を持つ難聴児を育てて」をテーマに卒園児の保護者の方の体験談を聞き、保護者支援を行う。	※中止
療育参観	令和２年７月 21 日、22 日、31 日	園児の通園する地域の幼稚園、保育所の先生に難聴児のグループ療育を見学してもらい、情報交換を行い、難聴児への理解を深めてもらう。 ＊療育参観は随時受け付ける。	※中止
第１回人工内耳装用児の保護者懇談会	令和２年８月 17 日	人工内耳についての情報交換	保護者７人 園児２人
秋祭り	令和２年９月７日～11 日	場所：２階指導室 グループごとに参加し、秋祭りの経験をする。	園児４５人 保護者４５人
運動会	令和２年９月 30 日、10 月２日、5 日、9 日、12 日、19 日	場所：3 階体育館 通常のグループ活動の中で実施。運動会を体験し、日常の練習の成果を発表する。	園児３６人 保護者３６人
年長児保護者勉強会	令和２年 10 月 14 日	年長児の保護者を対象に、難聴学級の担当教諭を招き、難聴学級の説明を聞く。	５人
第２回保護者勉強会	令和２年 11 月 14 日	卒園生の体験談を聞き、将来の見通しを持つ手がかりとする。	保護者 33 人（オンライン参加 29 人）園児 3 人
卒園生交流会	令和２年 11 月 14 日	卒後支援の一環として、中学生以上の卒園生の交流の場を設け、お互いに情報交換できるようにする。	※中止

クリスマス会	令和2年12月11日　14日、16日、23日，25日	場所：3階体育室または2階指導室 通常のグループ活動の中で実施。クリスマスの雰囲気を体験するとともに、歌や劇などの発表を通して、園児が表現やコミュニケーションに自信を持つとともに、日々の療育の成果を保護者に確認してもらう機会とする。	園児４１人 保護者４１人
第2回人工内耳装用児の保護者懇談会	令和3年1月18日	人工内耳についての情報交換	保護者5人 園児2人
第3回保護者勉強会	令和3年2月26日	「難聴児を育てて」をテーマに卒園児の保護者の方の体験談を聞き、保護者支援を行う。	保護者38人 （全員オンライン）
異年齢交流グループ活動	令和3年3月1日 ～ 5日	異年齢のお子さん同士、保護者同士の交流のため、通常とは違う小グループを編成し、活動を行う。	園児39人 保護者39人
手話交流会	令和3年3月5日	手話の先生（聴覚障害者）と手話でコミュニケーションを取りながら、一緒にゲーム遊びを楽しむ。	※中止
卒園式	令和3年3月29日	令和2年度卒園式	園児7人 保護者10人

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大による中止

エ　相談支援事業ぱれっと

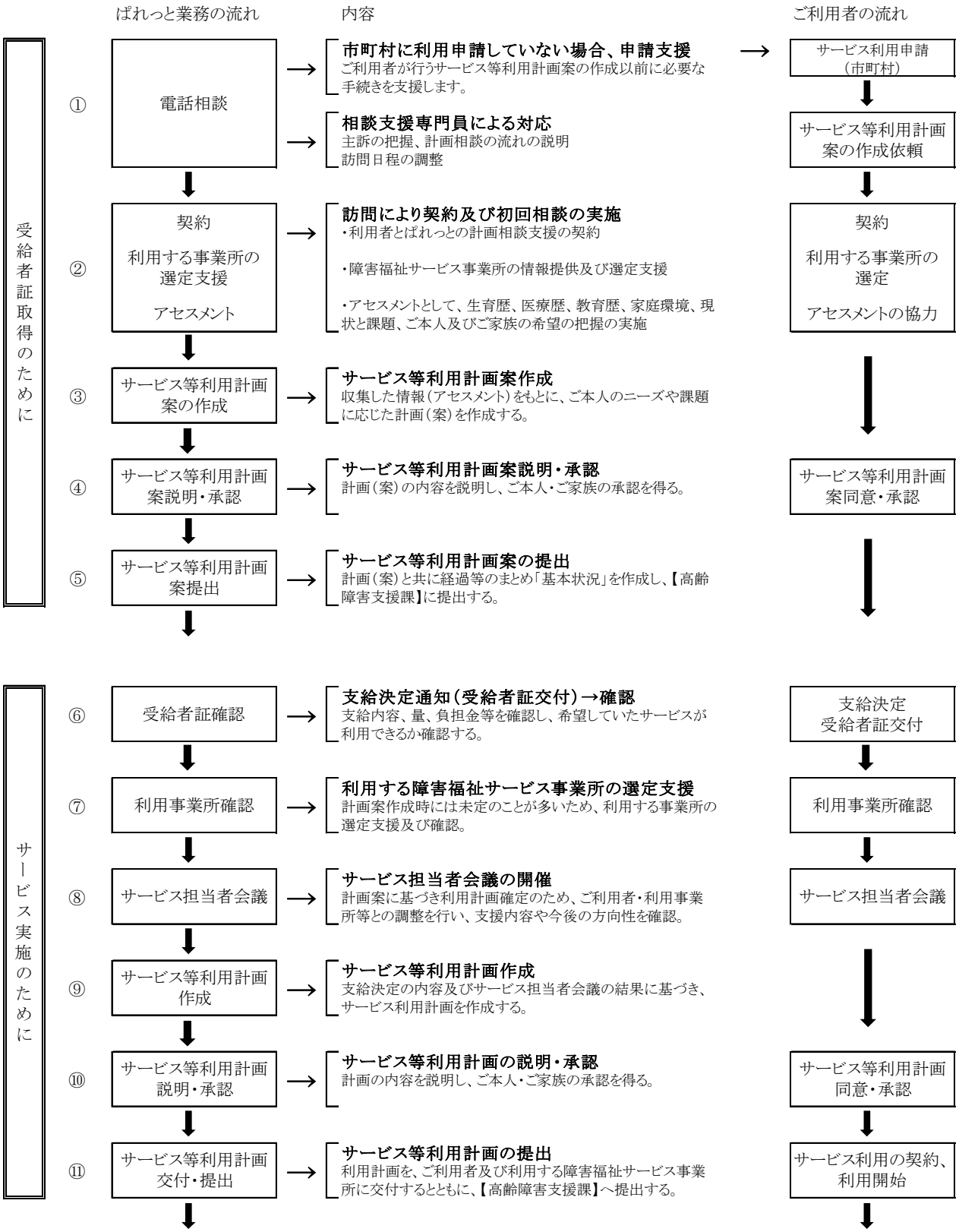
（ア）対象者

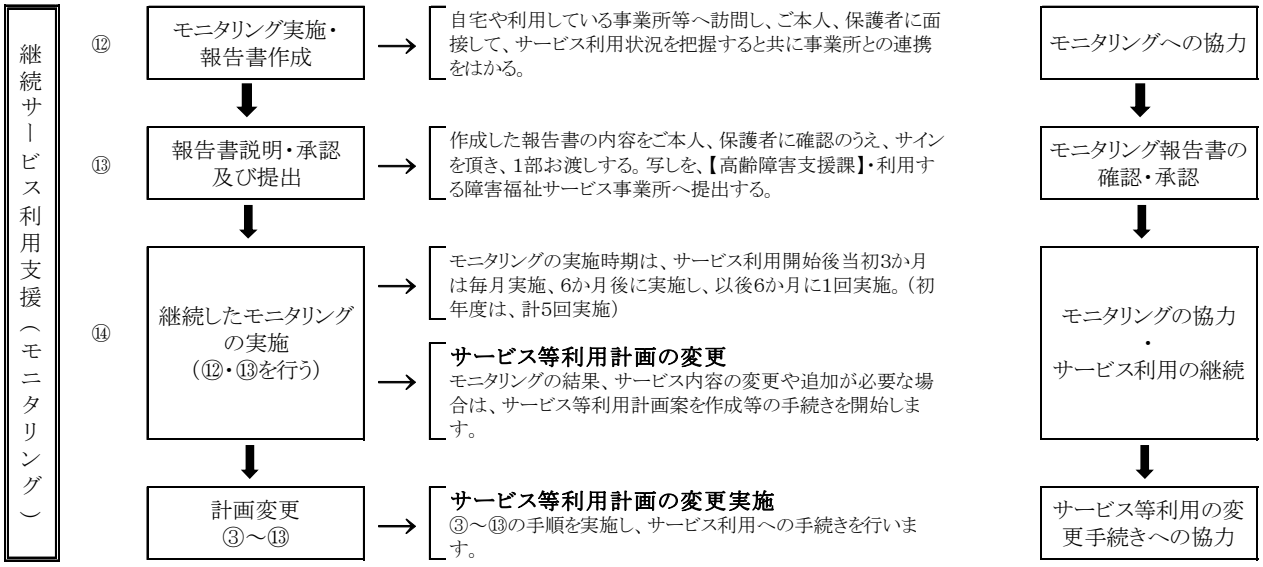
受給者証の更新児（者）を中心に可能な限り新規の計画作成及びモニタリングを行いました。

（イ）利用料

無料

（ウ）利用の流れ


ぱれっと業務の流れ
内容
ご利用者の流れ
受給者証取得のために
①
電話相談
市町村に利用申請していない場合、申請支援
ご利用者が行うサービス等利用計画案の作成以前に必要な手続きを支援します。
相談支援専門員による対応
主訴の把握、計画相談の流れの説明
訪問日程の調整
サービス利用申請（市町村）
サービス等利用計画案の作成依頼
②
契約
利用する事業所の選定支援
アセスメント
訪問により契約及び初回相談の実施
・利用者とぱれっとの計画相談支援の契約
・障害福祉サービス事業所の情報提供及び選定支援
・アセスメントとして、生育歴、医療歴、教育歴、家庭環境、現状と課題、ご本人及びご家族の希望の把握の実施
契約
利用する事業所の選定
アセスメントの協力
③
サービス等利用計画案の作成
サービス等利用計画案作成
収集した情報（アセスメント）をもとに、ご本人のニーズや課題に応じた計画（案）を作成する。
④
サービス等利用計画案説明・承認
サービス等利用計画案説明・承認
計画（案）の内容を説明し、ご本人・ご家族の承認を得る。
サービス等利用計画案同意・承認
⑤
サービス等利用計画案提出
サービス等利用計画案の提出
計画（案）と共に経過等のまとめ「基本状況」を作成し、【高齢障害支援課】に提出する。
サービス実施のために
⑥
受給者証確認
支給決定通知（受給者証交付）→確認
支給内容、量、負担金等を確認し、希望していたサービスが利用できるか確認する。
支給決定
受給者証交付
⑦
利用事業所確認
利用する障害福祉サービス事業所の選定支援
計画案作成時には未定のことが多いため、利用する事業所の選定支援及び確認。
利用事業所確認
⑧
サービス担当者会議
サービス担当者会議の開催
計画案に基づき利用計画確定のため、ご利用者・利用事業所等との調整を行い、支援内容や今後の方向性を確認。
サービス担当者会議
⑨
サービス等利用計画作成
サービス等利用計画作成
支給決定の内容及びサービス担当者会議の結果に基づき、サービス利用計画を作成する。
⑩
サービス等利用計画説明・承認
サービス等利用計画の説明・承認
計画の内容を説明し、ご本人・ご家族の承認を得る。
サービス等利用計画同意・承認
⑪
サービス等利用計画交付・提出
サービス等利用計画の提出
利用計画を、ご利用者及び利用する障害福祉サービス事業所に交付するとともに、【高齢障害支援課】へ提出する。
サービス利用の契約、利用開始



a　受給者証取得のために

(a)利用契約

計画の作成やその後のモニタリングをするための契約を締結しました。

(b)アセスメント

ご本人の様子や日常生活の状況、利用者及び保護者の意向等を確認しました。

(c)計画案作成

面談を通じて「サービス等利用計画案」「障害児支援利用計画案」を利用者及び保護者の同意のもと作成しました。

b　サービス実施のために

(a)サービス利用調整・計画作成

支給決定を踏まえ、サービス担当者会議の開催等により、計画案の内容を事業所の担当者に説明すると共に専門的な意見を求めました。また、計画作成は利用者及び保護者の同意のもと作成しました。

c　継続サービス利用支援（モニタリング）

(a)モニタリング

作成した計画の実施状況について定期的（受給者証に記載されている期間ごと）に把握（モニタリング）しました。また、モニタリングの結果、必要に応じて計画の変更を行いました。

(b)サービス提供時モニタリング

その他に適時、自宅や事業所でのサービス提供時にモニタリングを実施しました。

d　その他

ご利用者・ご家族からの相談への対応や事業所との連絡を随時行いました。

オ　いずみの家

＜就労移行支援＞

（ア）個別支援計画

a　個別支援計画作成

(a)就労移行の個別支援計画作成に関する考え方

個別支援計画は、施設を利用する上での基本計画であるため、利用者のニーズや要望を十分に把握し、利用者や保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。

就労移行支援においては、利用者の適性や長所を知ることと、評価をフィードバックすることを重視して個別支援計画を作成し、就労支援のみならず、生活全体の支援を行いました。

また、計画内容は３ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。

（ｂ）作成体制と支援の流れ

個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労移行支援プログラム）は次項のとおりで、基本的に２年以内での就労を目指しました。

b　支援プログラム

＜支援プログラムのポイント＞

・基礎体力、理解力、作業能力等の向上
・持続力、集中力等の労働習慣と意欲の向上
・職場における協調性の向上
・職場規律・社会規律の遵守
・職場への定着力の向上

<table>
<tr><th>期間</th><th colspan="2">支援ステップ
（就労移行支援プログラム）</th><th>個別支援計画の
作成・反映の流れ</th><th>支援者</th></tr>
<tr><td rowspan="3">利用
開始前</td><td colspan="2">・面談・アセスメント（初期評価）</td><td></td><td>サービス管理責任者</td></tr>
<tr><td colspan="2">・課題抽出</td><td></td><td>生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td colspan="2">・就労移行個別支援計画作成</td><td rowspan="9">⇔
⇔
⇔
⇔
⇔
個別支援計画
（適宜見直し）</td><td>サービス管理責任者</td></tr>
<tr><td>０～６ヶ月</td><td rowspan="4">対人力
生活力
向上
プログラム</td><td>・労働スキル向上プログラム</td><td rowspan="4">就労支援員
生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td>７～９ヶ月</td><td>・求職活動スキル向上プログラム</td></tr>
<tr><td>１０～１２ヶ月</td><td>・現場実習プログラム</td></tr>
<tr><td>１３～１８ヶ月</td><td>・求職活動</td><td rowspan="5">就労支援員　等</td></tr>
<tr><td>１９～２４ヶ月</td><td colspan="2">・就職</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">・職場定着プログラム</td></tr>
<tr><td>２４ヶ月</td><td colspan="2">・地域生活移行プログラム</td><td></td></tr>
</table>

c　工賃

就労支援プログラムは基本的に工賃支給対象ではありません。

また、企業等外部での実習の場合は交通費等もご利用者の負担となりますが、施設内でのプログラムで生産活動に従事した場合には、就労継続支援の「工賃支給要綱」に準じて支払いました。

（イ）就労支援

a　就労準備支援

就労するための基礎知識及びマナー等の習得に向けた支援を行いました。

(a)履歴書の作成及び模擬面接を行いました。

(b)ビジネスマナー（電話のかけ方や身だしなみ等）の習得に努めました。

b　実習

(a)体験を目的とした実習

実習を通して、職場や職場環境等への理解を深め、将来の進路を決める際に役立つよう支援しました。

(b)就労に向けた実習

実習を通して、利用者・ご家族ともに企業で働くことの理解を深め、採用後安心して働けるよう支援しました。

(c)実習先

企業での実習を行うことにより実際の作業経験等をとおして支援しました。

c　求職活動

求職活動を様々な方法で行うと共に、就労意欲を高める環境作りに努めました。

(a)ハローワーク・障害者職業センター・キャリアセンターとの連携を図りました。

(b)新規の職場開拓、合同面接会への参加を行いました。

(c)多岐にわたる求人情報の収集に努めました。

d　就労定着支援

持続可能な就労のために、就労された利用者及びご家族、企業への支援を行いました。

(a)就労した利用者との職場定着情報交換会を年１回実施していましたが、新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止しました。

(b)就労先訪問による企業支援を行いました。

(c)障害者職業センターと連携したジョブコーチによる支援を行いました。

(d)本人・家族からの相談に応じました。

（ウ）生活支援

a　日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上を支援しました。

(a)清掃

毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。

(b)日直当番

当番制により昼食準備や後片付けを行いました。

(c)地域清掃他

近隣の歩道の清掃など地域貢献に積極的に努めました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者同士で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

（エ）年間行事予定

基本的には就労継続事業と同じですが、一部行事は除きます。

（オ）日課表

時　間	項　　目	備　　考
９：００	登　　所	更衣・作業準備・身だしなみチェック
	朝　　礼	
	就労演習	就労支援プログラム

１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	
	休　　憩	
１３：００	就労演習	就労支援プログラム
		休憩（15 分）
１５：４５	終　　礼	
	清　　掃	更衣
	降　　所	

＜就労継続支援Ｂ型＞

（ア）個別支援計画

ａ　個別支援計画作成

(a)就労継続支援Ｂ型の計画作成に関する考え方

個別支援計画は、利用者の希望を把握し、働く環境や生活のあり方についてご家族も交えて検討し作成しました。

なお、就労継続支援として支援している方でも、一般就労の意欲のある方へは、就労移行につながるよう支援しました。また、計画内容は６ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。

(b)作成体制と支援の流れ

個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労継続支援プログラム）は以下のとおりです。

ｂ　支援プログラム

<table>
<tr><th>期間
１年間</th><th>支援ステップ
（就労継続支援プログラム）</th><th colspan="2">個別支援計画の
作成・反映の流れ</th><th>支援者</th></tr>
<tr><td>利用
開始前</td><td>・面談・アセスメント（初期評価）</td><td colspan="2"></td><td>サービス管理責任者</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>・課題抽出</td><td>⇔</td><td rowspan="5">個別支援計画
（適時見直し）</td><td>生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td>・就労継続個別支援計画作成</td><td>⇔
⇔</td><td>サービス管理責任者</td></tr>
<tr><td rowspan="3">０～６
ヶ月</td><td>・面談（計画の説明と合意形成）</td><td>⇔
←</td><td>サービス管理責任者</td></tr>
<tr><td>・モニタリング</td><td>→</td><td>全職員</td></tr>
<tr><td>・評価</td><td>⇔</td><td>全職員</td></tr>
<tr><td>７～
１２ヶ
月</td><td>・課題抽出</td><td>⇔</td><td rowspan="2">個別支援計画
（適時見直し）</td><td>生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td></td><td>・就労継続支援計画改訂</td><td>⇔</td><td>サービス管理責任者</td></tr>
</table>

	・面談（計画の説明と合意形成）		サービス管理責任者
	・モニタリング		全職員
	・評価		全職員

（イ）生産活動及び工賃

a　作業に集中できる環境を作り、ひとりひとりが「自分の仕事」として責任を持って取り組めるよう支援しました。

b　自主製品の販路拡大や共同受注作業の開拓等により工賃向上に努めました。

c　作業によって得られた収入は必要経費を除いて全て工賃として支給しました。

（ウ）受注生産活動

a　ギフト用箱作り・タオル箱詰め（㈱スダトモ他）

b　手提げ袋・レントゲン袋等制作（㈱明巧他）

c　保冷材箱詰め・値札付け（アイスジャパン他）

d　ハンガー組立等（㈱グローベル）

e　ペットボトルキャップの回収・分別

（エ）自主生産活動

a　ビニール袋製造・販売

b　プリント製品の製造・販売

（オ）生活支援

a 日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上に努めました。

(a)清掃

毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。

(b)日直当番

当番制により昼食準備や後片付けを行いました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

（カ）行事・レクリエーション

a　全体活動

利用者の希望をふまえた内容により全体での活動支援を行いました。

(a)社会研修　社会のルール、マナーなどの見識を広げる。

(b)一泊旅行　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

b　小グループ活動

利用者個々の参加希望によりグループでの活動支援を行いました。

(a)余暇活動　スポーツ・娯楽等グループ活動

(b)所外活動　自主的な行動を促し、社会性を養うよう所外での活動を支援しました。

（キ）行事

行事名	開催日	内容	参加者数
社会研修・第1班	令和2年7月2日	行先：八天堂きさらづ、三井アウトレットパーク幕張	8人
社会研修・第2班	令和2年7月3日	行先：八天堂きさらづ、三井アウトレットパーク幕張	10人
社会研修・第3班	令和2年7月8日	行先：八天堂きさらづ、三井アウトレットパーク幕張	8人
社会研修・第4班	令和2年7月9日	行先：八天堂きさらづ、三井アウトレットパーク幕張	8人
社会研修・第5班	令和2年7月10日	行先：八天堂きさらづ、三井アウトレットパーク幕張	10人
所外活動・第1班	令和2年11月6日	行先：マザー牧場	12人
所外活動・第2班	令和2年11月11日	行先：マザー牧場	15人
所外活動・第3班	令和2年11月13日	行先：マザー牧場	15人
新年会・出前昼食	令和3年1月4日	新年会を行い、抱負を発表後、出前で昼食をとる。	36人

（ク）活動日課表

時　間	項　　目	備　　考
	登　　所	更衣・作業準備
９：００	朝　　礼	
	作　　業	
１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	
	休　　憩	
１３：００	作　　業	
		休憩（15分）
１６：００	終　　礼	
	清　　掃	更衣
	降　　所	

カ　ふれあいの家

（ア）更生相談事業

身体障害者の更生に必要な福祉、医療、生活等、各種の相談及び身体障害者手帳の取得のための判定を受付けました。

（イ）機能訓練事業

身体機能の維持、改善を図るため理学療法・作業療法・言語訓練による「施設内訓練」と、通所困難な方を対象とした「巡回訪問（在宅巡回機能回復訓練）」を行いました。

また、各訓練終了後の希望により、本人とその家族が主体となって行うグループリハに移行し、日常生活における機能維持のために理学療法士が助言を行いました。

下記により必要に応じ医学的相談も行いました。

（診察日）・整形外科…予約により実施・神経内科…第１、３水曜日（午前）

・耳鼻咽喉科…第２水曜日（午後）

（ウ）社会適応訓練事業

社会参加への意欲を喚起し、社会適応能力の増進を図りました。

a　聞こえにくくなった方の勉強会

b　視覚障害者プチ旅行（１０月）

新型コロナウイルス感染症の対応による中止の振替を実施、春は中止。

c　肢体不自由者・内部・聴覚障害者プチ旅行（１１月）

新型コロナウイルス感染症の対応による中止の振替を実施、春は中止。

（エ）創作的活動事業

身体障害者の余暇活動の充実と社会参加及び文化・教養の向上、並びにリハビリテーションの一環として各種文化系教室を開催しました。

（オ）スポーツ・レクリエーション事業

a　スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の少ない身体障害者に対し、個々の障害に応じた種目を用意し、体力の増強やリハビリテーション、豊かな生活や仲間作り等を目的として各種スポーツ系教室を開催しました。

b　ふれあいミニフェスティバル

新型コロナウイルス感染症の対応により規模を縮小し、障害者のレクリエーションを目的としてイベントを開催しました。（地域交流、ボランティア参加を取りやめました。）

（カ）ボランティア養成事業

障害者福祉やその取り巻く環境及び障害者に対する基本的な知識と正しい理解を深めるとともに、手話、点字等の技術習得を目的とした講習会を開催しました。

（キ）施設貸出、その他の事業

a　障害者及びボランティア等に対するサークル活動等の会場提供をしました。

また、施設利用に関しての利用者との意見交換会を書面開催にて実施しました。

b　社会参加の促進等を図るため福祉バス「たいよう号」の運行と福祉カー「ゆうあい号」の貸出を行いました。

c　視覚障害者に対する情報提供事業として「声の市政だより」の発送事業を行いました。

d　障害関係図書（点字図書）をはじめ、小説、児童向け絵本等の貸出を行いました。

e　障害者の社会活動への参加を促進するため、携帯用ヒアリングループの貸出を行いました。

（ク）行事

行事名	開催日	内容	参加者数
視覚障害者プチ旅行	令和２年10月30日	（行先） 三陽メディアフラワーミュージアム	８人
肢体・内部・聴覚障害者プチ旅行	令和３年11月13日		９人
ふれあいの家 作品展	令和３年２月 ９～21日	ふれあいの家を利用している身体障害者及び障害者サークル会員の作品を展示し交流を図る。	174人
ふれあいミニフェスティバル	令和３年２月 20、21日	コロナウイルス感染拡大のため、規模を縮小し、利用者への日ごろの謝意を込めてミニ教室を４回実施した。	61人

（４）就労移行（就労移行、実習等）

ア　就労移行

（ア）生活習慣及び労働習慣の確立のための支援の実施

生活基盤を確立するために家事手伝いや金銭管理等の支援プログラムを実施する一方で、基本的労働習慣（１日を通しての立ち仕事を行う体力や集中力、時間管理等）やビジネスマナー（挨拶・返事・報告等）を身につけるため就労継続支援Ｂ型事業と連携し、包括的な支援を実施しました。

イ　実習

（ア）労働に対する自発性、持続性を養うための現場実習の実施

ハローワークや障害者職業センター等と連携して求職活動を行い、必要に応じ一般企業での実習を行い就労へとつなげていきました。

【就労実績】

性別	年齢	就職日	就職先事業所名（業務内容）	R3．3.31 現在の状況
男性	４６歳	令和２年10月26日	㈱レプレゼント（軽作業スタッフ）	就労継続中
男性	１９歳	令和２年12月１日	トッパン・フォームズ・オペレーション㈱（清掃）	就労継続中

※　平成３１年度実績　３人

【職場実習】

実習先	実習期間	実習人員
㈱レプレゼント	令和２年９月２日～９月７日（４日間）	１人
ホンダカーズ千葉朝日ヶ丘店	令和２年９月１４、１７、１８日（３日間）	１人
トッパン・フォームズ・オペレーション㈱	令和２年１０月５日～１０月１６日（１０日間）	１人
ホンダカーズ市川本八幡店	令和２年１１月５日～１１月７日（３日間）	１人

【職場見学・体験】

見学・体験先	見学・体験日	人数
㈱白洋舎	令和 2 年 6 月 29 日	2 人
㈱バイセルテクノロジーズ	令和 2 年 6 月 29 日	2 人
ちばぎんハートフル㈱	令和 2 年 7 月 13 日	1 人
トッパン・フォームズ・オペレーション㈱	令和 2 年 8 月 21 日	1 人
日産農園	令和 2 年 8 月 24 日	1 人
NTT ロジスコサービス千葉物流センター	令和 2 年 8 月 26 日	1 人
エイジスコーポレートサービス㈱	令和 3 年 3 月 18 日	1 人
リクルートスタッフィングクラフツ浦安事業所	令和 3 年 3 月 25 日	1 人

（５）工賃向上

ア　受注作業

（ア）従来の取引先企業との実績による受注量のアップに加え、新しい取引先の開拓及び利用者の技術の向上により、工賃向上を目指しました。

（イ）迅速で正確かつ丁寧な製品づくりに努めたことにより、企業との信頼関係が構築でき、また、ご利用者と目標をかかげ効率的な取組みをして安定的な受注を目指しました。

イ　自主生産作業

ポリ袋の生産・販売に加え、ポロシャツ、タオル等に刺繍やプリントを施した二次加工品といった製品により販路を広げ、工賃向上を目指しました。

ウ　令和２年度平均工賃

	就労継続支援Ｂ型事業	就労移行支援事業
年間工賃支払額	9,279,778 円	557,671 円
年間利用実人数	348 人	32 人
平均工賃額	26,666 円／月	17,427 円／月
参考)平成 31 年度平均工賃額	22,633 円	21,261 円

令和２年度の売上額は、３１年度の１，５２３万円より７４４万円増の２，２６７万円、経費等は６３２万円より６２５万円増の１，２５７万円でした。その結果、経費は倍増しま

したが、売り上げが上昇したため工賃等の支払合計額（収益額）は８９１万円から１，０１０万円と増加しました。

（６）健康管理（保健衛生）

ア　健康管理

（ア）すぎのこルーム

【医療型児童発達支援センター】

利用児の障害や健康状態を把握し、体力増進および健康管理に努めました。

a　定期健康診断

尿検査	令和２年５月
	令和２年１１月
内科健診	令和２年６月
	令和２年１１月

b　口腔衛生指導・ビーバー号による歯科検診

口腔健診による疾病の早期発見・早期治療と、保護者へのブラッシング指導や健康教育を行いました。

歯科検診（ビーバー号による口腔衛生指導）	令和２年７月２日

c　個々の健康管理

利用児の登園時及び療育中の健康状態の把握に努めました。

d　身体測定

身長や体重測定などを行い、からだの発達・発育状態を把握しました。

実　施　内　容	実　施　日
体重測定	月１回
身長測定	月１回
頭囲・腹囲測定など	適　宜

e　保健だよりの発行

月１回発行する保健だよりにより、保健行事・感染症予防対策・健康管理情報の提供を行いました。

f　病気・けがの対応

感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。

g　保育の環境管理

各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。

【児童発達支援事業】

a　保育の環境管理

各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。また、健康管理に必要な情報等の提供を随時行いました。

b　病気・けがの対応

感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。

（イ）やまびこルーム

a　定期健康診断

定期検査等内容	実施時期
耳鼻科健診	月３回実施
内科健診	令和２年７月
	令和３年２・３月
尿検査	令和２年６月
	令和３年１月

b　口腔衛生指導・ビーバー号による歯科検診

口腔健診による疾病の早期発見・早期治療と、保護者へのブラッシング指導や健康教育を行いました。

歯科検診（ビーバー号による口腔衛生指導）	令和３年１月２７日

（ウ）いずみの家

a　定期健康診断

定期検査等内容	実施時期
尿便（保菌・潜血）検査	令和２年６月・令和３年１月
内科健診	令和２年７月・令和３年２月
血液検査	令和３年１月
レントゲン撮影	令和３年１月

b　口腔衛生指導・ビーバー号による歯科検診

口腔健診による疾病の早期発見・早期治療と、のブラッシング指導や健康教育を行いました。

歯科検診（ビーバー号による口腔衛生指導）	令和２年１０月２７日

イ　衛生管理

（ア）給食

すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家では、利用者に給食を提供しており、食材の保管・調理、調理器具、厨房内環境等について「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い管理しました。また、飲料水については、年１回水道法に定める簡易専用水道検査を実施しました。

（イ）施設内環境

a　各部屋の温度・湿度・喚起・採光などに十分配慮しました。また、園庭や砂場、プール療育時の水質・安全管理及び事故防止に努めました。

b　施設内の整理・整頓・清潔・清掃など環境を整備し、利用者に快適な環境での療育を提供するとともに、転倒等の事故防止につなげました。

c　施設内の害虫等防除を年２回（分館は特定建築物の基準に基づき年６回）実施しました。また、使用殺虫剤名等の調査を実施し千葉市に報告しました。

療育センター本館

内容	実施日	実施事業者
貯水槽清掃	R2.10.31	パナソニック ES 産機システム㈱
水質検査	R2.5.7	（一財）千葉県薬剤師会検査センター
ネズミ・衛生害虫等防除業務	R2.6.6 R2.10.31	協和ビル管理㈱

療育センター分館

内容	実施日	実施事業者
貯水槽清掃・水質検査	R2.6.8	協和ビル管理㈱
ネズミ・衛生害虫等防除業務	R2.4.20、R2.6.15、R1.8.17 R2.10.19、R2.12.21、R3.2.15	協和ビル管理㈱

（7）給食

ア　すぎのこルーム・やまびこルーム

（ア）給食について

食生活を通して心身の健康を図ると共に、日々の食事に充実感を味わえるような食事管理を行いました。

a　利用児の必要栄養量を満たしました。

b　行事や季節感を楽しめるように旬の食材を積極的に取り入れる工夫をしました。

c　料理の組み合わせ（和・洋・中）のバランスを考え提供しました。

d　不足しがちな栄養素（カルシウム・鉄分・食物繊維）をできるだけ多く摂取できるように献立作成を行いました。

（イ）食形態について

利用児の摂食状態に合わせた食形態を提供しました。

（ウ）食物アレルギー対応について

食物アレルギーのある児童に対し、「給食アレルギー対応食マニュアル」に従い、アレルギー対応の給食を提供していますが、令和２年度は対象となる利用児はおりませんでした。

イ　いずみの家

利用者の希望に合わせ、昼食を各自でご用意いただくか、給食の提供を行うか、あるいは仕出し弁当の取り次ぎを行う体制を整えました。

（ア）給食の提供

希望者に給食の提供を行いました。

栄養管理面だけでなく嗜好調査を定期的に実施し、利用者にあった献立を工夫するとともに、リクエスト等も取り入れました。なお、アレルギー食対応の利用者はおりませんでした。

（イ）仕出し弁当の取次ぎ

仕出し弁当の取次ぎ体制は常に整えておりましたが、実際の利用はありませんでした。

（８）保護者（家族）との連携

ア　すぎのこルーム

（ア）医療型児童発達支援センター

保護者支援

保護者が障害を持つ我が子を理解し、よりよい子育てができるよう支援するとともに個別相談にも、随時対応し支援しました。

a　個別面談

個別支援計画書に基づき保護者の意見を汲み取りながら面接を行いました。

個別目標を基に利用児の療育、育児についてルームと家庭との相互理解を深めました。

b　家庭訪問

病気、入院等の理由で長期欠席が続いた場合などに家庭訪問を実施することにしています。

c　保護者勉強会

職員による勉強会などを行い、必要な情報や知識を提供しました。

d　行事

家族参観、運動会、季節の行事に家族で参加して頂き、児童への理解を深める機会を作りました。

e　おたよりの発行

月１回ルームより行事予定等のお知らせをしました。

f　進路についての支援

(a)4・5 歳児の保護者に対し、特別支援学校の見学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

(b)卒園した保護者を招き、学校での体験談や様子を聞く機会を設けました。

(c)保育所・幼稚園などに移行を希望の保護者に対し、相談・面談を行いました。

(d)就学にあたっては、地区の特別支援学校と連携を図りました。

(e)その他、随時個別の相談に応じました。

g　保護者への情報提供

(a)年度当初に運営方針に基づき施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。

(b)福祉に関する様々な情報を、随時お知らせしました。

（イ）児童発達支援事業

保護者が障害および障害を持つ我が子を理解し、よりよい子育てができるよう支援しました。

a　個別支援計画

児童の課題と保護者の意向を把握し、児童の個別支援計画を前期・後期に分けて作成しました。また、個別支援計画を保護者に説明し、同意を得て実施しました。

b　相談や情報提供

(a)保護者のニードを把握した上で随時相談に応じました。

(b)就園、就学に向けての情報提供および福祉制度等の相談に応じました。

(c)心理判定員による相談等を適宜行いました。

イ　やまびこルーム

早期発見された聴覚障害児を持つ保護者に対して、適切な養育が出来るよう支援に努めました。保護者が我が子の障害及び現状を理解し、よりよい子育てができるように全職員が保護者からの相談に随時応じました。

（ア）個別面談

年２回、個別支援計画書に基づき保護者の意見を聞きながら面接を行いました。個別に立てた目標をもとに利用児の療育、育児についてルームと家庭との相互理解を深めました。

（イ）保護者勉強会

難聴児を育てた保護者や卒園生の体験談および外部講師による講演会などをオンライン併用で行い、必要な情報や知識を提供しました。

（ウ）保護者向けセミナー

難聴に関する知識の提供および保護者同士の交流を目的に、月２回９講座を２期（７～１１月、１１月～３月）オンライン併用で実施し、延べ２４８人の保護者が参加しました。

（エ）行事

秋祭り、運動会、クリスマス会等の行事には、保護者１人のみの参加で行いました。

異年齢のお子さん同士、保護者同士の交流を目的に異年齢交流グループ活動を３月に行いました。

（オ）進路相談

a　保育所・幼稚園及び他の教育機関の選択について相談に応じました。

b　保護者に対し、就学についての情報提供、支援を行いました。

c　就学にあたっては、地域の教育委員会及び教育機関と連携を図りました。

（カ）保護者への情報提供

a　年度当初の運営方針に基づき、施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。

b　月１回「施設だより」を発行し、行事予定や療育に関連する情報を紹介するコーナーを設けるなどして、やまびこルームの指導内容についてお知らせいたしました。

c　児童福祉法及び関係省令について随時お知らせしました。

d　福祉サービスの情報提供をお知らせしました。

e　他の福祉施設などの機関誌、広報誌の案内等を閲覧して紹介しました。

（キ）やまびこルーム難聴児を持つ親の会との連携

a　クリスマス会、秋祭り等の行事協力を依頼し協力を得ました。

b　親の会の懇談会は、令和２年度はコロナウイルス感染症感染拡大のため中止となりました。

ウ　いずみの家

（ア）新型コロナウイルス感染予防のため新年度保護者説明会は書面による報告としました。

（イ）個別支援計画に基づき、就労移行で年４回、就労継続で年２回の機会を捉え、利用者及

び保護者との面談による情報交換を図りました。

（ウ）連絡帳によりご家族との連携を図りました。

（エ）主な行事予定や施設の動向、連絡事項等をご家族にお知らせするため、「いずみだより」を毎月１回発行しました。

（９）感染症対策

ア　感染症の予防対策

（ア）療育センターを利用している児童等は、感染症に対する抵抗力の弱い方が少なくないため、心身障害児総合通園センター内施設では、「健康管理の方針」を定め利用者に配布し、感染症の予防や対応について周知をいたしました。

（イ）感染症予防及び感染症発生時には、「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する指針」に従い対応しました。

（ウ）療育センター内に消毒液や手洗い石けんを設置するとともに、利用者及び職員に手洗い・うがいを徹底しました。また感染症流行時にはマスクを着用しました。

（エ）職員は、インフルエンザワクチンを接種し、インフルエンザ予防と利用者への感染防止に努めました。また、Ｂ型肝炎予防として抗体検査を行い抗原・抗体が陰性であった職員には、ワクチン接種を行いました。

内容	実施月	実施業者
Ｂ型肝炎ワクチン接種	令和２年５月～	ちば県民保健予防財団
インフルエンザ予防接種	令和２年１１月	療育センター

イ　新型コロナウイルス感染症の対応

（ア）対応の経過

令和２年度中から国内での感染拡大を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の対応について、職員の検温等の健康チェックやその記録、ご利用者や同伴されるご家族の体温及び健康チェックを実施し、施設内に立ち入る際の手指消毒やマスクの着用など対策の徹底を図りました。療育センター感染症予防委員会も開催し、各施設の対応状況を共有し、施設の現状に即した事業継続を前提とした取り組みを行いました。

（イ）対応の基本的な考え方

安全に事業を実施するため、次の考え方を共有して対応してきました。

ａ　療育センターの業務の目的を達成するため、事業を継続できる方策を第一に考えました。

ｂ　事業の継続を前提条件として、コロナウイルスの感染者を出さないことや拡大させないことが重要となり、感染リスクを最小限にしながら事業を実施しました。

ｃ　事業継続と感染リスク対策の両方の実現のためには、状況の変化により実施する内容を取捨選択する場面が出てくることがあり得ますが、これらの基本的な考え方を踏まえて業務に取り組みました。

（ウ）今後の課題

ａ　新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、感染状況やその対策によって大きく変

化すると考えられます。対応を迅速かつ柔軟に行っていくこと、長期化による影響も考慮していくことなどが重要であると考えます。そのためにも、業務継続計画（ＢＣＰ）の策定をガイドラインに基づき進めていく必要があります。

b　新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令された事態を経験しましたが、今後も国や千葉市が示す事業継続の有無を含めた方針から、取り組むべき方向性を見極め、社会全体から、ご利用者、職員個人やその家族にまで大きく影響が及ぶ状況に対して適切に判断し実行していくことが求められると考えます。

ウ　感染症発生時の対応

（ア）感染症に感染した者（利用者・職員）は、施設内の立ち入りを禁止し、自宅療養をお願いしました。

（イ）感染症に感染した者が出た場合には、速やかに施設長に報告し、施設長から利用者や保護者への情報提供を行いました。

（ウ）新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した際には、感染症対策会議を開き早急の対応協議を行いました。感染拡大を防ぐためにも、状況確認と保健所等の関係機関への報告、当該施設の他職員のＰＣＲ検査の実施及び勤務の調整等を行い、その後の陽性者の発生はありませんでした。

（１０）身体拘束等の禁止及び虐待防止

千葉市療育センター全体で「虐待防止に関する指針」を定め、センター全体で障害児（者）の虐待防止や養護者に対する支援に取り組むとともに、下記のとおり実施しました。

ア　身体の拘束の禁止

千葉市療育センターでは、児童福祉法及び障害者虐待防止法に定めのある「身体拘束等の禁止」に当該利用児（者）又は他の利用児（者）の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用児（者）の行動を制限する行為（身体拘束）の禁止を実施しました。

（ア）身体的拘束を取らずに支援できるよう事前準備（ケース会議等）を以下のように具体的に実施しています。

a　緊急な身体拘束の可能性のある利用児（者）をひとつのグループに集まらないよう配慮し、グループ編成を行いました。

b　利用児（者）の身体拘束の可能性のある利用児（者）には１対１の職員配置を実施するなど、身体拘束を行わず支援できるような取り組みを行いました。

c　突発的な行動があった場合でも行動を制限せず支援が出来るよう各部屋の安全性確保（棚の固定・突起部分の削除・柱等への保護材の設置等）の取り組みを行っています。

（イ）利用児（者）本人または、他の利用児（者）の生命、又は身体が危険にさらされる可能性があり、緊急やむを得ない状況で身体拘束を行った場合、直ちに施設長へ報告し、事実関係を業務日誌へ記載し、状況に応じては家族へ報告することとしています。なお、令和２年度は身体拘束を行っていません。

（ウ）職員に対し、身体拘束や体罰について研修や勉強会を実施し理解を深めるとともに、意

識・関心を深めました。

イ　虐待防止

虐待防止に関する取り組みは、障害児（者）の人権の尊重や権利擁護の具現化につながることのみならず、利用者及び保護者に安心と安全を提供するサービスの質の向上という観点からも意義のある実践と考えています。千葉市療育センターでは、以下の基本的な考え方で「虐待等の防止」の取り組みにあたりました。

（ア）家庭での虐待の早期発見等

a　虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、虐待に関する内部研修を実施するなど虐待の早期発見が出来るよう取り組みました。

b　虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるため、日々のサービス提供（健康チェック時等）において「身体的虐待」・「心理的虐待」等に対し着眼点を定め把握に努めました。

c　職員が支援中に虐待の事実を発見した場合、千葉市及び関係各機関に報告するなどの必要な措置を講ずるよう取り組みました。

（イ）施設内での虐待防止対策（具体的な実施内容）

a　利用児（者）の人格を尊重し威圧的な態度・命令口調等にならないよう、行動規範を定め、職員へ周知徹底しました。

b　過度な支援内容にならないよう、本人または保護者の理解を得て支援計画を実施しました。

c　職員に対し虐待防止に関する研修や学習を実施しました。

d　職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲出しました。

e　施設が閉鎖的にならないよう、職員以外の外部のボランティアや実習生を積極的に受け入れました。

f　苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内をしました。

（１１）広報その他の使用促進

ア　ホームページによる情報提供

ホームページに、事業内容、利用方法、交通アクセス等を詳しく掲載しました。また、療育センター各施設での活動の様子や療育（訓練）等の特色、行事参加の募集、ボランティアの募集などを紹介し、地域社会への情報発信を行いました。

イ　広報誌の発行

各施設とも定期的に「施設だより」を発行し、季節の行事やボランティアの活動状況の報告及び募集、職員の紹介、法改正等の情報提供、福祉相談の利用促進等を行いました。また、「給食だより」を発行し、栄養に関する知識の普及と献立の工夫等を紹介しました。

ウ　関係機関への働きかけ

医療・教育・福祉機関等へパンフレットの設置を依頼するなど広く地域への情報提供をしました。

（１２）使用料の確実な徴収（滞納防止）

ア　医療費

医療費については、通常の病院同様診察、訓練終了後窓口について現金で支払いをしていただきました。また、徴収した現金は安全確実な方法で保管の上、翌日千葉市へ納付しました。

イ　施設利用料等

利用料については毎月１０日までに利用者に請求書を送付し、月末までに現金もしくは口座引落にて徴収しました。また徴収結果を「請求額内訳書」にて千葉市に報告し、１ヶ月分まとめて千葉市に納付しました。

施設名　　千葉市療育センター　療育相談所

ｻｰﾋﾞｽ種別　　診療

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	使用料	手数料	計	使用料	手数料	計
4月	132,690	26,400	159,090	132,690	26,400	159,090
5月	98,760	13,200	111,960	98,760	13,200	111,960
6月	146,840	29,700	176,540	146,840	29,700	176,540
7月	173,460	29,700	203,160	173,460	29,700	203,160
8月	155,950	36,300	192,250	155,950	36,300	192,250
9月	150,130	31,900	182,030	150,130	31,900	182,030
10月	160,750	13,200	173,950	160,750	13,200	173,950
11月	146,120	18,700	164,820	146,120	18,700	164,820
12月	159,890	14,300	174,190	159,890	14,300	174,190
1月	189,190	12,100	201,290	189,190	12,100	201,290
2月	158,380	17,600	175,980	158,380	17,600	175,980
3月	180,370	14,300	194,670	180,370	14,300	194,670
計	1,852,530	257,400	2,109,930	1,852,530	257,400	2,109,930

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　医療型児童発達支援センター

	請求額内訳(指定管理受託者)				徴収額内訳(指定管理受託者)			
	利用料	医療費	給食費	計	利用料	医療費	給食費	計
4月	7,038	5,100	10,020	22,158	7,038	5,100	10,020	22,158
5月	6,670	5,100	5,970	17,740	6,670	5,100	5,970	17,740
6月	9,750	8,860	15,330	33,940	9,750	8,860	15,330	33,940
7月	8,734	6,300	16,830	31,864	8,734	6,300	16,830	31,864
8月	8,110	5,260	10,850	24,220	8,110	5,260	10,850	24,220
9月	5,188	3,620	10,920	19,728	5,188	3,620	10,920	19,728
10月	5,222	4,380	9,650	19,252	5,222	4,380	9,650	19,252
11月	9,002	6,920	12,950	28,872	9,002	6,920	12,950	28,872
12月	9,814	2,100	16,180	28,094	9,814	2,100	16,180	28,094
1月	13,664	3,600	7,930	25,194	13,664	3,600	7,930	25,194
2月	18,526	5,100	8,210	31,836	18,526	5,100	8,210	31,836
3月	19,177	7,200	16,350	42,727	19,177	7,200	16,350	42,727
計	120,895	63,540	141,190	325,625	120,895	63,540	141,190	325,625

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　児童発達支援事業

	請求額内訳(指定管理受託者)			徴収額内訳(指定管理受託者)		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	6,874	8,640	15,514	6,874	8,640	15,514
5月	6,550	12,480	19,030	6,550	12,480	19,030
6月	12,830	16,640	29,470	12,830	16,640	29,470
7月	17,509	20,800	38,309	17,509	20,800	38,309
8月	10,879	16,640	27,519	10,879	16,640	27,519
9月	12,887	18,560	31,447	12,887	18,560	31,447
10月	18,262	19,200	37,462	18,262	19,200	37,462
11月	12,338	15,040	27,378	12,338	15,040	27,378
12月	19,084	18,560	37,644	19,084	18,560	37,644
1月	18,010	20,160	38,170	18,010	20,160	38,170
2月	15,117	17,920	33,037	15,117	17,920	33,037
3月	17,276	19,520	36,796	17,276	19,520	36,796
計	167,616	204,160	371,776	167,616	204,160	371,776

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	988	460	1,448	988	460	1,448
6月	409	230	639	409	230	639
7月	0	0	0	0	0	0
8月	409	230	639	409	230	639
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	409	230	639	409	230	639
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
計	2,215	1,150	3,365	2,215	1,150	3,365

施設名　　千葉市療育センター　やまびこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　福祉型児童発達支援センター

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	39,004	0	39,004	39,004	0	39,004
5月	67,175	0	67,175	64,245	0	64,245
6月	85,398	0	85,398	85,398	0	85,398
7月	89,017	0	89,017	89,017	0	89,017
8月	94,459	0	94,459	94,459	0	94,459
9月	98,611	0	98,611	98,611	0	98,611
10月	120,326	0	120,326	120,326	0	120,326
11月	102,984	0	102,984	102,984	0	102,984
12月	126,327	0	126,327	126,327	0	126,327
1月	123,167	0	123,167	123,167	0	123,167
2月	120,794	0	120,794	120,794	0	120,794
3月	129,909	0	129,909	129,909	0	129,909
計	1,197,171	0	1,197,171	1,194,241	0	1,194,241

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労移行支援事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	0	16,100	16,100	0	16,100	16,100
5月	0	14,720	14,720	0	14,720	14,720
6月	0	19,780	19,780	0	19,780	19,780
7月	0	18,400	18,400	0	18,400	18,400
8月	0	17,940	17,940	0	17,940	17,940
9月	0	12,190	12,190	0	12,190	12,190
10月	0	11,500	11,500	0	11,500	11,500
11月	0	7,590	7,590	0	7,590	7,590
12月	0	4,600	4,600	0	4,600	4,600
1月	0	4,140	4,140	0	4,140	4,140
2月	0	4,140	4,140	0	4,140	4,140
3月	0	5,060	5,060	0	5,060	5,060
計	0	136,160	136,160	0	136,160	136,160

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労継続支援B型事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	0	103,960	103,960	0	103,960	103,960
5月	0	90,390	90,390	0	90,390	90,390
6月	0	130,640	130,640	0	130,640	130,640
7月	0	117,760	117,760	0	117,760	117,760
8月	0	111,550	111,550	0	111,550	111,550
9月	0	118,220	118,220	0	118,220	118,220
10月	0	130,640	130,640	0	130,640	130,640
11月	0	103,500	103,500	0	103,500	103,500
12月	0	115,230	115,230	0	115,230	115,230
1月	0	102,580	102,580	0	102,580	102,580
2月	0	101,890	101,890	0	101,890	101,890
3月	0	126,040	126,040	0	126,040	126,040
計	0	1,352,400	1,352,400	0	1,352,400	1,352,400

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援事業（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	230	230	0	230	230
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	409	230	639	409	230	639
計	409	460	869	409	460	869

3　維持管理の実施に関すること

（1）建築物の保守管理

ア　基本的な考え方

建物の維持管理について、施設建物の機能を最大限発揮し、利用者が安心かつ快適に支援を受けられるよう点検・保守・修繕を実施し記録しました。

イ　点検・保守

（ア）屋根・外壁・外構・玄関・廊下・階段・居室・事務室・和室・便所・洗面所については「市有建築物維持管理マニュアル」のチェックポイントに従い定期的にチェックしました。

ウ　修繕

長期にわたって良好な状態が継続できるよう、修繕（改修）を行いました。修繕の実施に当たっては可能な限り利用者に影響の少ない時間帯、方法等を考慮し実施しました。

修繕箇所	修繕内容	完了日	実施事業者
たいよう号	たいよう号バーナーヘッドリンク交換等修繕	4月10日	宮園バス㈱千葉営業所
車庫照明	車庫照明　漏電に伴う交換修繕	4月25日	(株)エルテック
2階ベランダ	2階ベランダ塗装補修修繕	4月26日	(株)エルテック
はまのわ2階調理室	調理室外壁（ガラスブロック）目地修繕	4月27日	(株)エルテック
グリストラップ	グリストラップ蓋交換修繕	4月29日	(株)エルテック
いずみの家第4作業室照明	第4作業室照明交換修繕	5月18日	マツバラ電気㈱
療育センター全館排水管	排水管TVカメラ調査修繕	5月30日	管清工業㈱
はまのわ2階調理室外壁	2階調理室外壁（ガラスブロック）補強修繕	6月1日	(株)エルテック
3階更衣室・地下室　換気扇	3階更衣室・地下室換気扇交換修繕	6月11日	マツバラ電気㈱
地下室電気室電気設備	地下室電気室電気設備修繕	6月13日	(株)黒田電気商会
すぎのこルーム理学療法室	理学療法室床補強修繕	6月14日	(株)エルテック
すぎのこルーム保育室	保育室見切り抑え再取り付け修繕	6月14日	(株)エルテック
指導訓練室他網戸	指導訓練室他網戸設置修繕	6月27日	(株)トヨクラメント
正面玄関前他駐車場	正面玄関前他駐車場区画線設置修繕	6月27日	(株)トヨクラメント
2階集団観察室他	内線電話増設修繕	6月28日	(株)大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
いずみの家作業室動力電源	いずみの家作業室　動力電源増設修繕	6月29日	マツバラ電気㈱
厨房手洗い器	厨房手洗い器修繕	6月30日	(株)関東三貴
吸収冷温水機電装部品	吸収冷温水機電装部品交換修繕	7月7日	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ産機ｼｽﾃﾑｽﾞ(株)
3階ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ排水部	3階ベランダ排水部修繕	7月13日	(株)エルテック
ガス空調機	ガス空調機（GHP）修繕	8月21日	東京ガス(株)

修繕箇所	修繕内容	完了日	実施事業者
3階車椅子トイレ	3階車椅子トイレ音波開閉器交換修繕	8月23日	(株)エルテック
1階天井空調	1階天井空調ドレン詰まり調査修繕	9月5日	管清工業㈱千葉営業所
厨房用ガス警報器	厨房用ガス警報器交換修繕	9月16日	東京ガスライフバル千葉(株)
体育室倉庫ドア	体育室倉庫ドア吊り部材交換	9月20日	㈱エルテック
厨房換気扇	厨房換気扇交換修繕	9月24日	㈱関東三貴
厨房給排気ダクト	厨房給排気ダクト周囲雨漏り修繕	9月28日	㈱トヨクラメント
やまびこルーム通園バス	通園バス　エンジンクーラント漏れ修繕	10月2日	宮園バス㈱千葉営業所
すぎのこルーム子ども用トイレ	子ども用トイレ　タイル修繕	10月3日	(株)エルテック
車庫ｼｬｯﾀｰｶﾞｲﾄﾞﾍﾞｰｽ	車庫ｼｬｯﾀｰｶﾞｲﾄﾞﾍﾞｰｽ加工再取付修繕	10月15日	(株)トヨクラメント
1F厨房及び1F男子トイレ	1F厨房内タイル及び1F男子トイレタイル修繕	10月17日	(株)エルテック
1F女子トイレ照明	1F女子トイレ照明交換修繕	10月17日	マツバラ電気㈱
2F療相事務室及び1F看護師室	内線電話増設等修繕	10月21日	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
すぎのこルーム前地下ピット	地下ピット内水中ポンプ交換修繕	12月12日	(株)エルテック
ガス空調機	ガス空調機（GHP）修繕	12月15日	東京ガス(株)
すぎのこルーム学校側網戸	すぎのこルーム学校側網戸設置修繕	12月19日	(株)トヨクラメント
消防用設備	光電式スポット型感知器2種（1個）他交換修繕	12月21日	㈱関東消防機材
消防用設備	通路C級誘導灯他交換修繕	12月25日	㈱関東消防機材
すぎのこルーム通園バス	通園バス　エンジンクーラント漏れ修繕	1月14日	宮園バス㈱千葉営業所
3階女子更衣室照明	3階女子更衣室照明交換修繕	1月14日	マツバラ電気㈱
すぎのこルーム国道側網戸	すぎのこルーム国道側網戸設置修繕	1月25日	(株)トヨクラメント
やまびこルーム通園バス	通園バス　エンジン水温計修繕	1月30日	宮園バス㈱千葉営業所
吸収冷温水機2号機	吸収冷温水機2号機真空部品交換修繕	2月22日	パナソニック産機システムズ㈱
2F言語学習室他網戸	2F言語学習室他網戸設置修繕	2月23日	(株)トヨクラメント
すぎのこルーム1階プレイルーム	すぎのこルーム1階プレイルーム照明交換修繕	3月4日	マツバラ電気㈱
たいよう号	たいよう号　クラッチオイル　フルード漏れ修繕	3月11日	宮園バス㈱千葉営業所
吸収冷温水機2号機	吸収冷温水機2号機ﾊﾟﾗｼﾞｳﾑｾﾙﾋｰﾀｰ交換修繕	3月23日	パナソニック産機システムズ㈱

（２）設備・備品の保守管理に関すること

ア　設備管理の基本的な考え方

設備機器の性能及び機能を最大限発揮し、良好な状態が長期に渡り維持できるよう、法令

等を遵守し保守管理を実施しました。

（ア）設備の管理方法

専門的技術等を必要とすることから、下記の要件に基づき適切な業務委託により管理を行いました。

a　責任者：設備管理業務における必要な資格を有し、実務実績のある責任者を配置しました。

b　監視方法：法令に基づき設備管理計画を作成し、設備が適正に管理され稼動してるか記録を作成しました。

c　点検方法：日常点検巡視業務計画書を作成し、点検を実施しました。

（イ）点検設備名と点検状況

点検・保守項目	実施日	結果	実施事業者
自家用電気工作物保守点検（分館）	4月15日	適	（一財）関東電気保安協会
簡易専用水道検査	5月7日	適	千葉県薬剤師会検査センター
エレベータ保守点検	5月8日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
小荷物昇降機保守点検	5月8・22日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
電話交換機保守点検	5月14日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
消防設備点検（分館）	5月15日	適	㈱関東消防機材
エレベータ保守点検（分館）	5月18日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検	5月19日	適	（一財）関東電気保安協会
空調保守点検（分館）	5月29日	適	ダイキン工業㈱
受水槽清掃（分館）	6月8日	適	協和ビル管理(株)
空調設備点検	6月15日	適	パナソニック産機システムズ(株)
自家用電気工作物保守点検（分館）	6月18日	適	（一財）関東電気保安協会
電話交換機保守点検（分館）	6月19日	適	宮川電気通信工業㈱
小荷物昇降機保守点検	6月26日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検	7月9日	適	（一財）関東電気保安協会
電話交換機保守点検	7月16日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
自動ドア保守点検	7月22日	適	ナブコシステム(株)
自動ドア保守点検（分館）	7月22日	適	ナブコシステム(株)
ばい煙測定	7月28日	適	中外テクノス
エレベータ保守点検	7月29日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
小荷物昇降機保守点検	7月29日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
空調保守点検（分館）	8月4日	適	ダイキン工業㈱
エレベータ保守点検（分館）	8月17日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検（分館）	8月20日	適	（一財）関東電気保安協会

点検・保守項目	実施日	結果	実施事業者
消防設備点検	8月22日	適	㈱関東消防機材
空調設備点検	8月24日	適	パナソニック産機システムズ(株)
小荷物昇降機保守点検	8月31日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
電話交換機保守点検	9月3日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
自家用電気工作物保守点検	9月16日	適	(一財)関東電気保安協会
自動ドア保守点検(分館)	9月18日	適	ナブコシステム(株)
自動ドア保守点検	9月23日	適	ナブコシステム(株)
小荷物昇降機保守点検	9月30日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検(分館)	10月13日	適	(一財)関東電気保安協会
空調設備点検	10月17日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベータ保守点検	10月27日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
小荷物昇降機保守点検	10月27日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
電話交換機保守点検(分館)	10月27日	適	宮川電気通信工業㈱
電話交換機保守点検	11月11日	適	(一財)関東電気保安協会
消防設備点検(分館)	11月11日	適	㈱関東消防機材
空調保守点検(分館)	11月12日	適	ダイキン工業㈱
電話交換機保守点検	11月13日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
小荷物昇降機保守点検	11月30日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
エレベータ保守点検(分館)	11月30日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検(分館)	12月10日	適	(一財)関東電気保安協会
小荷物昇降機保守点検	12月18日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
ばい煙測定	1月8日	適	中外テクノス
電話交換機保守点検	1月14日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
空調設備点検	1月14日	適	パナソニック産機システムズ(株)
ガスヒーポンスポット保守点検	1月15日	適	東京ガス(株)
自家用電気工作物保守点検	1月20日	適	(一財)関東電気保安協会
特定建築物定期検査(分館)	1月22日	適	(株)建物診断センター
エレベータ保守点検	1月27日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
小荷物昇降機保守点検	1月27日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自動ドア保守点検(分館)	1月27日	適	ナブコシステム(株)
自動ドア保守点検	1月27日	適	ナブコシステム(株)

点検・保守項目	実施日	結果	実施事業者
特定建築物定期検査	1月30日	適	(株)建物診断センター
エレベータ保守点検(分館)	2月8日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
自家用電気工作物保守点検(分館)	2月9日	適	(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守点検(分館)	2月10日	適	宮川電気通信工業㈱
小荷物昇降機保守点検	2月19日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
消防設備点検	2月20日	適	㈱関東消防機材
電話交換機保守点検	3月10日	適	㈱大崎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
自家用電気工作物保守点検	3月12日	適	(一財)関東電気保安協会
エレベータ保守点検	3月24日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱
小荷物昇降機保守点検	3月24日	適	三菱電機ﾋﾞﾙﾃｸﾉｻｰﾋﾞｽ㈱

イ　備品の管理

備品の不調・不具合の早期発見に努め、破損・劣化や故障があった場合は使用に支障を来さぬよう、迅速に対応を図りました。

（ア）備品の管理方法

a　当事業団経理規程に基づき、千葉市の貸与備品と他の備品を品名で分類した備品台帳を作成し、品名・メーカー・金額・購入年月日・耐用年数・配置場所等を明記し、当該備品にシールを貼付し管理しました。

b　長期の有効使用に資するため破損・消耗の度合いを定期的に確認し、必要な場合は迅速に修理しました。また、備品を廃棄する場合は、関係法令、事業団の経理細則に基づき処理しました。

（イ）備品の効率的な活用について

当事業団の施設間で貸出可能な備品の共有化を図ることで購入コストを削減し、効率的な運用を図りました。

（３）警備に関すること

ア　基本的な考え方

施設の秩序維持、盗難・破壊等の犯罪の防止、火災などの災害の防止及び財産の保全を目的とし、利用者に安心・安全な施設環境を提供するため、施設職員が不在の際は業務委託による機械警備を基本とし、アラーム等により異常を感知した場合は委託業者による巡回警備を実施しました。

イ　警備業務の内容

（ア）機械警備の時間帯

職員が退所後から翌日出所までの時間帯および施設が完全休館となる年末年始（１２／２９～１／３）及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

はまのわについては、ふれあいの家及びBringupちば発達センターの利用時間に応じてエリアごと又は全館の機械警備を実施しました。

（イ）異常時の対応

異常通報があった場合、委託業者は速やかに施設に急行し現状確認と初期対応を行うと共に、施設の緊急連絡網により施設長へ報告し指示を受け、状況に応じて警察・消防への通報を行う体制としました。

委託名	委託業者
機械警備業務	協和警備保障㈱

ウ　施設の対応

施設職員が勤務中においては日常の定期巡回を実施し、施設の安全維持及び犯罪・災害等の防止に努め、利用者に快適かつ安定したサービスを提供しました。具体的な施策としては以下のとおりです。

（ア）施設内部、敷地内周辺に不審物や廃棄物等が放置されていないかを巡回確認しました。
（イ）各部屋の設備・備品等を目視や音で点検し、安全と性能維持を確認しました。
（ウ）閉館時は各トイレをはじめとして各部屋の点検及び施錠等の確認をしました。
（エ）施設周辺において不審なこと（不審者の目撃等）が無かったか等の状況収集と確認に努めました。

（４）清掃に関すること

ア　基本的な考え方

利用者に良質な施設環境を提供するにあたり、常に清潔で快適な状態で過ごせるような環境を維持するため、業務委託による日常・定期清掃を基本とし、「管理運営の基準」に基づいた業務実施計画を作成し、労働安全衛生規則等を遵守して清潔かつ衛生的な環境維持に努めました。

イ　内容と方法

（ア）日常清掃

日常清掃の範囲は駐車場を含む敷地内全域とし、随時作業を行うものとします。各部屋等の日常的に使用される部屋の床清掃（掃き・水拭き）は全開館日実施しました。

（イ）定期・特別清掃

本館

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ・Ｐタイル部分）	１２回	フィルター清掃（１１４台）	２回
カーペット・ジュータン清掃	２回	吹き出し口清掃（１１４台）	１回
ガラス清掃	３回	アネモ清掃（２２基）	１回
ガラスサッシ清掃	１回	体育館フィルター（１台）	１回
厨房消毒	２回	側溝桝清掃	３回
害虫駆除作業	２回	溜桝清掃	２回
グリストラップ清掃	２回	厨房ｽﾃﾝﾚｽﾌｰﾄﾞ	２回

分館（はまのわ）

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ部分）	１２回	換気扇等フィルター清掃	２回
カーペット・ジュータン清掃	２回	空調フィルター清掃	２回
ガラス清掃	３回	害虫駆除作業	２回
ガラスサッシ清掃	１回	グリストラップ清掃	２回

ウ　清掃状況の確認方法

（ア）準備：業務実施計画書に基づき作業箇所を確認しました。
（イ）終了：履行結果について、作業従事者より作業報告書の提出を受けました。
（ウ）確認：履行状況を確認し、不備があれば再履行を依頼しました。

（５）植栽等の維持管理に関すること

ア　基本的な考え方

「管理運営の基準」に従い、植栽を適切に保護、育成、処理し良好な自然環境の維持等に努めました。

イ　内容と方法

（ア）樹木消毒

薬剤投与を年２回実施し、害虫駆除に努めました。

委託名	委託業者
樹木消毒業務委託	㈲プロスパー

（イ）樹木剪定

歩道沿いの樹木や近隣に面している樹木について、美観上もしくは歩行者等に迷惑が掛かる場合については、職員もしくは委託業者による剪定作業を実施するため、定期に確認をいたしました。

（ウ）雑草除去

園庭、築山周辺の雑草及び芝については、機械を用いて定期的に除去し、機械が使用できない場所や簡単な雑草除去については、日常清掃時に随時実施しました。

（６）駐車場の管理に関すること

ア　基本的な考え方

利用者及び地域住民の安全を確保し、近隣及び療育センター駐車場の不法駐車を防止するなど「管理運営の基準」に従い駐車場の管理をしました。

イ　内容と方法

（ア）通園バスの運行をしていない時間帯においては、運転員が誘導を行い、駐車スペースの確保及び事故防止に努めました。

（イ）健常者には、自家用車での来所をご遠慮していただくようお願いし、車椅子利用者等障害をお持ちの方を優先しました。

（ウ）駐車スペースに限りがあるため、第２駐車場の管理を含め必要な場合は、使用施設、氏名、車種、ナンバーを確認するなど必要な措置を講じました。

（エ）はまのわの駐車場については、Bringup ちば発達センターとの共用であることから連絡・連携をとりながら適切な利用が出来るよう管理を行いました。また、身障者用の駐車スペースに他施設の利用者を含めて健常者の駐車がないように案内し、身障者の方の利用に不便がないよう努めました。

（オ）館内掲示板を使用し、駐車場の使用案内や注意事項を喚起しました。

4　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること

利用者のご意見、ご要望等を把握し、業務に反映させるため、施設ごとに以下のアンケート調査を実施しました。

また、アンケート調査を集計し、分析や考察をした上でアンケート実施の翌々月までに千葉市へ報告するとともに、館内掲示やお便りにより利用者・保護者等に報告いたしました。

（1）すぎのこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
9月	令和2年度前期保護者アンケート(医療型児童発達支援センター)	16	16
9月	令和2年度前期保護者アンケート(児童発達支援事業)	69	68
9月	令和2年度前期保護者アンケート(児童発達支援事業・発達)	15	14
2月	令和2年度後期保護者アンケート(医療型児童発達支援センター)	15	15
2月	令和2年度後期保護者アンケート(児童発達支援事業)	73	72
2月	令和2年度後期保護者アンケート(児童発達支援事業・発達)	15	15

ア　前期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和２年度　**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表：令和２年９月２５日　　事業所名：医療型児童発達支援センター　千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　16人　回収数　16人　回収率　100%

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	10	6	0	0	0	0			100%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	7	9	0	0	0	0			100%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	8	7	1	0	0	0			94%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	7	8	1	0	0	0			94%

適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	6	10	0	0	0	0			100%
	6	個別支援計画には、子どもの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	5	11	0	0	0	0			100%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	5	11	0	0	0	0			100%
適切な支援の提供	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	6	9	1	0	0	0	・活動プログラムが同じ月の中でなるべく重ならないようにしてほしい。	・同じ曜日に重ならないように立てておりますが、引き続き工夫しながら行ってまいります。	94%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか	4	6	3	1	2	0			63%
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	9	7	0	0	0	0			100%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	10	5	0	0	0	1			100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（保護者勉強会等）が行われていますか	7	8	0	0	0	1			100%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	13	3	0	0	0	0			100%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	10	6	0	0	0	0			100%
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	6	9	1	0	0	0	・いろいろな事情がある中で、あまり来られないお母さんもいるので難しいと感じる時がある。役員の仕事が少々負担に思うこともある。	・お忙しい中、ご尽力いただきありがとうございます。保護者様同士の話し合いの中で、ご負担にならないよう支援して参ります。お困りのことがありましたら、いつでもご相談下さい。	94%

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	10	6	0	0	0	0			100%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	9	7	0	0	0	0			100%
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	7	8	0	1	0	0			94%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	10	6	0	0	0	0			100%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	6	6	2	1	0	1			80%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	7	7	1	0	0	1			93%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	10	6	0	0	0	0	・先生が本当に優しいとても助かっています。		100%
	23	事業所の支援に満足していますか	13	3	0	0	0	0			100%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和2年9月25日

事業所名：　医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

保護者等数（児童数）	16人	回収数	16人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
11人	5人	1人	0人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
5人	11人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
4人	11人	0人	0人	0人	0人	1人	100%

3．<4・5歳児の保護者様にお聞きします>　分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
5人	4人	0人	0人	0人	1人	6人	100%

4.個別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
5人	8人	0人	0人	0人	0人	3人	100%

5.個別支援計画は、保護者様の意向を取り入れて作成されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
5人	11人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

6．個別指導（PT・OT)はリハビリテーション計画に基づいて行われ、お子さんの状態が十分説明されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
8人	7人	0人	0人	0人	0人	1人	100%

《行事》

1.〈参加された方にお聞きします〉7月2日（木）:ビーバー号歯科検診は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
2人	3人	0人	0人	1人	0人	10人	83%

2.〈参加された方におききします〉7月4日（土）家族参観日は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	3	
3人	3人	0人	0人	0人	0人	10人	100%

3.〈参加された方にお聞きします〉7月16日（木）保護者勉強会は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
1人	2人	0人	0人	0人	0人	13人	100%

《その他》

1. 給食の内容は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
10人	2人	0人	0人	0人	0人	4人	100%

イ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和２年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和２年９月２５日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　69人　回収数　68人　回収率　99%

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	40	26	1	1	0	0	・椅子に座っての創作活動と食事の席が隣同士が近い ・去年のお部屋くらい広いと有難いです。 ・広いので伸び伸び学べます。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として間隔を開けるようにしておりますが、引き続き現在の机の配置よりも開けるようにして参ります。　・活動内容によっては、部屋を変えて行っていきます。	97%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	42	23	3	0	0	0	・適切な配置数を知らない　・先生によってお答えに差があった事がありました。 ・先生方が皆さんとってもしっかりしてらっしゃるので、親として安心して相談できます。 ・専門の先生は普段お会いする機会がないのでたまにお会いできると良いと思う。	・法令に定める職員の配置基準に従って運用しております。　・職員間でも連携を図っておりますが、ご不明な点がありましたら職員までお声がけ下さい、 ・専門職（PT・OT)がグループ参加できる機会を作っていきます。	96%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	38	28	2	0	0	0	・トイレの個室が少しせまいように感じられます。（要介助のため）　トイレ内に子供用の手洗い場がないのが残念です。	・ご不便をおかけしております。トイレの個室は設置場所の問題もあり、窮屈な思いをさせてしまい申し訳ありません。手洗い場につきましても、ご不便をおかけしております。	97%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	43	25	0	0	0	0	・いつも清潔で室内の温度もちょうど良いです。		100%

適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	43	24	1	0	0	0	・いつも丁寧に話を聞いていただき有り難いです。		99%
	6	個別支援計画には、子どもの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	42	24	2	0	0	0	・とても分かりやすく納得する計画書でした。		97%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	29	37	1	0	0	1			99%
	8	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されていますか	20	39	5	0	0	4	・おあつまりの活動の一部が少しマンネリ気味で興味が薄れている。（こんにちはアンパンマン等の登場人物）　・どうなると固定化というのか（月に何回？種類どれくらいか）分かりませんが、前回の活動と違うものを行ってもらっており、季節に応じた活動もありました。またスケールの大きな活動もあるので楽しいです。（家では、お絵かきも小さな画用紙なので）	・お集まりの活動にも、新しいものを取り入れるよう配慮して参ります。	92%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	11	26	20	1	2	8	・今現在連携を図っていない ・保育所に通所しているので特に必要ありません。 ・幼稚園入園後に連携を取っていただけると聞きました。 ・先生の方から「ご希望があれば、、、」と説明していただきました。	・関係機関との連携をご希望される方は、職員までお声がけ下さい。	62%
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	36	32	0	0	0	0	・とても丁寧にお話しして下さります。		100%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	39	29	0	0	0	0	・とても丁寧にお話しして下さります。		100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	29	35	2	0	0	2	・まだ参加したことがありません。 ・今後参加する予定です。 ・コロナで中止になったりしているので。		97%

保護者への説明等	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	33	27	6	0	0	2	・前期・後期ではなくできれば学期ごとの通知表のように現在の発達の状況、課題を教えて頂けるとありがたいです。（自分で過大過少評価してしまうため） ・親身になって聞いて下さります。 ・日常のことでも相談しやすい環境ができているので共通理解に繋がっていると思います。	・何か気になることがありましたら、前期、後期問わずいつでも職員にお声がけいただければと思います。　お子さんの状況や課題等についてもお話させていただきます。	91%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	30	32	3	1	0	2	・親身になって聞いて下さります。　・定期的ではないのですが、活動の前などに先生に相談できる機会があるので、時々相談させてもらっています。 ・突然の電話相談にも快く応じて下さって本当に救われます。		94%
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	13	23	20	5	2	5	・お話会などで少ししかお話出来ないのでもう少しゆっくり保護者同士話せたらなと思う。　・保護者が自ら連絡先を交換して連携できる状態ではあるがすぎのこを通して支援はされていない。	・今後保護者様同士がお話できる機会を、検討して参ります。	57%
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	21	38	5	0	0	4			92%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	21	40	5	0	0	2			92%
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	16	35	11	2	0	4	・メール等もっと使いやすい体制（休み連絡や日程案内等）にして頂けると嬉しい。 ・改めてメールの配信が始まって嬉しいです。	・メール登録のご協力ありがとうございました。メールシステムがすぎのこルームからの保護者様に一斉配信するシステムとなっておりますので、ご了承ください。	80%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	30	34	1	0	0	3			98%

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	16	26	11	1	1	13	・療育教室内での感染が未だ確認されず先生方、職員の皆様方に感謝しています。 ・されていることもあれば、されていないこともあるかと思います。	・今後、緊急時対応マニュアル等についても、保護者様に確認して頂けるように掲示いたします。	76%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	11	18	19	2	5	13	・やった事がない。 ・時間が合わないので訓練には参加したことがありません。 ・訓練を受けたことはない。	・すぎのこルーム（医療型）では月1回、避難訓練を実施しています。療育センター全体の避難訓練は年3回実施しています。すぎのこルーム（児童発達支援事業）では、年長グループが実施しています。	53%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	39	24	3	0	1	1	・本当に！とても！楽しみにしています。		94%
	23	事業所の支援に満足していますか	42	24	0	0	0	2			100%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和2年9月25日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）	69人	回収数	68人	回収率	99%

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
47人	3人	4人	9人	5人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
28人	35人	2人	0人	0人	3人		97%

2．<年長（5歳児）の方に伺います>分離時の内容（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
10人	6人	1人	0人	0人	1人	50人	94%

3．＜B,D,Eグループを利用されている方に伺います＞
給食の内容は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
11人	7人	0人	0人	0人	1人	49人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	バス、電車も利用。
2	バス、自転車も利用。
3	行きは車で帰りがバスと電車。
4	送迎してくれる家族がいないときは電車と徒歩です。

《療育関係に関するご意見》

1	お友達との関わり（コミュニケーション）の練習プログラムがあるとよいです。
2	月齢が小さい頃には反応を示さなかったお歌もとても興味を持っているようで、家で口ずさんでいるのを見ると嬉しくなります。
3	親子遊びが本人てきにやだ
4	お返事が出来るようになったのは、間違いなく すぎのこさん のおかげです！

≪給食に関するご意見≫

1	自宅で食べる食事よりもバランスがよいので、安心して食べさせられますし、普段の食事の参考にさせていただいてます。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	分離の時間がもう少しあったら、、、と思いました。
2	もっと母子分離の時間を増やして欲しい（その様子を見てみたい）。課外活動等あると嬉しい。（公園や交通ルール等）
3	給食の時間が少しなくなったりする時もあり、急がせて食べさせるのが少しイヤです、、、。帰りの時間も遅くなったり、全体的にせかせかしている感じで少し困っています。
4	コロナの時も利用出来たのがとてもありがたかったです。年長となる来年、月２より少し増えてほしいなあという思いがあります。
5	いつも大変お世話になりありがとうございます。就学前で、色々心配や不安な事が多いので今後も定期的にお話会も開催頂くと有難いです。よろしくお願いします。
6	現在は、定員MAXではないので、職員の方の配置数等は、よく見ていただいている印象です。人数が増えた場合、配置数が適切かは不明です。先生方は、よく相談にのって下さりありがたいです。月によっては、1回の時もあるので物足りなさを感じることはありました。毎月2回必ずあるとか、1時間の活動だけど毎週あるなど、間を空かずに通えるといいなと思いました。

7	子どもと自分の位置を把握できない。障害児をかかえてはたらく自分作り方がつかめなかった。もう少し、アドバイスしてくれるとありがたい。カミングアウトの問題や一見障害がみえづらい子の障害についての障害理解、障害の勉強を深められたらいいと思うが、、、色々と難しいな、、、とも思う。（保護者もスッと話がはいる時とはいらないタイミングがあり、そこをみてほしいとも思うが難しいと思う）障害児をかかえて働くうえで、子の障害を把握したうえで自分の職場のたちふるまいを検討したかった。
8	いつも笑顔でお声掛け下さりありがとうございます。先生方がいらっしゃるからこそ、毎日やっていけていると思います。息子だけでなく、私も通学するのがとても楽しみです。まだまだ残暑が続きますので、どうぞお体大切にお過ごし下さい。食事の時、子どもたちは仕方がないかなと思うのですが、親の時についたて等のコロナ対策があると嬉しいです。
9	子どもの苦手なことも客観的に判断をしてくださった上で的確に支援してくださるのでいつも感謝しております。今後ともよろしくお願いします。
10	いつも本当にありがとうございます！　親子で楽しく通わせていただいています。成長はゆっくりですが、少しずつ集団にも馴染んできたように思います。今後も目標を持って子どもと頑張っていきたいと思います。
11	まだ通わせていただき数回ですが、子どもも通うのを毎回楽しみにしています。先生方が親身になって、話を聞いて下さるので親としても大変心強いです。子どもの数に対して、先生もたくさん見て下さるので、目が行き届いていて安心です。良いときは褒めて下さり、悪いときはしっかり注意して下さるのでメリハリがありいいと思います。これからもご指導よろしくお願いします。
12	日々成長している娘は、療育の指導があってこそだと思っています。色々子どものキャパが広がっていけばと思っています！
13	いつも親身になってくださり、親子共々助かっています。残り少ない通園ですが、楽しい時間を過ごしたいです。
14	子どものことについて、すぐに相談が出来、すぐに役立つ助言をいただけることに、とても有り難さを感じています。先生も頼もしいです。母子の活動の様子を、専門の先生が週1で見てくださっているなんて、とても贅沢な事だなあ・・・と思っています。給食も毎回とても美味しいです。どのおかず（何色のおかず）でも美味しいので、子どもの野菜克服のきっかけになったと思います。
15	集団の中での我が子を見て、何が問題か直視でき、先生方と問題を共有出来心強いです。
16	いつも子どもたちに優しく接していただき、ありがとうございます。子どもも来所を楽しみにしています。
17	長くお世話になっておりますが、活動プログラムを工夫して変化していただき色々なことを経験させていただいて有り難く思っています。内容によっては子どものやりたくないような事もありますが、それも含めて勉強できていると思います。
18	身支度や、イスに座ることなど、自分でできることや我慢することなど様々なことが身についてきて嬉しいです。

《通園方法に関するご意見》

1	バス、電車も利用。
2	バス、自転車も利用。
3	行きは車で帰りがバスと電車。
4	送迎してくれる家族がいないときは電車と徒歩です。

《療育関係に関するご意見》

1	お友達との関わり（コミュニケーション）の練習プログラムがあるとよいです。
2	月齢が小さい頃には反応を示さなかったお歌もとても興味を持っているようで、家で口ずさんでいるのを見ると嬉しくなります。
3	親子遊びが本人てきにやだ
4	お返事が出来るようになったのは、間違いなく すぎのこさん のおかげです！

≪給食に関するご意見≫

1	自宅で食べる食事よりもバランスがよいので、安心して食べさせられますし、普段の食事の参考にさせていただいてます。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	分離の時間がもう少しあったら、、、と思いました。
2	もっと母子分離の時間を増やして欲しい（その様子を見てみたい）。課外活動等あると嬉しい。（公園や交通ルール等）
3	給食の時間が少しなくなったりする時もあり、急がせて食べさせるのが少しイヤです、、、。帰りの時間も遅くなったり、全体的にせかせかしている感じで少し困っています。
4	コロナの時も利用出来たのがとてもありがたかったです。年長となる来年、月２より少し増えてほしいなあという思いがあります。
5	いつも大変お世話になりありがとうございます。就学前で、色々心配や不安な事が多いので今後も定期的にお話会も開催頂くと有難いです。よろしくお願いします。
6	現在は、定員MAXではないので、職員の方の配置数等は、よく見ていただいている印象です。人数が増えた場合、配置数が適切かは不明です。先生方は、よく相談にのって下さりありがたいです。月によっては、1回の時もあるので物足りなさを感じることはありました。毎月2回必ずあるとか、1時間の活動だけど毎週あるなど、間を空かずに通えるといいなと思いました。

ウ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和２年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和２年９月２５日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　15人　回収数　14人　回収率　93%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	10	4	0	0	0	1	・活動人数に対して、ちょうど良い広さだと思います。広すぎると走り回って集中しなくなりそうです。		100%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	10	4	0	0	0	0	・皆さんの分野で、いろいろなアドバイスをもらえてありがたいです。		100%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	10	4	0	0	0	0			100%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	9	5	0	0	0	0	・ローテーブルじゃなくて、イスに座ってプリントを行う方が良いかな…	・新型コロナウイルス感染症予防対策から、テーブルと椅子を用意しております。お子さんに好きな方を選んで、利用して頂いていますので、事前にお声がけをお願い致します。	100%
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	9	5	0	0	0	0	・昔から課題は変わらないと思いますが、少しづつ改善されて大きかった課題点が小さい課題になってきたような気がしています。		100%
	6	個別支援計画には、子どもの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	9	5	0	0	0	0	・普段からアドバイスをもらっていますが、その通りの内容を書いていただいていると思います。		100%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	7	7	0	0	0	0			100%
	8	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されていますか	10	4	0	0	0	0	・色々なことをやらせてもらっています。		100%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者様のご希望があれば連携を図っていますか	5	8	1	0	0	0	・保育園生活も見ていただきました。 ・課外活動？があったら楽しそう。	・今後、社会体験の幅が広がるように課外活動にも取り組んで参ります。	93%

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	10	4	0	0	0	0			100%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	11	3	0	0	0	0			100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	11	3	0	0	0	0			100%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	9	5	0	0	0	0			100%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	10	2	2	0	0	0			86%
	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	3	7	4	0	0	0			71%
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	8	6	0	0	0	0			100%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	10	4	0	0	0	0	・通い始めたばかりで、わからない。		100%
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケート結果等は発信されていると思いますか	7	6	0	1	0	0			93%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	11	2	0	0	0	1			100%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	4	7	3	0	0	0			79%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	3	5	3	1	0	2	・訓練がどの程度行われているのか、あまり知らない。	・すぎのこルームでは、毎月1回避難訓練を実施しています。療育センター合同の避難訓練は年3回実施しております。グループでの避難訓練は行っていませんので、後期1度実施していきたいと思います。	67%

満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	10	4	0	0	0	0	・大喜びで行きたがる。 ・毎回とても工夫されていて、いつも本当に楽しみにしています。		100%
	23	事業所の支援に満足していますか	9	5	0	0	0	0			100%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和2年　9　月　25　日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

保護者等数（児童数）	15人	回収数	14人	回収率	93%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
10人		2人	2人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
9人	5人	0人	0人	0人	0人		100%

2．理学療法士のお話会の内容は、満足されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
8人	4人	0人	1人	0人	0人	1人	92%

3．〈年長（5歳児）の方に伺います〉分離時の内容（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
8人	1人	0人	0人	0人	0人	5人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	バス、電車も利用。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	まだ年中ですが、就学を考えて個人一人ずつ、座ってぬり絵をしたり、字を書いてみたり、落ち着いて物事に取り組める時間が増えるといいなあと思いました。
2	子どももいつも楽しみにしていて、それだけでなく保護者へのフォローもして下さっているので安心して通えています。いつもありがとうございます。
3	1年通って、先生との信頼関係も出来て、本人にとって居心地の良い場所になっているようです。先生方の言葉の使い方、指示の出し方がとても参考になります。苦手分野（運動など）はありますが、集団行動のトレーニングを今後も本人に頑張ってほしいと思っています。
4	通所は本人はとても楽しく行けています。保護者の勉強会でも色々と小学校の事などを聞けるので良かったと思っています。（体の動かし方の話など）年長になってからは本人も幼稚園で色々とがんばってやれているようです。
5	分離時のお話（就学について、理学療法士の先生）は、とても勉強になり就学については大変助かりました。ありがとうございました。

＜各ご意見に対する保護者等への回答＞

1	就学に向けて、ぬり絵や字を書くなど落ち着いて取り組める時間を増やしていきたいと思います。

エ　後期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和２年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年２月１９日

事業所名：医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　15人　回収数　15人　回収率　100%

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	8	7	0	0	0	0			100%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	5	9	0	1	0	0			93%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	6	9	0	0	0	0			100%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	6	9	0	0	0	0			100%
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	8	7	0	0	0	0			100%
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	7	8	0	0	0	0			100%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	6	9	0	0	0	0			100%
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	6	8	0	0	0	1			100%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか	1	6	0	0	2	5			78%

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	8	7	0	0	0	0			100%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	7	8	0	0	0	0			100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（保護者勉強会等）が行われていますか	6	7	1	0	0	1			93%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	7	8	0	0	0	0	課題について、母が伝えそびれているものがあるかも知れません。もう少し分かりやすく伝えられる方法を考えていきたいです。	気軽にご相談いただければと思います。	100%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	7	8	0	0	0	0			100%
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	2	12	1	0	0	0			93%
保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	7	6	1	0	0	1			93%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	7	6	1	0	0	1			93%
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	6	7	1	0	0	1			93%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	7	8	0	0	0	0			100%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	7	6	1	0	0	1			93%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	7	7	1	0	0	0			93%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	9	6	0	0	0	0			100%
	23	事業所の支援に満足していますか	10	5	0	0	0	0			100%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和3年2月19日

事業所名：　医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）	15人	回収数	15人	回収率	100%

「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
10人	5人	0人	0人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
8人	7人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
5人	9人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

3．<4・5歳児の保護者様にお聞きします>　分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
5人	0人	0人	0人	0人	1人	9人	100%

4.個別保育は今後も実施してほしいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
6人	6人	1人	0人	0人	1人	1人	92%

5.個別指導（PT・OT）の中で、お子さんの状態が十分に説明されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
7人	7人	1人	0人	0人	0人	0人	93%

《行事》

1．イベント（運動会、クリスマス会、お楽しみ会）は今後も実施した方がよいですか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
9人	6人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

2．芋掘り遠足は今後も実施した方がよいですか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
6人	7人	0人	0人	0人	1人	1人	100%

《保護者勉強会》

1．下記の勉強会を実施しましたが、今後も実施した方がよいですか（保護者OBの話、摂食指導の勉強会、言語聴覚士の勉強会）

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	3	
8人	6人	0人	0人	0人	0人	1人	100%

《その他》

1．給食の内容は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	
9人	3人	1人	0人	0人	0人	2人	92%

オ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和２年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年２月１９日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　73人　回収数　72人　回収率　99%

「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	47	25	0	0	0	0	・走りまわったりできる広さなので、とても良いと思います。 ・普段広いスペースで体を動かす機会が少ないので助かってます。 ・ゲームや大縄とびをする時などは、もう少し広いスペースがあった方が良いと思う。	・5歳児の部屋に関しては、活動内容によって部屋を検討していきます。	100%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	47	23	2	0	0	0	・先生がほぼマンツーマンでついて頂けるので助かっています。 ・時々、先生1人どこ行ったのかな？と思う。新しい先生が、関わりに不安気？に感じる。	・当日のグループの人数や様子によって、職員の人数を調整させて頂いております。	97%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	40	31	1	0	0	0	・お部屋とトイレしか使用はしませんが、トイレや手を洗う場所は本人も憶えています。 ・コロナ対策も大変でしょうにいつもありがとうございます！		99%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	46	26	0	0	0	0	・いつもとてもキレイです！		100%
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	43	25	3	0	0	1	・幼稚園で言われた課題も取り入れて作成して頂いています。		96%
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	39	26	2	0	1	4	・具体的にはわかりませんが、家ではできないような事にチャレンジできたり、こんなことができて、こんなことができないんだと新しく発見できます。 ・活動時間の中で「簡単すぎてやりたくないよ」と言って、拒否する内容がいくつかあった。実際にその内容は２つ下の年のクラスで行っている内容だった。	・同じ療育プログラムの中でも、提示の仕方やルールなど、月齢によって、変えておりますが、ご不明な点はその都度お声がけ下さい。	96%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	33	34	4	0	0	1	・毎回違う内容になっていて本人にとても良い経験になっています。 ・あまり個別支援計画に沿っている内容とは感じなかった。	・個別支援計画の内容について、ご不明な点がありましたら、遠慮なくお声がけ下さい。	94%

適切な支援の提供	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	35	27	9	1	0	0	・工夫して頂いていると思います。 ・個々の特性や課題にそっているのかわかりません。 ・もう少し、プログラムに変化があるとよいと思います。 ・子供達一人一人の特性を本当によく見て下さっていてありがたいです。	・プログラムの内容については、新しいものを取り入れて参ります。	86%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか（新型コロナウィルス感染症予防の為、実施できていません）	10	6	7	6	9	34	・コロナじゃない場合(通常運転の場合)の交流や活動はどんなことをしているのか、写真等で知ることができればいいなぁと思います。 ・保育所に通っておりますので希望しません。	・コロナ禍が落ち着きましたら、保育所や認定子ども園等との交流等も検討していきたいと思います。写真等につきましては、個人情報のこともありますのでご了承ください。	42%
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	41	30	1	0	0	0	・支援の内容は先生から説明受けたと思います。利用料は毎月￥0なので特に説明はありません。		99%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	47	23	0	0	0	2	・先生から直接お話しして下さいました。		100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お子さんの支援や関わり方等）が行われていますか	32	24	12	2	0	2	・ことばの遅れがある子供をもつ親向けのお話し会など、声をかけて頂きありがとうございました。 ・先生からちょこちょこアドバイスいただいています。		80%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	33	29	7	2	1	0	・先生が声かけて下さるので色々お話できています。 ・幼稚園での様子などもよく聞いて下さりありがとうございます。		86%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	27	33	8	2	1	1	・定期的ではないのですが、教室にお伺いした時に色々相談させて頂いてます。 ・面談まではいきませんが、おあつまり前に色々相談したりできています。 ・個別の相談は設定されていませんが、活動のはじまりの遊びの時に先生方と話せる時間があったり、活動中も相談できます。		85%
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	14	15	28	6	3	6	・療育外の交流は特にありませんが、療育中はみんなで和気合々とすごしています。 ・コロナの影響で仕方ない部分もあると思います。 ・積極的な支援はないですが、母子一緒の活動のため、他の保護者とお話しできる機会があります。		44%

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	34	28	8	0	0	2			89%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	30	25	10	1	1	5			82%
	18	定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制（連絡網やメールシステム）等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者等に対して発信されていると思いますか	16	28	13	4	1	10	・メールの登録はさせていただいたと思いますが、やり取りは全くなく、何に利用できるものなのか記憶がないです。紙でのお便りもないですし、メールで活動の内容や今日の歌、育児のポイントなど情報提供があればと思います。評価の結果もHPにもありますが、メールに添付して頂けたらすぐにチェックできるしいいのかなと。 ・お便りやホームページを見ていませんでした…	・すぎのこルームのメールにつきましては、以前お配りした「メールアドレス登録について」のお便りに載っている内容のものを配信するシステムです。活動内容や育児等につきましては、直接お伝えしていきたいと思います。ご不便をおかけしますが、よろし	71%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	42	24	1	0	0	5			99%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	21	20	12	2	1	16	・集団感染が出ていないのが本当に素晴らしいと思います。		73%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	12	10	16	3	5	26	・訓練があることは聞いていましたが、いつどんな風に行われているのかわかりません。	・療育センター全体の避難訓練は年3回実施しています。児童発達支援事業では、年長グループが実施しています。	48%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	47	17	8	0	0	0	・行きたがる日と少し嫌がる様な日があります。 ・最近は「今日は療育だよ」というと「イエイ」と言っています。 ・通所は嫌がりませんが、活動中に泣いてしまう事が増えました。 ・親子共に本当に楽しみにさせていただいてます♡	・お子さんが泣いている時には、職員も一緒に対応させていただきます。	89%
	23	事業所の支援に満足していますか	48	21	2	1	0	0	・色々な事を経験できてうれしいです(勉強になっていると思います)。 ・突然あばれだしたりするので体力は使いますが、私自身も楽しく通っています。本人も楽しんでいると思います。 ・本人の特性にあっているのか、なやんでいます。 ・楽しんではいるのですが、成長は感じられなかった。	・気になっていること等、ありましたら遠慮なくお声がけ下さい。	96%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和3年2月19日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）	73人	回収数	72人	回収率	99%

「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
51人		5人	15人	1人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
35人	30人	4人	0人	0人	3人		94%

2．言語聴覚士のお話会は今後も実施して欲しいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
19人	16人	1人	0人	0人	3人	33人	97%

3．イベント（お祭り、運動会ごっこ、クリスマス会）は、今後も開催して欲しいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
39人	22人	2人	0人	0人	2人	7人	97%

＜B、D、Eグループを利用されている方に伺います＞

4．給食の内容は、ご満足いただけましたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
16人	6人	0人	0人	0人	0人	50人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	通常は自転車。雨が降ったら電車、バス、徒歩。父がいる時は自家用車。
2	大体は自転車か車です。
3	たまに電車＆徒歩

《療育関係に関するご意見》

（療育プログラム）

4	手遊びをするようになってきました。
5	体操のプログラムがもっとあればと思います。
6	課題遊びは簡単すぎて逆に集中できていなかったように思います。
7	もう少し、親と離れた時間がほしかったです。
8	正直子供があまり好きではない課題もありますが、そういう事も含め色々な事が経験できるのでいいと思います。

（お話し会）

9	言語ついてはまだまだわからない事がたくさんあるのでお話をきいてみたいとは思います。
10	お話会については、事前に資料を頂けると、そのことについて、日常をふり返って考えられるので、事前に知れるとありがたいです。
11	参考にさせていただけるお話(同じ悩みを持つ方の意見を含め)を聞けて勉強になります。
12	参加できず。機会があれば参加したい。
13	とても参考になったのでまた実施して頂きたいです。

（イベント）

14	季節の行事は子どもも喜ぶので少しずつやって頂けたらなと思います。
15	イレギュラーなことも刺激があっていいと思いますし、季節ごとの行事の認知にもなり、呆然とイベント」が終わっていくのではなく、このイベントはこんなことが待っている♪と楽しみ、他の場でも参加しやすくなったので。
16	とても喜んでいました。

（給食の内容）

17	味付や量など、他のお子さんがどの位食べているかみられて参考になります。
18	家庭とは違った味付や不足したり偏ったりしがちなところ とても参考になります。
19	とても参考になる。

《その他に関するご意見》

保護者等からのご意見・ご要望

20	とても楽しく通所できてると思います。
21	先生やお友達と少しずつ関われるようになり、少し安心しました。 工作は家ではあまりやらないのでとても助かっています。本人も楽しく取り組んでいます。まだできない事も多いですが、少しずつ成長していければと思います。これからもよろしくお願いします。
22	切羽詰まった時に相談する場所ではなく(普段からさらっと連絡するには、どこにしても気をつかってしまう為)、定期的に相談できる相談会や普段から自閉症育児についての疲れやグチを言いあえる会などがあれば一人でもんもんと煮詰まることがなくなると思いました。
23	敏感な子でもいけるお店やサービスを、地域のリアルな声として、情報交換できる場所、時間、もしくはチャットやメール、伝言板等のツールがあればと思います。

24	切り替えが出来ず、パニックをおこした時や、親の声が通らなくなった時など、育児のしにくさを講演会で学びたいです。他にも、発達が遅い子の性への教育、社会に出たときの困りごとへの対処法、社会人になるまでの進路のいろいろを講演会で、学べたらと思います。
25	親子で楽しく通わせていただいています。〇〇(子どもの名前)も、お友達や先生方との交流を通じて、コミュニケーションや色々な活動をしながら、できることが増えてきました。幼稚園に入園するまでの予定ではありますが引き続きよろしくお願い致します。
26	現在の取り組みが本人の特性にあっているのか悩んでいます。
27	母子手帳の「育児について相談できる人がいますか」が いいえ だったのが、 はい になってます。いつもありがとうございます。私にとってかけがえのない場所です。
28	だいぶ自分のいしがことばでつたえる事もでてきたりしています。トイレにいってきますとか言えたりしています。
29	季節のものを取り入れたり、毎回変化をつけながらも子どもたちの喜びそうなプログラムを組んでくださり、子どもも楽しみにしています。また少人数ながらも、お友達たちとの集団生活を学ぶのにとても助かっています。
30	母子一緒の通所で、親も対応を学ぶことが出来、子どもの成長の為になっていると思います。先生にいつでも相談出来、いつも適切なご助言を頂ける環境が有難く、感謝しています。
31	いつもこどもにやさしく接していただきありがとうございます。本人も楽しく通所しています。
32	いつも お話聞いてくださって ありがとうございます。
33	とっても とっても とっても 満足しております。いつもありがとうございます。おと1年、よろしくお願いいたします。気持ちは、まだまだずっと通いたいぐらいです…
34	毎回 すぎのこルームにくるのを楽しみにしています。今後ともよろしくお願い致します。
35	子供は毎回楽しく通所していて、大変ありがたく思っています。あと一年 小学校までの時間を大切にして、子供と一緒に取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。
36	親が対応しなければいけないシーンがかなりあるように感じる。子どものテンションがあがり、活動に上手に参加できない際、親だけが、あわて不安になり子に接っしている様を見るのは、正直つらい。
37	毎回すぎのこさんへ通う事を親子で楽しみにしています！！来年度から、週1希望です。息子の不安や苦手意識を親子で共感し、小学校へ向けて自信をつけて行けたらと思っています。
38	お世話になりまして誠にありがとうございました。残り少ないですが最後までよろしくお願いします。
39	今後 就学したあとの親同士の相談や交流の時間がもてたらいいなぁ。
40	今困っている事がある場合、相談すると色々なアドバイスを頂けて、対応の仕方など参考にさせて頂いています。毎週 通えて本人もたくさん自信をつける事が出来ました。
41	季節ごとのイベントが毎回楽しく実施されていて、子供はとても楽しんでいます。 ・就学に向けて座って話をしっかり聞く事の指導や名前、字を書く事に取り組んだりしていて良いと思います。
42	コロナウィルスの影響でカリキュラムを組むのも難しかったと思いますが、毎回、様々な課題を取り組ませていただき感謝しています。
43	同じ年齢のお子さんと接する機会がないので、娘は楽しみにしています。サンタさんが持って来てくれたプレゼントは今でも家に飾っています。豆を入れる鬼のバッグを制作で作った時もとても気に入っていました。先生は話をよく覚えてくださっていて相談しやすい雰囲気です。もう少し通える回数が増えるか、1回に時間が長くなると嬉しく思います。いつもありがとうございます。
44	いつもありがとうございます！！先生方の接し方を、子育ての参考にさせていただいています！今年は小学校選び等、親子で色々と考えないといけない場面も増える為、様々なご相談をさせていただくと思います。宜しくお願いします。

45	いつも細やかなご対応と、ご配慮ありがとうございます。先生方も知識が豊富で、親身になっていろいろと聞いて下さるので安心して通う事ができました。子どもも、毎回楽しみに通っています。
46	いつもご迷惑お掛けし 申し訳ございません。とても楽しく通わせて頂いております。
47	家庭の事情で毎回参加できずに今年1年はすぎてしまいました。来年度は、もう少しきちんと参加できるようにしたいと思っております。
48	活動前に先生方とお話する時間があり、相談など助かる事が多くあります。
49	その都度悩みを相談させて頂きアドバイスをもられるので、とても助かります。なかなか活動に参加しない事も多いですが、徐々にやりたくない事も参加できるようになったらいいなと思います。
50	なかなか参加できないですが、いつも色々とお話を聞いてくださり、とても感謝しています。先生方がとても良いです。
51	集団のプログラムですが、個々に合わせた声掛けをして頂いているのがよくわかり 先生達の対応は参考になります。良い点（良い行動）や好ましくない行動など、その時々の行動について子供達に伝えてくれているため楽しく学ぶ事ができています。良い事、悪い事をしっかりと伝えてくれる事は親として参考になるとともに感謝しています。
52	親子共に、すぎのこに来る日を楽しみにしています。これからもよろしくお願いします！！
53	楽しく通っています。4月から年長で週1を希望していたので嬉しいです。
54	親子共々とてもよくしてもらっています。
55	今年度はコロナの影響があり なかなか通所の継続が難しい事が多く先生方にもご迷惑をお掛けすることとなってしまいましたが いつも色々な相談を聞いて下さりありがたく思っています。感謝致します。子ども達も毎回通所を楽しみにしており沢山の活動を通して様々な経験をして大きく成長できたと思います。一年間ありがとうございました。

＜各ご意見に対する保護者等への回答＞

5.6	療育プログラムの内容につきましては、繰り返し行う活動（体操等）は、お子さんの積み重ねを大切にしています。お子さんが見通しを持ち、自主的に参加が出来ることを目的としています。課題遊び等の療育プログラムの内容につきましては、お子さんの成長に繋がる新たなものを検討していきます。
7	年長児グループでは、保護者の方とお子さんが分離する活動の日も考えています。
10	言語聴覚士のお話会につきましては、他の施設からの協力派遣になりますので、事前にお渡しが出来るように検討させて頂きます。
22 23 24	お子さんの対応の仕方や育児等の相談につきましては、別日に個別相談を行います。いつでも、気軽にお声がけ下さい。講演会の案内が来ましたら、情報提供して参ります。また次年度の保護者勉強会などでも内容等について検討していきます。
26	何か困りごとや不安な思いがありましたら、遠慮せずにご相談下さい。
36	親子通園の為、保護者様にも活動に参加して頂いておりますが、必要に応じて個別対応して参ります。
43	令和3年度から、保護者様の要望にお応えし、療育回数を月2回から週1回に増やしました。今後とも、保護者様との連携を大切にし、一人一人のお子さんと向き合って行きたいと思います。ぜひご参加下さい。

カ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和２年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年２月１９日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　15人　回収数　15人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	10	4	1	0	0	0			93%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	12	3	0	0	0	0			100%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	12	3	0	0	0	0			100%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	9	6	0	0	0	0			100%
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	12	3	0	0	0	0			100%
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	11	4	0	0	0	0			100%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	9	6	0	0	0	0			100%
	8	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されていますか	9	6	0	0	0	0	直近2年程の利用ですが、本人の好みの遊び（双六など）がプログラムに組み込まれており、とても考えられていると思いました。		100%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか（新型コロナウイルス感染症予防の為、実施出来ていません）	2	3	4	0	1	5			50%

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	7	8	0	0	0	0			100%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	10	5	0	0	0	0			100%
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	7	6	1	0	0	1			93%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	6	9	0	0	0	0			100%
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	6	8	1	0	0	0			93%
	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	3	4	7	1	0	0			47%
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	5	9	0	0	0	1			100%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	6	6	3	0	0	0			80%
	18	定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制（連絡網やメールシステム）等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者等が発信されていると思いますか	3	4	6	0	0	2			54%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	6	8	1	0	0	0	書類が他の方の目に触れる扱いがされていることがあった。	ご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。今後、十分気を付けて参ります。	93%

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	5	8	1	0	0	1			93%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	3	12	0	0	0	0			100%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	8	7	0	0	0	0	すごく楽しみにしています。		100%
	23	事業所の支援に満足していますか	10	5	0	0	0	0			100%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和3年　2月　19日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合

保護者等数（児童数）	15人	回収数	15人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
11人	0人	1人	3人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
12人	3人	0人	0人	0人	0人		100%

2．専門職のお話会（PT・OT・就学について）は今後も開催して欲しいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
11人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

3．園外療育（年長児は年賀状をポストに入れる、年中児はスタンプラリー）は今後も実施して欲しいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
12人	2人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

4．運動遊び（ボール、揺れ遊び、鉄棒等）は今後も実施して欲しいですか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	
14人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	バス、電車も利用。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	週1等、回数を増やして頂けると嬉しいです！（子供が毎回楽しみにしているので）
2	限られた時間、日数の中で工夫のあるプログラムが毎回あり、またクラスにあったプログラム（レッスン？）を提供して下さり感謝しております。
3	就学に向けて、さまざまな勉強会を行って頂き勉強になりました。細かい情報を提供して頂き、大変ありがたく思います。
4	通えてよかったです。いつもありがとうございます。

＜各ご意見に対する保護者等への回答＞

1	ご意見ありがとうございます。現在、基本的にどのグループも月2回で行っています。設定できるグループ数と希望する方の人数から現状の方法で実施しております。今後の課題でもありますが、ご理解の程、宜しくお願いいたします。

（２）やまびこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
9月	令和2年度前期やまびこルームアンケート	63	63
2月	令和2年度前期やまびこルームアンケート	75	68

令和２年度　やまびこルーム　前期アンケート

令和２年度　**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表：令和2年10月28日　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）63　回収数 63　回収率 100%

事業所評価表

		チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら ども いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・無回答を除く）に対する割合
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	32	31	0	0	0	0	0	・広いので使うおもちゃが沢山出ているので集中できない時がある。（全てに興味を持つ子なので…） ・部屋が広くていいです。	指導室の数には限りがあるので、ご要望に沿えない場合もありますが、部屋の広さ、おもちゃの量など、お子さんの様子に合わせて配慮してまいります。	100%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	31	28	3	0	0	1	0			95%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	27	31	4	0	0	1	0	車いすトイレにベッドがあるとおむつ交換がしやすいです。	車いすトイレのベッドについては、療育センター全体で検討します。	94%

環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	26	33	3	0	1	0	0	・コロナ初めのころは消毒も気づかっていたが今はそうでもないなと思う。 ・トイレの蛇口が遠く子供が洗いにくい。ウォーターガイドなどをつけてほしい。 ・多目的トイレ、子供が扉を開けないように上の方にも鍵が欲しい。	・消毒については、毎回指導後に、机、イス、ドアノブ、使用したおもちゃ等について、時間をかけて行っております。気になることがありましたら、お声をおかけ下さい。 ・子供用トイレの蛇口については、ご不便をおかけしております。お子様用の足台を準備しておりますので、ご利用ください。 ・ウオーターガイド、多目的トイレの上方の鍵については、療育センター全体で検討いたします。	94%
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	43	17	1	0	0	1	1	細かく見てくれていて感謝の気持ちでいっぱいです☺		98%
適切な支援の提供	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	40	19	1	0	0	1	2			98%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	37	22	0	1	0	1	2			98%
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	32	27	2	0	0	0	2	「今日やること」や「工作の工程」など毎回絵に書いて示して頂いたことが、「次はこれをやる」という理解にもなり、子どもはとても分かりやすかったようです。		97%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	19	21	11	1	0	9	2	・まだお願いをしたことがないです。 ・入ったばかりのためまだ分かりません。		77%

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	37	21	3	0	0	1	1			95%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	38	20	2	0	0	1	2			97%
	12	保護者等に対して勉強会などの家族支援が行われていますか	41	20	1	0	0	0	1			98%
保護者への説明等	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	38	21	1	1	1	0	1	・自分の子供の成長は感じているが、健常児の4才と比べてどのくらいの状況なのかは知らない。 ・できているとは思うが、コロナの影響もあったり、保護者同士の懇談会に参加せずに帰ることも多くなったため共通理解ができていないかもしれない。	・1年に1回程度、言語検査を行っています。その結果を保護者の方にお伝えする時間を十分にとるようにいたします。 ・グループ活動後の保護者懇談でお話した内容やお子様にとっての課題などについて、確認したいことがあれば、個別指導の時にお声をかけていただければと思います。	95%
	14	定期的に、保護者等に対して面談※４や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	36	22	3	1	0	0	1	昨年度では90分あったと思うが、現在は60分に短縮したということもあり、先生との面談の時間が少なくて、じっくり話せないことが多い。	保護者の方との面談の時間が十分にとれるよう配慮いたします。いつでもお声をおかけください。	94%
	15	親の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	25	23	11	0	0	3	1	コロナの影響で今年度はあまりないのかなと感じる。（仕方のないことですが）	・密を避けるため、1部屋の人数を制限させていただいております。そのため、親の会の活動や保護者会等の開催も例年通りにはいかない状況です。ご理解・ご協力をお願いいたします。 ・3月に小規模の異年齢交流の機会を設ける予定です。	80%

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	29	32	1	1	0	0	0			97%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	36	25	2	0	0	0	0			97%
	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	43	18	2	0	0	0	0			97%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	40	22	1	0	0	0	0			98%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	28	30	3	0	0	2	0	・防犯マニュアルは知らない。 ・入ったばかりのため訓練については分かりません。	・各施設において、火災避難訓練を毎月1回、療育センター全体による地震・津波を想定した避難訓練を年1回、地震・広域避難訓練を年２回実施しております。なお、防犯マニュアルは、個別には作成しておりません。施設として、今後検討していく予定です。	95%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	28	21	4	3	0	7	0			88%
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	43	16	3	1	0	0	0	・毎回通うのを本当にたのしみにしています。 ・週1回の個別指導のみですが、その日が来るのを毎回楽しみにしています。		94%
	23	事業所の支援に満足していますか	39	20	3	1	0	0	0	子供と先生の場所で、親と先生の場所ではないと感じ疎外感を感じることがある。もりだくさんで、家でちょっと気になったことを話す機会をのがしてしまう。	保護者の方への配慮が足りず、大変申し訳ありませんでした。保護者の方との懇談の時間を十分にとるように配慮いたします。	94%

Ⅱ．　事業所アンケート

		チェック項目	自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない	無回答	ご意見	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
通園方法	24	お子さんの施設への交通手段について、当てはまるものに○をして下さい。	43	17	4	2	3	0			早めに家を出た時は駐車場で寝て時間を潰している時がある。	
療育関係	25	個別指導の内容はお子さんに合っていますか	39	19	2	1	0	0	0	2	・まだいただいておりません。 ・先生によってムラがある。 ・今年度より個別指導の療育時間が1時間と短くなり、しっかりした指導が受けられるか心配しておりましたが、限られた時間の中で子供が集中できるように工夫された療育を受けられ、大変満足しています。 ・保育士指導日、もう少し指導者主体で進めてほしい。	95%
	26	グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか	25	21	5	0	0	0	10	2	母子隔離の方が子どもにとって自発的になるので今後もそうしてほしい。	90%
	27	聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか	32	28	1	0	0	1	0	1		97%
	28	耳鼻科診察は聴覚管理（中耳炎の予防など）に役立っていると思いますか	21	19	7	0	0	4	11	1	まだあまり受けたことがないので、「どちらともいえない」	85%

行事	29	保護者勉強会（「難聴児の就学と就労　～現状と支援について～」7月４日実施）は、聴覚障害について理解を深める上で参考となりましたか	27	15	2	0	0	2	15	2	・大変勉強になりました。 ・入ったばかりのため受けておりません。	95%
	30	保護者向けセミナー（月2回月曜実施）の内容は参考になりましたか	18	16	1	0	0	4	23	1	・まだ参加できてないです。 ・まだ受けておりません。 ・毎回、勉強になります。子どもが一緒だと集中できなかったりするので、こういったセミナーを開いていただけると助かります。昨年はファミサポを利用して（園への送迎のため）子供を預けて、やまびこルームへ行っていましたが、オンラインで参加できるようになり、良かったです。	97%
	31	保護者勉強会、保護者向けセミナーをオンラインを併用して実施したことで、参加しやすかったですか	24	12	1	0	0	6	19	1	オンラインは参加してみたいです。	97%
その他	32	通園バスについて、運転や添乗は適切でしたか	16	6	0	0	0	4	32	5	先生がついているので良いと思った。	100%
	33	・人工内耳のマッピングがやまびこさんでできるといいなと思います。 ・いつも個別でお世話になっているみかTに人工内耳のマッピングをして頂けたら、息子に合ったマップを入れられると思うのですが…。できるのなら、お願いしたいです！ ・現在人工内耳を装用中。2週に1度のマッピングに東京まで行かなければいけないのが負担。やまびこで補聴器の調整をしてもらえるのと同様に、人工内耳のマッピングもお願いできると助かる。東京の行き来で、上の子にも負担がかかっている。 ・メールでおたよりが配信されるようになったので見やすくなりました。個別の時間が短くなったので、細かく相談する時間が減ったと思う。その分電話などで随時相談するようになり、タイムリーに相談できるようになった。 ・お誕生会時、写真を撮って頂きましたが背景にヘルメットや備品が一緒に入ってしまっていて残念でした。そこまで配慮して頂けると嬉しかったです。 ・グループが月2回になり寂しいです…。 ・ありがとうございました。 ・意見、要望ではありませんが、先生の熱心な指導と支援のおかげで確実に成長できています。私（保護者）にも細かく適切な助言を毎回くださるので、家庭でも課題を取り組むことができ感謝です。 ・知りたい情報について、担当してくださっている先生だけでは解決できないこともあるので、他の先生と共有して、いろいろな意見や回答がほしいです。											

令和2年度　やまびこルームアンケート（前期）　集計結果（掲出）

（保護者等の皆様へ）

掲出：令和2年10月28日

事業所名：福祉型児童発達支援センター
千葉市療育センター　やまびこルーム

保護者等数（児童数）	63人	回収数	63人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい。
（複数回答有り）

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
47人	18人	4人	2人	3人	0人	

《療育関係》
1．個別指導の内容は、お子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
39人	19人	2人	0人	0人	0人	0人	2人	95%

2．グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
25人	21人	5人	0人	0人	0人	10人	2人	90%

3．聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
32人	28人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	98%

4．耳鼻科診察は聴覚管理（中耳炎の予防など）に役立っていると思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
21人	19人	7人	0人	0人	4人	11人	1人	85%

《行事》

5.【保護者勉強会（7月4日実施）について】聴覚障害について理解を深める上で参考となりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
27人	15人	2人	0人	0人	2人	15人	2人	95%

6.【保護者向けセミナー（月2回火曜実施）について】セミナーの内容は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
18人	16人	1人	0人	0人	4人	23人	1人	97%

7. 保護者勉強会、保護者向けセミナーをオンラインを併用して実施したことで、参加しやすかったですか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
24人	12人	1人	0人	0人	6人	19人	1人	97%

8. 通園バスについて、運転や添乗は適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
16人	6人	0人	0人	0人	4人	32人	5人	100%

≪通園方法に関するご意見≫

1	早めに家を出た時は駐車場で寝て時間を潰している時がある。

≪療育関係に関するご意見≫

個別指導

2	先生によってムラがある。
3	今年度より個別指導の療育時間が1時間と短くなり、しっかりした指導が受けられるか心配しておりましたが、限られた時間の中で子供が集中できるように工夫された療育を受けられ、大変満足しています。
4	まだいただいておりません。
5	保育士指導日、もう少し指導者主体で進めてほしい。

グループ指導

6	母子隔離の方が子どもにとって自発的になるので今後もそうしてほしい。

耳鼻科診察

7	まだあまり受けたことがないので、「どちらともいえない」

《行事》

保護者勉強会

8	大変勉強になりました
9	入ったばかりのため受けておりません。

保護者向けセミナー

10	まだ参加できてないです。
11	まだ受けておりません。
12	毎回、勉強になります。子どもが一緒だと集中できなかったりするので、こういったセミナーを開いていただけると助かります。昨年はファミサポを利用して（園への送迎のため）子供を預けて、やまびこルームへ行っていましたが、オンラインで参加できるようになり、良かったです。
13	オンラインは参加してみたいです。

通園バス

14	先生がついているので良いと思った。

《その他に関するご意見》

15	人工内耳のマッピングがやまびこさんでできるといいなと思います。
16	いつも個別でお世話になっている先生に人工内耳のマッピングをして頂けたら、息子に合ったマップを入れられると思うのですが…。できるのなら、お願いしたいです！
17	現在人工内耳を装用中。2週に1度のマッピングに東京まで行かなければいけないのが負担。やまびこで補聴器の調整をしてもらえるのと同様に、人工内耳のマッピングもお願いできると助かる。東京の行き来で、上の子にも負担がかかっている。
18	メールでおたよりが配信されるようになったので見やすくなりました。個別の時間が短くなったので、細かく相談する時間が減ったと思う。その分電話などで随時相談するようになり、タイムリーに相談できるようになった。
19	お誕生会時、写真を撮って頂きましたが背景にヘルメットや備品が一緒に入ってしまっていて残念でした。そこまで配慮して頂けると嬉しかったです。
20	グループが月2回になり寂しいです…。
21	ありがとうございました。
22	意見、要望ではありませんが、先生の熱心な指導と支援のおかげで確実に成長できています。私（保護者）にも細かく適切な助言を毎回くださるので、家庭でも課題を取り組むことができ感謝です。
23	個別だけの参加ですが、ゆっくり関わってもらっています。子どもの反応とか気づかされることが多いです。
24	知りたい情報について、担当してくださっている先生だけでは解決できないこともあるので、他の先生と共有して、いろいろな意見や回答がほしいです。

＜保護者の皆様への回答＞

２･５	ご意見ありがとうございました。指導内容のご希望がありましたら、いつでもご相談下さい。
6	母子分離については、今後も、グループ活動の内容によって行っていきます。
15･16･17	ご意見ありがとうございました。人工内耳のマッピングについては、現在は、設備、体制が整っていないため、実施できません。今後、実現に向けて体制、設備等を整えるよう取り組んでいきます。
19	配慮が足りず、大変申し訳ありませんでした。
20	新型コロナウイルス感染防止のため、1部屋の活動人数を制限させていただいた結果、現在0歳児グループ、1歳児グループが月2回の活動になっております。グループ活動が少なくなってしまった分、内容を充実させていくよう努めます。
24	ご意見ありがとうございました。保護者の方のご質問については、担当者だけでなく、他の職員も共有できるよう時間を設けております。保護者の方の知りたい情報について、十分な説明ができるよう努めてまいります。

令和２年度　やまびこルーム　後期アンケート

令和2年度　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和３年３月２９日　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）75　回収数 68　回収率 91%

		チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・無回答を除く）に対する割合
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	38	28	1	1	0	0	0			97%
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	40	23	2	1	1	0	1	・日本語のイントネーションを標準語にしてほしい ・個別指導など予約がとりにくい。先生毎の受け持ち数が多い。	・ご指摘ありがとうございます。職員1人1人が気を付けていくようにします。 ・契約者数の増加に伴い、ご希望に添えないこともありますが、なにとぞご理解いただけますようお願い申し上げます。	94%
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	40	25	1	1	0	1	0	・車イストイレにベッドがほしいです。	・以前からの要望として、引き続き、療育センター全体での検討をすすめていきます。	97%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	36	28	4	0	0	0	0			94%

適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	44	23	1	0	0	0	0			99%
	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	47	19	1	0	0	0	1			99%
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	49	17	2	0	0	0	0	・グループでは個々の目標に合わせた支援がされているとはあまり感じない。	・ご意見ありがとうございます。個々の目標を意識した関わりに、より一層留意していきます。	97%
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	43	21	2	1	0	1	0			96%
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	21	23	8	0	2	14	0	・今の所活動機会はありませんが、コロナが収束した後にはぜひともお願いしたく思います。 ・コロナ禍なので、難しいのは理解できる。	・ご意見ありがとうございます。	81%
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	38	26	3	0	0	0	1			96%
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	47	21	0	0	0	0	0			100%

保護者への説明等	12	保護者等に対して勉強会などの家族支援が行われていますか	46	19	0	1	1	1	0	・重複障害児の親御さん（先輩方）の話が聞きたい。どうやって育てていいかわからない。 ・今年度はコロナ対策でオンラインセミナーが受けられて良かったです。コロナが収束してもオンライン可の選択があると良いです。 ・母親主体になりやすいので、パパ向けの講座を1回だけでも行ってほしい。	・ご意見ありがとうございます。今年度はコロナ禍のため、ちゅーりっぷグループ（重複障害児）の勉強会が実施できませんでした。来年度はオンライン併用も含め、実施を検討いたします。また、普段療育に参加できないご家族をを対象とした家族参観も実施できませんでした。来年度は状況を見ながら、実施を検討していきます。 ・今年度は保護者勉強会・保護者セミナーをオンライン併用で実施し、保護者勉強会の土曜日開催も増やしております。ぜひ参加をご検討下さい。	97%
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	39	27	1	0	1	0	0	・連絡ノートや日々の記録もないので、こちらから話さない限り、日々の状況は伝わっていない。	・ご意見ありがとうございます。保護者の方とお子様の様子を共有したいと思っております。個別指導やグループ指導の中で、こちらからも、より一層お声をかけさせていただくようにいたします。	97%
	14	定期的に、保護者等に対して面談※４や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	38	26	2	0	0	2	0	・面談については希望出したところです。	・面談の希望を出された方には、お声をかけさせていただきました。今年度中に実施いたします。	97%

保護者への説明等	15	親の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	22	29	9	1	0	7	0	・私自身が仕事しているのでとても難しい。 ・人工内耳の親のあつまりは良かったです。	・お仕事をされているお母様も増えています。そのような状況を踏まえて、保護者同士の連携ができるように支援していきます。 ・人工内耳装用児の保護者懇談会は、毎年、実施する予定です。ぜひご参加ください。	84%
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	37	28	1	0	0	2	0	・要望を伝えるとすぐに対応してくださる。いつもありがとうございます。	・ご意見ありがとうございます。ご要望に対しては、迅速に対応していくようにいたします。	98%
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	40	26	1	0	0	0	1	・メールはすぐ返信してもらえ助かります。	・ご意見ありがとうございます。保護者の方との意思疎通や速やかな情報伝達を心がけていきます。	99%
	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	38	28	0	0	0	1	1			100%
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	36	28	2	0	0	1	1			97%
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	27	29	2	1	0	8	1	・参加はしたことないが訓練が行われている事は知っている。何歳児～参加？ ・感染症マニュアルは周知しているが、緊急対応時は知らなかった。	・緊急対応時マニュアルは事故・災害に対して策定しております。	95%
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	28	24	4	0	0	11	1	・参加はしたことないが訓練が行われている事は知っている。何歳児～参加？ ・月2回通園なのでわからず。	・火災避難訓練等は、登園される多くの方が参加できるように毎月、曜日・時間を変えて行っています。	93%

満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	50	13	1	0	0	3	1	・リハも療育拒否があるので本人の気持ちはよくわからない。	・お子様が楽しめるように療育内容を工夫してまいります。	98%
	23	事業所の支援に満足していますか	46	17	4	0	0	0	1	・先生による所が大きい。保育士さんとSTさんでお互いに活動内容を把握してますか？ ・本人が乗りきでないので申し訳ない気持ちです。	・ご意見ありがとうございます。職員間のコミュニケーションをより一層図ってまいります。	94%
その他	24	ご意見（並行通園をしている機関との連携について）								・コロナの影響があるので、大人数でのあつまりは不要だと思います。やまびこでの活動を、DVDなどで通園先に渡すのはどうでしょうか？どんな声かけ、視覚的補助をしているのか、みてもらうのが1番わかりやすいと思います。	・ご意見をいただきました保育園・幼稚園等、並行通園をしている機関との連携については、コロナ禍でも可能な方法を相手先と相談しながら行っていきます。	

令和2年度　やまびこルームアンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和3年3月22日

事業所名：福祉型児童発達支援センター
千葉市療育センター　やまびこルーム

保護者等数（児童数）	75人	回収数	68人	回収率	91%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい。
（複数回答有り）

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	無回答
49人	16人	2人	3人	0人	0人	3人

《療育関係》
1．個別指導の内容は、お子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
40人	24人	1人	0人	0人	0人	0人	3人	98%

2．グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
34人	16人	4人	0人	0人	9人	1人	4人	93%

3．聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
39人	22人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	95%

4．耳鼻科診察は聴覚管理（中耳炎の予防など）に役立っていると思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
29人	18人	8人	1人	0人	6人	3人	3人	84%

5.【運動会（グループごとに実施）について】お子さんは楽しめましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
27人	12人	4人	0人	0人	15人	5人	5人	91%

6.【クリスマス会（グループごとに実施）について】お子さんは楽しめましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
29人	13人	3人	0人	0人	10人	7人	6人	93%

7.【保護者向けセミナー（月2回火曜実施）について】セミナーの内容は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
26人	16人	3人	1人	0人	12人	6人	4人	91%

8.【保護者向け勉強会（11月14日実施・卒園生（難聴者）本人の体験談について】
進路の選択・学校生活での友達関係や勉強について参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
22人	13人	4人	0人	0人	18人	6人	5人	90%

9. 通園バスについて、運転や添乗は適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当 しない	無回答	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しない・無回答を除く）に対する割合
16人	5人	3人	0人	1人	19人	12人	12人	84%

≪療育関係に関するご意見≫

個別指導

1	個別指導は1時間30分でお願いしたいです。

聴力検査・補聴器調整について

2	左耳の補聴器を嫌がって取ってしまうので、音が大きいのでは？と思う。

《保護者支援に関するご意見》

保護者勉強会

3	欠席したためきけませんでしたが、機会があれば本人の体験談などおききしたいです。
4	zoomでの参加でしたが、通信？の影響か音声が小さく聞きとりづらかった。

《その他に関するご意見》

5	やまびこに対してではないのですが、入口の消毒が息子には高くて目に入りそうなので、きりふきタイプとかあったら嬉しいです!!
6	入口の消毒している人が減った。（やまびこ以外の利用者さん）
7	センター全体の水まわり、（トイレ等）改善してほしい。

＜保護者の皆様への回答＞

1	やまびこルーム契約者数の増加に伴い、皆様のご希望通りの個別指導の回数を確保するために、個別指導時間を1時間にさせていただいております。それに加え、今年度はコロナ感染防止のための換気、消毒作業、指導準備、片付けの時間をつくるために指導と指導の間に一定の時間が必要となっております。なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。
2	お子様に不快な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。聴力検査の結果とお子様の様子を見ながら、適切な補聴器のフィッティングを心がけていきます。
3	来年度の保護者勉強会でも、難聴者本人の体験談を聞く機会を設けたいと思っております。ぜひご参加ください。また、今までの勉強会のDVDや文章にまとめたものを貸し出ししております。ご興味があれば、そちらもご利用ください。
4	今年度初めて、Zoom配信を実施したため、機材、技術など不十分な点がありましたことをお詫びいたします。よりよい配信ができるよう取り組んでいきます。
5・7	保護者の方に、心配や不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。療育センター全体で検討いたします。
6	新型コロナウイルス感染者数が、まだまだ多い状況ですので、入館時には、消毒等を徹底していただくよう、センター全体で取り組んでいくようにいたします。

（３）いずみの家

実施月	アンケート内容		配布数	回収数
3月	ご利用者ニーズ調査(就労移行支援・就労継続B型支援)		30	30
3月	満足度アンケート (就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)	(ご利用者)	30	30
		(ご家族)	30	28
		(ボランティア)	0	0
3月	コロナ対策アンケート(ご家族)		30	28

※ ボランティアに関してはコロナウイルス感染拡大による受け入れ停止のため配布、回収なし

令和２年度いずみの家　ご利用者ニーズ調査　結果

対象者　就労移行支援事業ご利用者　男性：1名　計：1名

就労継続支援B型事業ご利用者　男性：13名　女性：16名　計：29名　合計：30名

（第1作業室：8名　第2作業室：11名　第3作業室：10名）

※女性２名が長期欠席中。調査結果に含まず。

1.いずみの家の事業利用について

①いずみの家では、どの事業を利用していますか？

就労移行支援　1	就労継続Ｂ型　27	わからない　0

②A．現在、どの作業室に所属していますか？

第1作業室　7	第2作業室　10	第3作業室　10

②Ｂ．現在の作業室の所属年数は何年目ですか？

1年目～5年目　6	6年目～10年目　7	11年目～　14

③来年度、いずみの家を利用したいと思いますか？

利用したい　23（82%）	利用したくない　3（13%）	わからない　2（5%）

④来年度利用したい事業はどれですか？

就労移行支援　1	就労継続Ｂ型　24	わからない　3

⑤作業配置や内容について（自由記述）　※就労継続Ｂ型限定

・第1作業室で箱折りをやりたい。（3）・ハンガーの作業がしたい。・第２作業室がよい。・アイスジャパンの作業がしたい。（2）・第２の明功の作業がしたい。・第３作業室がよい。・コロナ禍でお互いの距離を保つ事を継続する。・ひよこの線付けがしたい。・しいのみ園で働きたい。・たまに箱折りもしたい。・ポリ袋たたみがしたい。・ウレタン貼りをしたい。・ウレタン掛けをしたい。・ハンガー組み立てをしたい。（2）・ハンガー箱詰めがしたい。・第２と第３の両方で仕事がしたい。・第２でテープ貼りがしたい。・第３の窓側で仕事がしたい。 ※カッコ数字複数回答数

⑥就職の希望や就労の取り組みについて（自由記述）　※就労移行支援限定

・東京方面にある鉄道関係の仕事に就き、自分で生活する。

1.いずみの家の事業利用について　考察
・８割以上の方が③「来年度もいずみの家を利用したい」との回答でした。⑤「作業配置や内容」の記述にもあるように、いずみの家で提供している作業に満足していることが要因と推測されます。また、現状の作業だけでなく他科作業も経験したいという回答もありますので、真摯に対応していきます。⑥就労移行に関しては、ご本人の希望に沿えるよう努めていきます。

２．就労（働くこと）について

①平日の日中は、働きたいですか？

働きたい　26（93%）	働きたくない　0（0%）	わからない　2（7%）

②A．どこで働きたいですか　※働きたいと回答した方限定　●未回答2名

いずみの家　22（84%）	いずみの家以外の施設 2（8%）	一般企業　2（8%）

②B．何をして過ごしたいですか（自由記述）　※働きたくないと回答した方限定

記入なし

②C．心当たりはありますか　※いずみの家以外の施設と回答した方限

心当たりがある　2	心当たりはない　0

②D．どのくらいの年数で移籍したいですか　※いずみの家以外の施設と回答した方限定

1年以内　1	2年以内・3年以内・未定　1

②E．どのくらいの年数で就職したいですか　※一般企業と回答した方限定

1年以内　1	未定　1	2年以内・3年以内　0

９割以上の方が「働きたい」と回答しており、前項の③にも繋がっていると推測されます。また、いずみの家以外の施設を希望する方の全てが「心当たりがある」と答えており、ご自身の将来について具体的な展望を持っていることが伺えます。

3. ご自身の個別支援計画書について

①ご自身の現在の個別支援計画の課題を覚えていますか?

覚えている　15（54%）	忘れてしまった　10（36%）	わからない　3（11%）

②個別支援計画書についての、意見や要望（自由記述）

・第１で他の作業がしたい。・洗濯や食器洗浄時の水を少なくする。　・仕事を頑張りたい。

3. ご自身の個別支援計画書について　考察
昨年度、「覚えている」の割合は41%でしたので割合は向上しています。割合としては、ようやく５割を超えた程度のため、向上の必要性が望まれます。支援の基本となる計画のニーズや課題については、ご利用者ご自身が意識して取り組まなければ達成することが難しくなります。短い期間での再確認、ご利用者が理解しやすい内容・文言での作成に努めていきます。

４. 生活の場について

①現在、誰と一緒に暮らしていますか？（該当するもの全て選択）

父　18	母　23	兄姉　7	弟妹　3
祖父　0	祖母　2	その他　3	独居　1

②これから先5年の間、誰と一緒に暮らしたいですか？　（該当するもの全て選択）

父　16	母　21	兄姉　6	弟妹　2
祖父　0	祖母　2	その他　2	独居　3

③今後、もし父母が亡くなった場合、どこに住みたいですか　●未回答1名

兄弟・親戚 8（30%）	入所施設 1（4%）	ＧＨ　12（44%）	一人暮らし 6（22%）

④将来に向けて、入所施設やＧＨの体験をしてみたいと思いますか？　●未回答3名

体験をしてみたい　12（48%）	体験はしたくない　10（40%）	体験したことがある 3（12%）

⑤生活の場について、不安なことがあったら教えてください。（自由記述）

・遅刻をしない。・忘れ物をしない。

４．生活の場について　考察
「④将来に向けて、入所施設やＧＨの体験をしてみたいと思いますか？」という問いに対して約半数の方が「体験をしてみたい」と答えており、体験に対し前向きな意識を持っていることとが推測されます。また「③もし父母が亡くなった場合、どこに住みたいですか」に対してはＧＨが４割近くを占めました。ＧＨへの興味の高さが伺えます。ご自身の将来（未来）に関する質問のため、なかなかイメージが湧きにくいですが、いずれ訪れる場面ですので、この設問はしっかりと考えてほしいことも日頃から伝えていきます。

５．いずみの家の生活について

①役割当番について

やりたい　24（86%）	やりたくない　4（14%）	わからない　0（0%）

②希望する役割について（自由記述）

給食当番 3	更衣室清掃 3	地域清掃 1	班長　0
食堂清掃 2	麦茶　2	洗濯当番 3	ウーロン茶 0
休憩時間変更 1	カレンダー 1	お茶出し 0	食洗器清掃 1
ラジカセ 1	布巾消毒 0	頼まれたらやる　0	

③利用者活動（自治会役員兼旅行委員）について

やりたい　13（46%）	やりたくない　13（46%）	わからない　2（7%）

④希望する活動や役割について（自由記述）

副会長　1	会計	書記　1	会長　2

⑤いずみの家の設備・環境について、ご意見はありますか？ ●未回答1名

ある　7（25%）	ない　20（71%）	わからない　4（10%）

⑥直して欲しいところや希望について（自由記述）

・女性トイレの個室のドアがしっかりと閉まらないところがある。

５．いずみの家の生活について　考察
ご利用者にとっていずみの家は「職場」になるので、「出来る事は自分たちで」という意識の高さが役割当番の意欲に繋がっています。一方、自治会については年々、希望する人が減っています。今一度、「主体的で自分たちの意見を具現化できる活動」になることを目指していきたいと思います。 設備については、物理的な問題もありますが、以下の通り検討を考えています。 ・女性トイレの個室のドアがしっかりと閉まらないところがある。 →老朽化もあり、故障の箇所を確認後、修繕を検討します。

6．行事について

①一番楽しかった行事を教えてください。　　●未回答1名

社会研修（クリームパン作り等）　13（48%）	所外活動（マザー牧場）　11（41%）	新年会（テイクアウト昼食）　3（11%）
新年度体制説明会　0（0%）	健康診断　0（0%）	

②行事の内容や回数について教えてください（自由記述）

・成田山に行きたい。　・新年会で外食したい。　・マザー牧場に行きたい。
・電車に乗りたい。

6．行事について　考察
コロナ禍により、止むを得ず中止になってしまった行事（一泊旅行、ゆうあいピックなど）も多く、ご利用者の方には残念な思いをさせてしまいました。次年度も開催の可否を十分に検討し、安全・安心な行事を提供していきます。

７．楽しいと思うこと・辛いと思うことについて（自由記述）　※いずみの家以外可

（楽しいこと）
・グループホームが楽しい。　・仕事が楽しい。（3）　・ＴＶゲームしている時。（2）
（辛いこと）
・コロナ禍での生活がしんどい　・祖母と母に自分の気持ちを理解してもらえない。
・花粉症が辛い。

８．悩み事・困っていることについて（自由記述）　※いずみの家以外可

（悩み事）
・就職後のこと。　・耳の聞こえと目の心配。　・暴れない、騒がないようにしてみたい。
（困っていること）
・（いずみ内の特定の方との）人間関係。　・（いずみ内の特定の方に）寄り道に誘われる。

９．ご利用者同士の相性について

①好きな（相性の良い）ご利用者はいますか

いる　18（64%）	いない　8（29%）	わからない　2（7%）

②嫌いな（相性の悪い）ご利用者はいますか

いる　7（25%）	いない　19（68%）	わからない　2（7%）

７．楽しいと思うこと・辛いと思うこと　８．悩み事・困っていること　９．ご利用者同士の相性　考察

7．楽しいと思うこと

いずみの家に関する内容が多い事はご利用者皆さんの生活にいずみが深く関わっているという証であり、今後もこのような内容が多くなるよう、アンケートの内容を活かしていきたいと思います。

7．辛いと思うこと　8．悩み事・困っていること

多くの意見は挙げられませんでしたが、私生活に関わる内容がありました。日中の場でありますが日頃の対話を重ね、私生活の内容に対して幾分かでも和らぐ役割が果たせるように努めていきます。

9．ご利用者同士の相性

日中、多くの時間を過ごしている場ですので、人間関係の好き嫌いがあるのは当然と思います。大きなトラブルに発展しないよう、またイジメや悩み過ぎていずみに来られなくなることがないように日頃からの対話を重ね、信頼関係を築いて対応していきます。なお、調査では作業室編成の参考にするため、ご利用者の名前もお聞きしていますが、結果では割愛しています。

10．来年度の余暇活動について（複数回答）

スポーツ　15	映画　10	調理　14
工作　10	その他　3	内容：電気化学

余暇活動の内容や意見について（自由記述）

・折り紙。　・カラオケ。　・エコクラフトバンドでカゴ編みがしたい。

10．来年度の余暇活動について　考察

今年度はコロナ禍によりカラオケが不可になった為、代替の余暇活動として映画鑑賞と工作活動を取り入れました。両活動とも好評を得ており、全体的にバランスの良い回答となりました。自由記述にて、種類の意見が挙がっていますので、サービス検討会議の議題としてあげ、よりよい余暇活動に繋げられるようにしていきます。

令和2年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細

【職員の対応について】

1. 職員は十分な知識・専門性を持って支援をしていますか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	18	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年度、「とても良い」「良い」と回答された方は87%でしたので、高い満足度となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で面談も希望者のみでしたが、その中で高い評価を頂けたのは日々の連絡ノートや定期的な情報発信の影響と考えられます。

2. 言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	9	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		93.1%		
家族	15	13	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年度、同様の満足度となりました。
支援の基本は丁寧な言葉遣いや身だしなみの接遇です。コロナ禍の中、研修等にはあまり参加できませんが、お互いのチェック等で日々、研鑽していきます。

3. 皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	15	13	1	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		96.6%		
家族	11	17	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年度、同様の満足度となりました。
今年度はご家族と直接会話する機会が減り、ご利用者とも距離を取るなどの対応をしましたが、これからも出来る範囲の中で誠実に対応し、「とても良い」の割合が増えるようにしていきます。

4. 明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	10	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		93.1%		
家族	11	17	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年より高い満足度となりました。常にマスクを着用し、お互いの表情がわからない中での対応のため、こまめな声掛けをこれからも行っていきます。

5. 職員は安全で丁寧な支援をしていますか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	12	16	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年度、同様の満足度となりました。
この結果を維持できるように努めていきます。

6. 電話や連絡帳の対応は適切ですか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	13	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
昨年度、同様の満足度となりました。
この結果を維持できるように努めていきます。

7. 個人情報は適切に取り扱っていますか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	13	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
個人情報の取り扱いについては平時では見えにくい部分ではありますが、必要な場合は適切に取り扱えるよう、常日頃から管理徹底し、新年度体制説明会でもお伝えしていきます。

【個別支援計画について】

1. 皆さんの意見や希望が入っていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	12	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	
家族	11	17	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

【考察】
昨年度より高い結果となりました。
年度末に行うニーズ調査だけでなく、日々の支援の中で意見や希望が汲み取れるよう信頼関係を築き、対応を行っていきます。

2. 職員からわかりやすい説明がありましたか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	12	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	
家族	14	14	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

【考察】
昨年度と同様の満足度となりました。
この結果を維持できるように努めていきます。

3. 計画通りの支援を受けていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	9	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	
家族	12	15	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.4%	

【考察】
昨年より高い結果となりました。日々の支援は目に見えない部分が多く、また面談でも全てを伝えることは難しいので、日々の連絡ノートや時折の電話等でお伝えし、わかりやすい説明で対応を行っていきます。

【活動内容について（共通）】

1. 活動時間（9:00～16:00）はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	17	10	1	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.4%	
就労移行利用者	0	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	
家族	11	17	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

【考察】
今年度は登所時の公共交通機関のピーク時間をずらすため、更衣室の密集を防ぐため、登所時間と降所時間を変更しました。その部分が影響したかもしれませんが、より詳細が伺えるようご利用者の自治会等でもお話を伺っていきます。

2. 工賃額はちょうどよいですか？（利用者はB型のみ）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	15	13	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	
家族	5	11	11	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			57.1%	

【考察】
千葉県平均や全国平均よりは高い工賃をお支払いしていますが、一般的な感覚では「低い」と言わざるを得ません。
今年度につきましては新型コロナウイルスの影響で受注作業が激減しましたが、新規開拓で持ち直しました。限られた資源の中で高い工賃がお支払いできるよう、日頃から情報収集を行い施設一丸となって努めて参ります。

3. 作業内容について満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	19	8	1	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.4%	
就労移行利用者	0	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	
家族	8	17	3	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			89.3%	

【考察】
前年度と同様の満足度となりました。
今年度は新型コロナウイルスの影響で通常とは違う作業に多く取り組んだ一方、例年受注している作業が途切れるなどの影響がありました。常に作業が継続できるよう今後も努めていきます。

【活動内容について （就労移行支援事業利用者のみの設問）】

1. 就労移行の活動（履歴書作成、ビジネスマナー等）はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	0	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
お一人ですが、高い満足度となりました。
今後も個々に沿った支援を続け、就職という目標が達成出来るように努めていきます。

2. 求人の紹介は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	0	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
お一人ですが、高い満足度となりました。
今後も個々に沿った支援を続け、就職という目標が達成出来るように努めていきます。

【活動内容について 利用者のみの設問】

ボランティアの受け入れについて満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	15	8	4	0	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		85.2%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響で、受け入れ期間は短く、また人数制限も行いました。ボランティアの方の影響は作業面にとどまらず、地域に開かれた施設、ご利用者との交流など多岐に渡ります。
今後も感染対策を行ったうえで受け入れを行っていきます。

【活動内容について 家族のみの設問】

1. 実習生やボランティアの受け入れ状況に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	5	19	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		88.9%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響で、受け入れ期間は短く、また人数制限も行いました。ボランティアの方の影響は作業面にとどまらず、地域に開かれた施設、ご利用者との交流など多岐に渡ります。
今後も感染対策を行ったうえで受け入れを行っていきます。

2. 給食の提供に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	12	13	3	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		89.3%		

【考察】
昨年度の結果を踏まえ、給食昼食会の検討をしましたが、新型コロナウイルスの影響で断念しました。献立だけでなくいずみだより等でも情報発信を行っていきます。

3. 行事や健康診断の実施に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	15	13	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響で行事の縮小を余儀なくされましたが、可能な限りで実施しました。来年度も今までのようにな規模では難しいかもしれませんが、満足度が維持できる取り組みを行っていきます。

4. 掲示物は見やすく適切な内容ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	13	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		88.9%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響でいずみの家に来ていただく機会も減りました。
引き続き、見やすく適切な掲示を心掛けていきます。

5. 地震や火事等の防災対策が十分になされていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	14	4	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		85.7%		

【考察】
平時では見えにくい部分ではありますが、いずみだより等を通して普段の対策の様子を伝えていきます。

【環境について】

1. いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	5	2	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		92.9%		
家族	11	15	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		92.9%		

【考察】
昨年に引き続き、高い満足度となりました。限られた空間の中、整理整頓を実施し、過ごしやすい施設づくりを行っていきます。

【その他 利用者のみの設問】

1. 余暇活動（スポーツ・調理・カラオケ）に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	6	1	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		96.4%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響で、カラオケをなくし、新たに映画鑑賞と工作活動を取り入れました。昨年より満足度が下がっていますので、次年度は魅力あるメニューを提供出来るように努めていきます。

2. 実習生の受け入れに満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	8	2	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		92.9%		

【考察】
今年度は新型コロナウイルスの影響で、少ない受け入れでしたが高い満足度となりました。

3. 美味しい給食の提供がありますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	6	3	0	4
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		88.5%		

【考察】
昨年が96%でしたので、低い満足度となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、食事場所を二分化したり、食事中の私語を控えてもらったりと、本来楽しみなはずの給食に制約がついたことが要因の一つと思われます。限られた中での楽しみを給食会議等で栄養

【行事等について 利用者のみの設問】

1. 社会研修（クリームパン作り、木更津アウトレット）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	7	0	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
新型コロナウイルスの影響により小グループ制の小規模外出でしたが、高い満足度となりました。

2. 所外活動（マザー牧場）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	19	9	0	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
新型コロナウイルスの影響により小グループ制の小規模外出でしたが、高い満足度となりました。

3. 新年会（テイクアウト昼食会）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	7	1	0	4
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		96.2%		

【考察】
初めての試みで、外出しての昼食ではなく、好きなメニューを選んでもらいテイクアウトで楽しみました。高い満足度となりました。
※無回答については、不参加の方となっています。

4. 健康診断（前期、後期）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	7	3	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合		89.3%		

【考察】
嘱託医と連携し、生活習慣病の検査を行っていますので、健康に留意して頂くよう今後も継続して行っていきます。
※無回答については、不参加の方となっています。

【総合評価】

いずみの家で楽しく（心地よく）過ごせていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	9	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			89.7%	
家族	16	12	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

ご家族については昨年同様の満足度となりましたが、ご利用者については若干、満足度が低くなりました。
このアンケートだけでなく、様々な場面で意見や要望が言いやすい環境作りを行い、より一層の満足度向上を目指していきたいと思います。

【ご利用者からの、ご意見やご要望】
・本を読みたいです。
　→自治会を通じてどのような内容の本が良いか意見を募り、検討していきます。

・いずみの家に毎日行きたいです。
・コロナをなくすために距離を取って仕事をしたりとか、頑張りたいです。
・所外活動と社会研修が楽しかったです。
・お仕事を頑張っています。
・来年度もいずみの家で頑張る。

【ご家族から寄せられたご意見、ご要望】
・職員の方の異動があまりにも早いと思います。突然のこともありますし。せっかく、本人・親とも慣れてきたと思ったら変わってしまうので、戸惑ってしまうことが多々あります。
→毎年、寄せられているご意見です。貴重なご意見として、法人本部に伝えていきます。
・災害時等のいずみの家と各家庭間の情報のやり取りについて、現在の保護者会の連絡網ではなく、一斉メールなど迅速な手段の検討を希望します。
→大雨や大雪、地震や停電だけでなく、感染症などリアルタイムで情報を提供する必要がある場合、連絡網では遅く、一斉メール等の手段が有効なのはごもっともなご意見です。伝達方法も含め、検討していきます。

・いつもとても良く見ていてくれて感謝しています。
・本人の障害特性・性格など考慮していただき、無理強いなく過ごさせていただいて感謝しています。おかげで穏やかに落ち着いて作業・生活出来ているようです。今後ともよろしくお願いいたします。
・利用者に対して、丁寧に対応してくださっていると思います。
・利用開始以来、本人は楽しく通所しておりますので、よく指導していただいていると感謝しています。コロナ禍で行事等も制限されるので、日常の作業の中にもちょっとした気分転換になることがあれば、よりいいかなと思います。
・職員の皆様のおかげで日々、楽しく通所することができ、とても嬉しく思っています。
・1人1人に対して、よく行ってくださっています。
・将来、親亡きあとの住み慣れた自宅（20年）で暮らしていくことが本人も父親も一番に願っています。どうかこの視点で指導・教育をお願いいたします。

【まとめ】
・今年度は新型コロナウイルス無しには語れない一年となり、行事やイベントの中止や縮小だけでなく、マスクの着用や食事場所の二分化、ソーシャルディスタンスや3密を避ける行動など、日々の暮らしが大きく変わりました。その中で昨年度同様の高い満足度となったことは、「積極的な情報発信」や「慣例に捉われない柔軟な対応」が要因と考えられます。平日の日中の場であるいずみの家は、ご利用者の生活の大きな部分を担っています。今回頂いた内容やご意見等に対し、職員一丸となって真摯に取り組み、次年度はさらにより良いサービスが提供できるように努めて参ります。最後にアンケートにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

令和2年度　いずみの新型コロナウイルス対策アンケート集計結果　詳細

【対策について】

1. いずみの家の対策に満足していますか

	非常に満足	満足	不満	非常に不満	無回答
回答	21	7	0	0	0
	「非常に満足」と「満足」の全体（無回答を除く）の割合		100.0%		

【考察】
非常に高い満足度となりました。気を緩めることなく維持していき、更に改善出来る部分がある場合は、実践していき、安心出来る施設作りに努めていきます。

2. ご利用者の登所（利用）について、最も当てはまるもの1つに〇をつけてください

回答	感染への不安から、登所させたくない	本心は登所させたくないが、家にいてもやることがないから仕方なく	本心は登所させたくないが、本人が行きたいと言うため
	1　(4%)	1　(4%)	3　(12%)
	本心は登所させたくないが、日常生活（本人・家族（仕事））の維持のため	登所させたくないほどではないが、感染は不安	登所（感染）について、不安な面はない
	0　(0%)	12　(48%)	8　(32%)

【考察】
本心は登所させたくない保護者が一定数いることがわかりました。また、「不安があるものの、登所しない程ではない」、「不安な面はない」が80%を超えており、質問1の満足度の影響であることが推察されます。ご利用者が安心して通える環境を整えていきます。

3. 感染への不安要素について、当てはまるもの全てに〇をつけてください

回答	本人に持病があるため	本人が高齢のため	同居家族に持病があるため	同居家族が高齢のため	持病や高齢ではないが、未知のウイルスのため
	1	0	3	4	13
	家族の周囲（家族の仕事、学校、近所）に影響があるため		本人の周囲（いずみの家）に影響があるため		特に不安要素はない
	13		15		5

【考察】
年々、ご利用者やご家族が高齢化してきているため、「高齢」や「持病」を理由にする方は一定数いましたが、思ったより多い数字ではありませんでした。
未知のウイルスで感染力が非常に高く、クラスターが発生しやすい不安な部分がこの回答に表れています。いずみの家では普段の感染対策はもちろん、「クラスターを発生させないためには」という観点からも対策を行っています。

4. ウイルスを理由とする日々の変化について、該当する箇所に〇をつけてください

①本人の情緒（精神状態）について

	著しく変化があった	変化があった	あまり変化はない
回答	1	5	18
	「著しく変化があった」と「変化があった」のの全体（無回答を除く）の割合		25.0%

②本人の平日の過ごし方について

	著しく変化があった	変化があった	あまり変化はない
回答	1	5	18
	「著しく変化があった」と「変化があった」のの全体（無回答を除く）の割合		25.0%

③本人の休日の過ごし方について

	著しく変化があった	変化があった	あまり変化はない
回答	3	8	13
	「著しく変化があった」と「変化があった」のの全体（無回答を除く）の割合		45.8%

④家族の平日の過ごし方について

	著しく変化があった	変化があった	あまり変化はない
回答	0	10	14
	「著しく変化があった」と「変化があった」のの全体（無回答を除く）の割合		41.7%

⑤家族との休日の過ごし方について

	著しく変化があった	変化があった	あまり変化はない
回答	3	10	10
	「著しく変化があった」と「変化があった」のの全体（無回答を除く）の割合		56.5%

【考察】
5月の緊急事態宣言中は、およそ1/3の方がお休みされましたが、二度目の緊急事態宣言では2人のみのお休みでした。
日中、いずみの家に通われている方がほとんどのため、情緒面の変化や平日の過ごし方の変化はあまり大きく出ませんでした。
一方、休日の過ごし方については、およそ半数の方が変化を感じており、普段のちょっとした外出や旅行、クラブ活動や余暇活動など、趣味や娯楽に係わる部分に影響が出ています。
日中は作業がほとんどを占めていますが、その中でも感染対策しながら、誰もが楽しめるリフレッシュという部分も今後、検討していきます。

5. 来年度のいずみの家の行事やイベントの実施について、最も当てはまるもの1つに〇をつけてください

回答	感染防止を第一に、中止や縮小を積極的に行なってほしい	出来る限りの感染対策をした上で、今までの規模で実施してほしい
	4 (15%)	8 (31%)
	出来る限りの感染対策をした上で、縮小して実施してほしい	個人の判断で、参加・不参加を決めればよい
	11 (42%)	3 (12%)

【考察】

今年度はスポーツ大会や一泊旅行の中止、実施した外出も小規模でグループ制にするなどして、感染対策を第一に実施しました。来年度は感染状況を踏まえながら、ご利用者が安心して参加出来る内容を検討していきます。また、今までの慣例に捉われない柔軟な発想でアイデアを出し、ご利用者ご家族にとって安心安全ないずみの家になるように努めていきます。

6. 新型コロナウイルスに関連して、意見や思い、要望がありましたら、ご記入ください

【ご家族から寄せられたご意見、ご希望】

・一年前からいずみの家のコロナ対策に対して心強く思っています。「季節に沿った細やかな指示の数々」、「いざという時のフローシートによる対応方法の周知」、「その都度の注意喚起」不安なことを一つ一つ指導して頂き、ありがとうございます。
・ワクチン接種について、いずみの家の健康診断でお世話になっている病院で出来ればお願いしたい。
・未知のウイルスのなので不安はありますが、感染後の重症化などインフルエンザほどではないように思いますので、怖さはありません。ただ、周囲に迷惑をかけてしまうことはとても申し訳ないと思いますので、世の中の流れに合わせることは大切だと思っています。いずみの家では十分に配慮してくださっていると思っています。
・イベントについては仕方ないので、縮小はありだと思います。ただ、対策がされた上で少しでもあったら、本人の楽しみになって良いと思います。
・いつもありがとうございます。緊急事態宣言も延長されるようですが、もう少し皆で頑張って落ち着いてくれればいいなと思います。
・感染対策をしっかりして頂き、感謝しています。早く終息してほしいと思います。
・これからはウイルスありきの生活になることをわきまえていくこととなります。家庭でも十分に気を付け、感染防止に努めます。利用者降所後の全消毒など、大変だと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。
・行き届いた感染対策を行ってくださり、感謝しています。どこで感染するかわからず通勤中に感染することもあり、本人の行動にも注意が必要と思っています。いずみの家の行事やイベントの実施については、色々なことが中止になる中で楽しかったようです。大変な思いで実施してくださったことと思います。ありがとうございました。
・電車で登所しているため、リスクは高いと思っています。親は持病はないですが高齢のため用心し、緊急事態宣言中は休ませました。子供は自宅にこもって好きなことをしている方が落ち着いているので、散歩がてらの外出程度で不満は感じていない様子です。

【まとめ】

新型コロナウイルスが流行して約1年、戸惑い・不安・生活の変化・様々な制限など、経験したことない1年でした。未知のウイルスのため正解がわからない中、慣例に捉われない積極的な感染対策や情報発信を実施した結果、感染者を出すことなく、またアンケートでも非常に高い満足度となりました。一方、ご利用者の休日の過ごし方などは変化が多く見受けられており、目に見えないだけでストレスも溜まっていることが懸念されます。次年度は、ウイルスと付き合いながら、感染対策をしながら日常を取り戻し、ご利用者やご家族のニーズに沿った支援が出来るように努めていきます。

（４）ふれあいの家

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
1～2月	利用者満足度アンケート	305	217
10～12月	創作的活動、ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ事業（ボッチャ・卓球・STT・ふれあいレク・書道・音楽療法・組紐・パソコン・絵手紙・陶芸・アートDEふれあい）	137	136
6～12月	社会適応訓練事業	46	46
7～12月	ボランティア養成講座	111	99
7月	ボランティア養成講座　要約筆記講習会	1	1
11月	ボランティア養成講座　手話講習会(初級)木曜日	18	17
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(初級)土曜日	16	11
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(中級)木曜日	17	17
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(中級)土曜日	17	17
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(応用)木曜日	9	9
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(応用)土曜日	10	6
12月	ボランティア養成講座　音訳講習会	12	12
12月	ボランティア養成講座　点字講習会	11	9
2月	ふれあいミニフェスティバル	25	25
2月	ふれあい作品展	111	111

上記のようにふれあいの家アンケートについては福祉講座や社会適応訓練事業等の複数の事業について実施しており、結果については下記のとおりアンケートの考察を中心に報告します。

・社会適応訓練事業

【介護予防勉強会①】

今回、新型コロナウイルス感染症の影響で近隣、関係施設への周知を行わなかったことや緊急事態宣言によりふれあいの家も休館していたこともあり参加人数が１人となってしまいました。

参加された方にとっては内容も難しすぎず、おおよそ満足との回答でした。

また、ご家族の介護しており、介護の悩みなどの質問もあり、参加人数が少なかったため、その点についても答えることができました。

今後は感染症に配慮した新しい生活様式の中でも複数の参加で開催できるような周知方法や開催方法を検討していく必要があると感じました。

【介護予防勉強会②】

前回の初級編では１人にとどまりましたが、今回はふれあいの家が再開し、教室利用の方へ声かけできたこともあり、５人の参加となりました。

開催の日時については今までは午後の開催でしたが、平日の午前がよいとの意見が多数上がっており、午前開催を検討してもよいと感じました。

プログラムの内容や対応はおおむね満足回答でした。今後も内容・質ともにマンネリ化せずに満足度の高い内容にしていくために、新しい情報・知識を得られるようにしていきたいと思います。

【介護技術勉強会①－１】

今回は４名の参加でした。新型コロナウイルス感染症拡大の中での開催となり、参加者同士の実技

は行わず講義をメインに進めましたが、参加者の方からの質問も多く出され、内容等に関してはおおむね満足との意見でした。

開催時間については介護予防勉強会同様午前中を希望される方もおり、午前開催の検討もしていく必要があると感じています。

介護技術は体験して気づくことも多いため、接触のないかたちでの体験を入れることで講義のみよりも参加者の方もわかりやすくなったと思われます。今後も感染予防の観点から接触のある実技の実施は難しいことも考えられるため、接触のないかたちでの実技の体験が多く行えるよう工夫していく必要があると感じました。

【介護技術勉強会①－２】

今回１０名の参加でした。開催の日時や時間については概ね現状の開催で満足であるとの回答でした。

内容・プログラムについては満足の回答が多く、わかりやすかった、勉強になったなどの良い意見もありました。２名から少し物足りなかったとの意見もありましたが、理由として、介護技術勉強会という内容のため、この新型コロナウイルス感染症拡大の中で実際の介助方法の実技・練習ができなかったことが原因と考えられます。

今後は感染予防を図りながらも、参加者の方が動き等を実感できるような内容が提供できるよう工夫していけるとよいと感じました。

【介護技術勉強会②－１】

今回７名の参加でした。日程については土曜日がよいという回答が２件あり、働いている方にとっては平日よりも土曜日のほうが参加しやすいと思われます。開始時間は１３時～１４時の間で、開催時間は１時間半～２時間がよいとの回答となり、現在の開始時間・開催時間が受け入れられているようでした。プログラムの内容や対応については、やや難しいの回答もありましたが、おおむね満足していただけました。

感染予防対策のため参加者同士が直接接触する実技は行いませんでしたが、車いすに乗る体験を入れることで、車いすに乗る人（介助される人）の目線を経験でき、気づけたことがあったとの意見がでており、やはり講義だけでなく実際の体験は参加者の方にとって有意義になると感じました。今後も参加者の方が参加してよかったと実感できるような内容を考えていきます。

【心も体もリフレッシュしよう（ＯＴ）①】

感染防止と目的地の閉所・人数制限の為、バス旅行を作業療法士による教室に変更して開催しました。バス旅行申込者のうち８人の申込者となり、障害をお持ちの方がバス旅行の人気があることが改めて分かりました。

教室参加者からは、日程や内容含め満足の評価をいただきました。訓練士ならではの専門的視野と充実したカリキュラムが高評価に繋がったと考えられます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により活動や交流を自粛されてた方々に、リフレッシュの機会を提供できたようです。

今後も様々な障害をお持ちの方々に喜ばれる企画を立てていきます。

【心も体もリフレッシュしよう（ＯＴ）②】

プログラム、内容については概ね満足いただけたようです。今回は、新型コロナウイルス感染症感染防止の点から、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保っての活動となりました。当日の暑さやマスク着用しての運動となることを考慮し、運動負荷を軽めに設定して活動を行いました。アンケートでは４０％弱の方から、内容が簡単だったとのご指摘をいただきました。今後の課題として、事前に行うことをある程度決めておきながらも、その場の参加者の運動の様子や疲労度を確認しながら臨機応変に難易度の調整を行います。講座を増やして欲しいとのお声もあり、講座で行う内容を再考し、よりご満足のいただけるような講座の実施を考えていきます。

社会適応訓練事業総評

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「聞こえにくくなった方の勉強会」は応募がなく開催に至りませんでした。しかし、自宅で過ごす時間が長い生活が続く中でも活動量が下がらないように自宅でもできる運動の紹介と体験ができる「介護予防勉強会」、作業療法士による「体も心もリフレッシュしよう」や「介護技術勉強会」を開催しました。

「介護予防勉強会」、「体も心もリフレッシュしよう」、「介護技術勉強会」共に内容について概ね満足の評価をいただきました。内容の難しさでは「やや難しい」の意見もあり、幅広い参加者の方によりわかりやすい説明ができるように努めていきます

・創作的活動、ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ事業

【音楽療法】

令和２年度の音楽療法は、感染症拡大防止の為に２クラスに分け隔回で実施し、飛沫感染を回避するため歌唱は行わず、音楽を聴いて気持ちや身体の変化を感じ内面にアプローチする受動的音楽療法を取り入れました。

開催曜日時間内容については概ね満足の回答をいただきました。

ご意見の中には、満足のご意見とともに「声を出したい」「物足りない」という意見がありました。毎年音楽を楽しみに参加して下さっている皆様の気持ちをありがたく受け止め、安全に教室を楽しんでいただけるように今後も対応していきます。

【陶芸】

開催日時や内容については概ね好評をいただくことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、陶芸ボランティアの廃止や対面席からスクール形式への変更、利用者を半分にした２部制で行いました。レイアウトの変更や２部制にしたことについてご意見をいただきました。

次年度も安全に十分配慮しながら出来るサービスを講師と相談して運営していきます。

【絵手紙】

毎年、新規の方やリピーターの方にお申込みいただく絵手紙教室。令和２年度は感染症感染拡大防止の為、会場や配置を変更しました。

開催日時については概ね満足いただけたようです。

内容については、満足の声を多くいただいたが、「イメージと違った」と思われた方もいらっしゃいました。これまでの、対面のグループ席でお話をしながら行える教室とは異なり、対面を避けご利用者同士の距離を取った配席にしたことで、ご利用者間のコミュニケーションや情報交換、助け合いが出来ない環境になったことも、新規参加の方に不安な思いや、教室への期待に沿えなかった感想を頂いた要因だったのではないかと考えられます。次年度に向け、感染症拡大防止の対策を取りながら新規参加の方が安心して参加出来る方法を、講師と協力しながら検討します。

【パソコン】

令和２年度も初参加の方とリピーターの方から定員を上回るお申込みを頂くことが出来ました。

内容については、概ね満足のご意見を頂くことが出来ました。

ふれあいの家の教室は、はじめての方向けの教室を開催することにより社会参加の機会を提供する役割を担っています。教室に参加したことで、レベルアップの希望や他のカテゴリーへの興味関心を持たれたのであれば、お役に立てて良かったと思います。今後も初めてパソコンを習いたい方に受けていただける教室にしていけるように講師と協力し運営していきます。また、平日開催やスマホやタブレット学習、名刺作り等については、短期教室での開催を検討し、お声に答えていきます。

【書道】

毎年新規の方やリピーターの方で定員に近い申込のある書道教室。

令和２年度は感染症感染拡大防止の為、用具持参のお願いや、講師の近距離での指導を中止しました。

ご利用者からは概ね高評価を頂くことができました。

ふれあいの家がはまのわに移転し部屋が広くなったことで、感染症対策をとりながらも、ご利用者の方にこれまでに近い環境を提供できていることが、評価に繋がったのではないかと考えられます。

作品の制作を楽しんで頂くとともに、出来た作品を披露することについてもご負担のない範囲でお願いしていきます。

【組紐】

組紐教室について、開催日時や内容について令和２年度も高評を頂くことが出来ました。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症症拡大防止の為、人数と回数の変更をしたことについて、物足りなかったとのお声をいただきました。活動についてのご意欲もありがたくいただき、ご利用者の安全に十分配慮しながら提供できるサービスを講師と相談し運営していきます。

【アートＤＥふれあい】

毎年参加されている方が多い中、令和２年度も教室の開催日時や内容について概ね満足の回答を頂くことができました。

次年度も、参加された方にご満足いただけるカリキュラム編成を講師と相談して企画していきたます。

【ふれあいレク】

令和２年度のふれあいレクは、感染症防止のため２クラスに分け隔回で開催しました。

内容については、タオルや棒など身近にあるものをつかったストレッチ体操を取り入れ概ね満足の回答をいただきましたが、回数が減ってしまったことや共用物の活動を控えたため風船バレー等のゲームが出来なかったことについてご意見をいただきました。

来年度も感染症に配慮しながら、ご利用者が楽しくふれあいレクの時間に参加できるように講師と協力して行っていきます。

【卓球】

令和２年度の卓球教室は、感染症防止のため２クラスに分け隔回で開催しました。

内容については概ね満足の回答を頂いたが、開催回数が減ってしまったことや、順番待ちの時間は空いている台でプレーしたいなど卓球台共用範囲拡大への要望、マスク着用の運動のための休憩時間の設定についてご意見をいただきました。

来年度も感染症防止対策についてご利用者に適時説明しご理解いただきながら、利用者が楽しく卓球を学べるように講師と協力して行っていきます。

【ボッチャ】

令和２年度のボッチャ教室は、感染症防止のため２クラスに分け隔回で開催し講師は臨時的に変更しました。

内容について概ね満足のご意見をいただくことができました。

来年度も、感染症に配慮しながら、ご利用者が楽しくボッチャを学べる教室運営を講師と協力して行っていきます。

【ＳＴＴ】

教室の開催日時については満足頂いているが、内容について様々な回答をいただきました。

ふれあいの家の福祉教室の開催目的や運営方針について、丁寧に説明することを継続し、障害を持たれた方の社会参加の機会となり、仲間やサークル作り等につなげていただけるように働きかけていきます。

創作的活動、ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ事業総評

「絵手紙」、「卓球」、「STT」の３教室では定員割れをしましたが、その他の教室では充足率100%以上となり抽選を行いました。今後も全ての教室が充足率100%となるように市政だより、館内掲示、職員や知人からの情報、他施設やホームページなど多くの媒体を活用していきます。

創作活動、スポーツレクリエーション事業とも内容や講師の満足度は「とても満足」、「満足」合わせてそれぞれ72%～100%、79%～100%と高評価をいただきました。「音楽療法」、「絵手紙」、「卓球」では内容に「物足りない」と意見をいただき、その他の教室についても「少し難しい」の回答があり、今後更に熟考を重ね、一人一人に合わせたきめ細かな対応や充実した内容の提供ができるように努めていきます。

創作的活動では感染予防対策として部屋の場所や配置を変更して開催しましたが、会場の満足度は90%以上と高評価をいただき、活動のしやすさと感染予防対策の工夫についてご理解をいただけたと考えられます。

・障害者福祉センター交流会

【ボッチャ大会】

令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残念ながら中止となりました。

・ボランティア養成事業

【要約筆記講習会】

緊急事態宣言中の募集と、解除後は感染症拡大や自粛傾向により、受講者の募集と積極的な参加を促すことが難しかったです。

受講生からは、「少し難しい」が「参加してよかった」「機会があればまた参加したい」と高評をいただきました。新型コロナウイルス感染症感染予防のため、一部行うことができなかったものもありましたが文字で伝えるためのルールやコツそして中途失聴・難聴者にとって要約筆記が如何に大切かということは理解していただけたようです。

本講習会は、障害を理解してもらうことが難しいといわれる中途失聴、難聴者が身近にいない方にとって、新しい発見や学びが多いようです。当事者の方や、現役で活躍している要約筆記者の講師から生の講義を受けることができる、有意義な講習会だったことが高評価に繋がっていると考えられます。

今後も千葉市中途失聴・難聴者協会と連携し、「興味」をきっかけに、中途失聴者や難聴者、要約筆記への理解を深めてくださる方や要約筆記者を目指す方が増えるよう運営していきたます。

【初級初級講習会（木曜日）】

令和２年度の手話講習会は、体温、体調チェックをはじめ、フェイスシールドの着用必須とマウスシールドの推奨を促す等、感染症感染防止対策を取って開催しました。

木曜日コースは９５％の出席率と「とてもよかった・よかった」と評価をいただきました。

感染症流行期において、マスクを着用しなければいけない生活になりました。表情や口形が見えなくなることでいかに聴覚障害者が日常生活に不便さを感じているか、そして、周囲が「書く」「口形を見せる」など工夫・サポート出来ることを、ろう講師と出会うことで生の声を聞き、多くの方が現実として考え、「聴覚障害をお持ちの方に会ったらサポートをしよう」「手話をもっと学ぼう」という意識を持たれた機会になったと考えます。

また、例年に比べ、感染症感染防止対策として、参加者同士の距離を取るために定員を減らしたことは、講師側から「一人ひとりへ丁寧に教えることができた」「教えやすかった」との声をいただきました。また受講生からも「少人数で良かった」「ひとつひとつ丁寧に教えてもらえた」「行き届いた環境だった」と感染症対策も含め行き届いた環境に好評をいただきました。参加者一人一人の充足か、多くの方に参加してもらうことを優先するのか、判断は難しいが、皆様が安全且つ有意義に学びの機会とボランティアや障害への理解を広げる機会を設けられるように、千葉市聴覚障害者協会と協力しながら今後も運営していきます。

【初級手話講習会（土曜日）】

令和２年度の手話講習会は、体温、体調チェックをはじめ、フェイスシールドの着用必須とマウスシールドの推奨を促す等、感染症感染防止対策を取って開催しました。土曜日コースは８５％の出席率と多くの方から「とてもよかった・よかった」と評価をいただきました。

新型コロナウイルス感染症感流行期において、マスクを着用しなければいけない生活になりました。表情や口形が見えなくなることでいかに聴覚障害者が日常生活に不便さを感じているか、そして、周囲が「書く」「口形を見せる」など工夫・サポート出来ることを、ろう講師と出会うことで生の声を聞き、多くの方が現実として考え、「聴覚障害をお持ちの方に会ったらサポートをしよう」「手話をもっと学ぼう」という意識を持たれた機会になったと考えます。

また、例年に比べ、感染症感染防止対策として、参加者同士の距離を取るために定員を減らしたことは、講師側から「一人ひとりへ丁寧に教えることができた」「教えやすかった」との声をいただきました。また受講生からも「少人数で良かった」「ひとつひとつ丁寧に教えてもらえた」「行き届いた環境だった」と感染症対策も含め行き届いた環境に好評をいただきました。参加者一人一人の充足か、多くの方に参加してもらうことを優先するのか、判断は難しいが、皆様が安全且つ有意義に学びの機会とボランティアや障害への理解を広げる機会を設けられるように、千葉市聴覚障害者協会と協力しながら今後も運営していきます。

【中級手話講習会（木曜日）】

令和２年度の手話講習会中級は、初級同様体温、体調チェック、間隔を取った席の配置、フェイスシールドとマウスシールド着用を促し、感染症感染防止対策と聴覚障害をお持ちの方とのコミュニケーション方法を取って開催しました。

内容について、「満足」「また参加したい」と高評価を頂くことができました。

１クラスの人数を少人数にしたことで、より丁寧な指導が出来たことも要因と考えられます。

中級のカリキュラムには、災害時や道案内、体のことなど、聞こえない方の理解やコミュニケーション方法で知っておいたほうがいいことが盛り込まれており、受講生は「自分ごと」としてとらえ学んでくださったようです。

次年度も千葉市聴覚障害者協会と協力し、聴覚障害者の理解と手話を広げていきます。

【中級手話講習会（土曜日）】

令和２年度の手話講習会中級は、初級同様体温、体調チェック、間隔を取った席の配置、フェイスシールドとマウスシールド着用を促し、感染症感染防止対策と聴覚障害をお持ちの方とのコミュニケーション方法を取って開催しました。

内容について、「満足」「また参加したい」と高評価を頂くことができました。

１クラスの人数を少人数にしたことで、より丁寧な指導が出来たことも要因と考えられます。

土曜コースは、木曜日コースに比べ年齢層が若く仕事をしている方が多く、「職場で使いたい」「聴覚障害の子どもたちに勉強を教えたい」など、講習会修了後具体的に、聴覚障害をお持ちの方に接する機会が多そうです。ぜひサークルや養成講座に繋がっていただき、学ぶ仲間や聴覚障害をお持ちの方と一緒に活動していただけたらと思います。

次年度も千葉市聴覚障害者協会と協力し、聴覚障害者の理解と手話を広げていきます。

【応用手話講習会（木曜日）】

受講生の「もっと手話を学びたい」という要望と、千葉市聴覚障害者協会からの「ボランティアや手話通訳者を増やしたい」という要望を受け、ろう講師との手話コミュニケーションを主にした、サークルや手話通訳者養成講座に繋がる講習会を発足しました。

定員を超える応募をいただき、「よかった」「また参加したい」の意見を多くいただきました。

内容については、難しいと感じる方もいたが、健聴講師の通訳に頼る初級・中級と異なり、主体的に聴覚障害の方とのコミュニケーション技術を学べたようです。講習会修了後は、サークルへの入会予定の方や「養成講座に進みたい」との声もいただきました。

次年度の開催も聴覚障害の理解やボランティア啓発が出来るように、千葉市聴覚障害者協会と連携していきます。

【応用手話講習会（土曜日）】

受講生の「もっと手話を学びたい」という要望と、千葉市聴覚障害者協会からの「ボランティアや手話通訳者を増やしたい」という要望を受け、ろう講師との手話コミュニケーションを主にした、サークルや手話通訳者養成講座に繋がる講習会を発足しました。

定員を超える応募をいただき、「よかった」「また参加したい」の意見を多くいただいきました。

内容については、難しいと感じる方もいたが、健聴講師の通訳に頼る初級・中級と異なり、主体的に聴覚障害の方とのコミュニケーション技術を学べたようです。講習会修了後は、サークルへの入会予定の方や「養成講座に進みたい」との声もいただきました。

次年度の開催も聴覚障害の理解やボランティア啓発が出来るように、千葉市聴覚障害者協会と連携していきます。

【音訳講習会】

昨年度までの反省を生かし、令和２年度は「声の市政だより音訳講習会」とし、視覚障害をお持ちの方への音訳に関する講習会と分かりやすいように明記し募集したことで、「”読み聞かせ”や”朗読”と思った」との感想はなく、視覚障害をお持ちの方への情報保障の必要性や専門的な手法を皆さんに目的を持って学んでいただけたと感想から考察することができました。

テキストの配布方法やバランスなど、頂いたご意見を参考に、よりよい講習会が開催出来、音訳ボランティアや視覚障害についての理解が広げられるように、声の市政だより協力会と協力して運営していきます。

ボランティア養成事業総評

各講習会共に内容は難しいと感じる方もいましたが、「とてもよかった」、「よかった」の回答を合わせると 90%を超える数字となり、「また参加したい」、「機会があれば参加したい」との回答も 80%以上で受講者の方から高評価をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中で１部屋の参加人数を少なくして開催したことにより、講師、受講者の方双方とも「一人ひとり丁寧に教えることができた」、「一つ一つ丁寧に教えてもらえた」と好評

をいただきました。

令和２年度は自粛傾向により地域やコミュニティセンターへの積極的な周知が十分にできず、開催を知った媒体が例年以上に市政だよりが大部分を占める結果となりました。来年度以降も新しい生活様式の中で多くの方にボランティア養成事業を知り、応募していただけるように様々な広報、啓発に取り組んでいきます。

・ふれあいミニフェスティバル

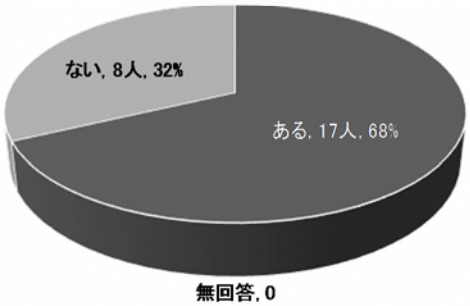
第11回　ふれあいミニフェスティバルアンケート

日時：令和3年2月20日（土）、2月21日（日）　場所：千葉市療育センター分館　はまのわ

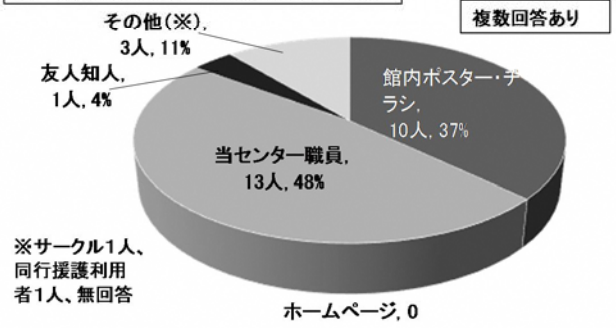
アンケート回答枚数　　25　枚

集計結果

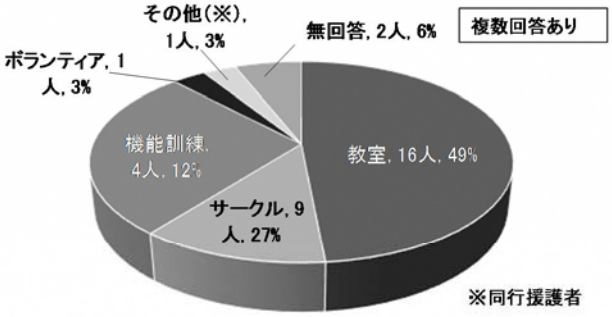
1. 障害者手帳はお持ちですか



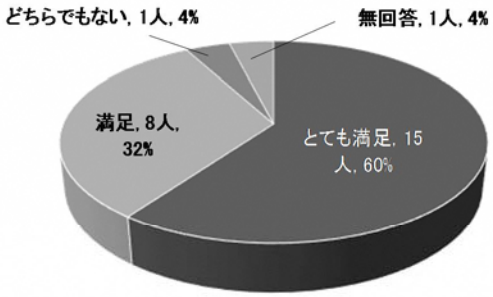
2. 今回の催しを何で知りましたか



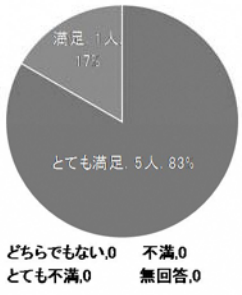
3. 当施設をどのように利用されていますか



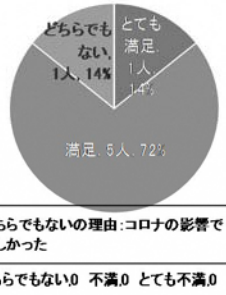
4. 本日参加したｲﾍﾞﾝﾄはいかがでしたか（全体）



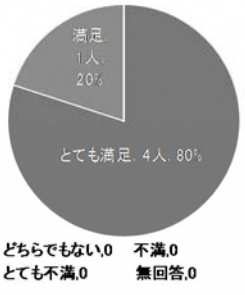
フラワーアレンジ



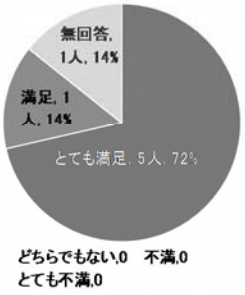
千葉の民話



サンキャッチャー

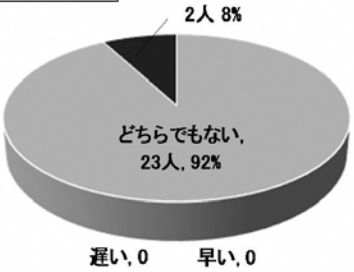


マスクケース

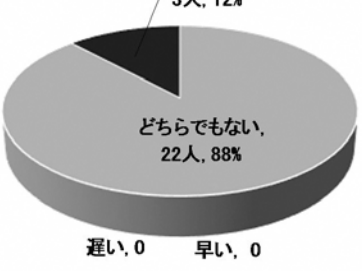


5. 開催時間はいかがでしたか

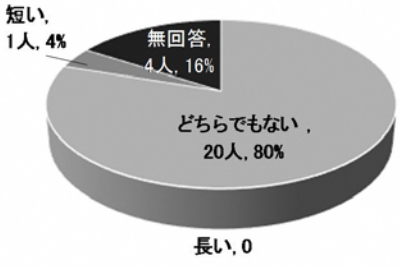
開始時刻



終了時刻



全体時間



ふれあいミニフェスティバル総評

令和２年度はコロナ禍にあり、また緊急事態宣言中であったため、感染リスクの軽減のため、参加対象者を通常時にふれあいの家を利用者されている方に限定したため、アンケートの回答数が大幅に減少しました。

参加された方からはフェスティバル、作品展共に「とても満足」、「満足」が 82%、93%と高評価をいただきました。しかし、作品展では「一切触れられない、見えない」ととても不満や、点字での紹介もあったほうがよかったとの意見をいただき、視覚障害者の方への配慮が足りませんでした。障害の種別に関係なく多くの方が楽しめる工夫を検討していく必要があると感じました。

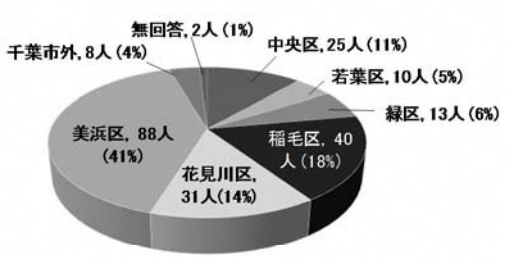
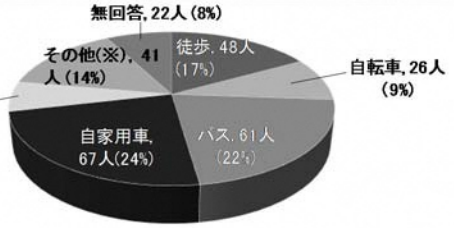
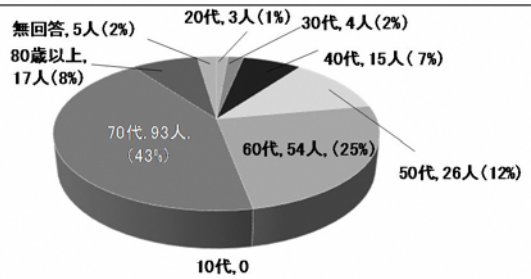
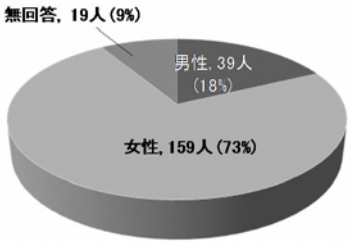
■　利用者満足度アンケート

令和2年度　ふれあいの家利用者満足度アンケート集計結果報告

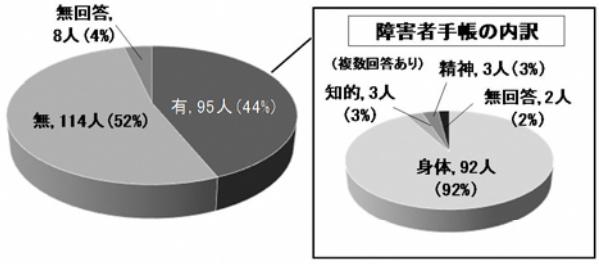
1. 目　　的 ： 当施設の利用状況及びニーズの把握をする事により、
　　施設サービスの向上を目指すため。
2. 実施期間 ： 令和3年1月5日（火）～2月28日（日）
3. 対　　象 ： 当施設の全利用者（家族・ボランティアを含む）

配布枚数 ： 305 件

回答件数 ： 217 件 （|（回答率　71. 1%）

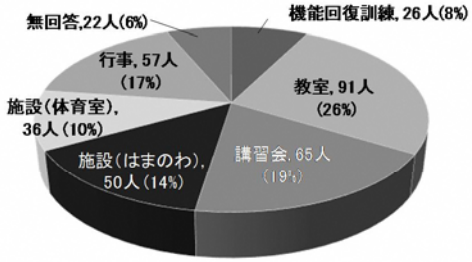
集計結果	考　　察
住まい 	「住所」構成は、各区前年度とほぼ変動ありません。近隣地域の利用を活性化するとともに、多くの広報媒体を活用し、他区からの利用者増加にも努めます。
来所方法（複数回答可）  ※電車35人 車椅子2人、友人の車1人、モノレール1人、福祉有償運送1人、無回答1人	「来所方法」の構成は前年度と変動ありませんが、昨年と比べ回答数が減っている為に全体の数字は下がっています。自家用車の割合が一番多いことから、駐車場完備の当施設を有効利用していただいてることが考察できます。
年齢 	「年齢」構成は前年度より70代、80歳以上が増加し、60歳以上の方が多くいらっしゃいます。教室やサークル活動にとても熱心に取り組んで頂いております。30代、40代の若い世代については昨年に比べ減少しているので、若い世代の方にも来ていただける施設を目指していきます。
性別 	昨年同様、7割が女性。男女ともに大きく変わりはありません。教室やボランティア活動など男女共に多くの方に参加頂きました。今後も参加したいと思って頂けるような教室や講習会などの事業展開をしていきます。

障害者手帳を持っていますか



利用者の「障害者手帳」所持割合は手帳ありの数が減少しました。期間中、新型コロナウイルスの影響により教室、サークル活動の自粛・中止があった為と考えられます。障害のある方の社会参加、生きがいづくりを支援すると同時に、ボランティアの養成や活動拠点、近隣住民との交流など、地域資源として活用されるよう努力して参ります。

ご利用いただいている事業は何ですか　（複数回答可）

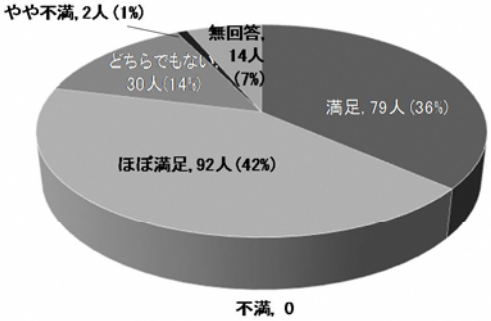


「利用事業」の割合は新型コロナウイルスの影響で体育室の利用が前年に比べ減りましたが、その他の利用状況はほぼ変わりありません。

◆ご利用になってみての満足度◆

1. 館内掲示・広報紙等により情報が適切に行き届いている

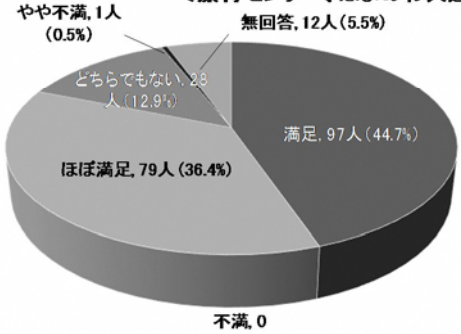
＜療育センター、はまのわ共通＞



「情報が適切に行き届いている」について、「満足」、「ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ同じですが、「ほぼ満足」の割合は3%増加しました。今年度はコロナウイルスで事業の開催が難しい中でもできる限りの内容、対策を考えて行えたことが要因だと思います。感染症防止対策の案内など、当施設をご利用頂く方全員に郵送対応しました。事業案内、利用案内を適切な方法（掲示、ホームページ、新聞広告）適切な場所（地域、コミュニティセンター、病院、学校など）適切な時期に継続して引き続き多くの方に周知できるよう広報活動に努めます。

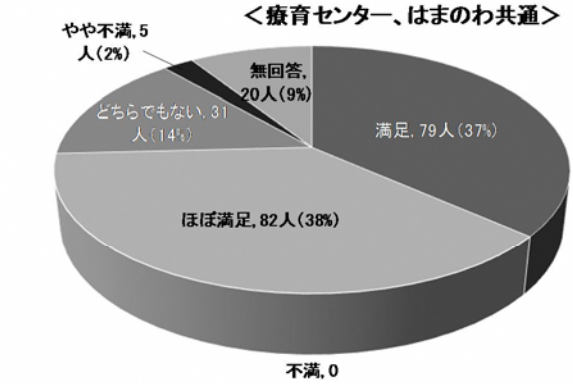
2. 都合のよい時間に利用できている

＜療育センター、はまのわ共通＞



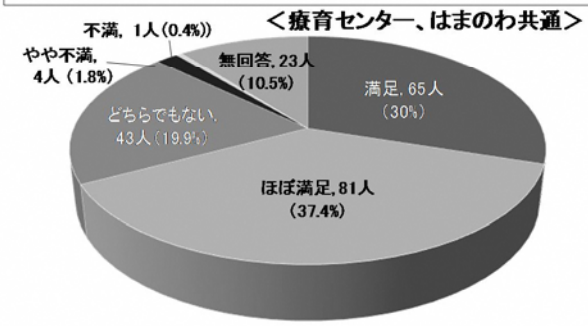
「都合の良い時間に利用」について、「満足」、「ほぼ満足」の割合が81%と前年度より5%減少しました。主催事業は、利用者の体調、特性に応じた利用時間の設定と、曜日に偏りのないよう考慮し、貸出は公平性を維持しつつ、利用者の要望に応じて対応します。

3. 利用にあたっての手続きが簡単である



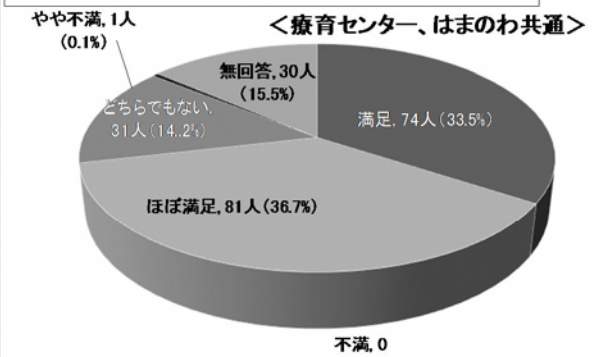
「利用手続き」について、「満足」「ほぼ満足」の割合が75%と前年度より3%増加しましたが、「満足」の割合が4%減少しました。　　年間仮予約により、継続利用団体の利便性は確保できていますが、不定期に利用する団体、土・日曜日の体育館利用については、都度の申請をいただいています。今後も公平丁寧な対応により利用者の理解をはかります。

4. 利用したいと思う事業（教室・行事など）が行われている



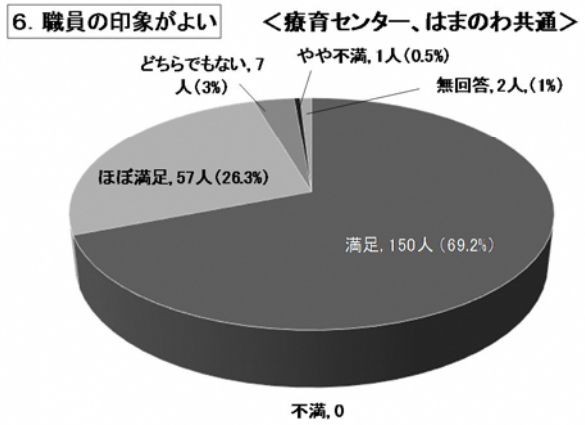
「利用したいと思う事業」について、「満足」「ほぼ満足」の割合が67%と前年に比べ6%増加しました。新型コロナウイルスの影響で今年は料理教室等の短期教室の開催が出来なかった中での増加です。来年度は引き続き感染予防を行いながらも、料理、スポーツ、創作活動などの教室やボランティア活動の継続・発展を支援する講座など魅力的な事業を開催し、より満足度が上がるよう努めます。

5. 利用している事業（訓練・教室など）により成果を得ている



「事業により成果を得ている」について「満足」「ほぼ満足」の割合が70%で前年度と同じですが、「満足」の割合が4%減少し「ほぼ満足」の割合が4%増加しました。継続して利用いただいてる訓練・教室利用者に対しても、目的を明示し、より成果を感じて頂けるよう実施します。

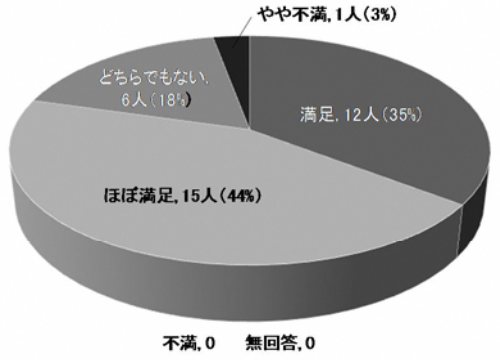
6. 職員の印象がよい



「職員の印象」について、「満足」「ほぼ満足」の割合が95%で前年度より5%増加しましたが、やや不満の回答が1件ありました。不満の回答をなくすよう、日々の窓口対応や相談対応、ご意見に真に向き合い満足100%を目指します。

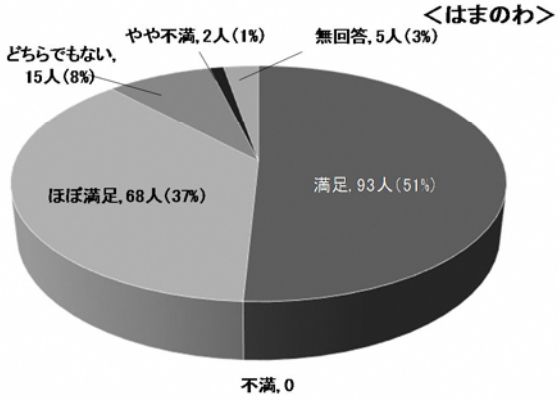
7. 設備や備品が充実している

＜療育センター＞



「設備や備品」について、体育室では「満足」「ほぼ満足」の回答を79%の方から頂きました。引き続き、備品については不足がないよう対応していきます。

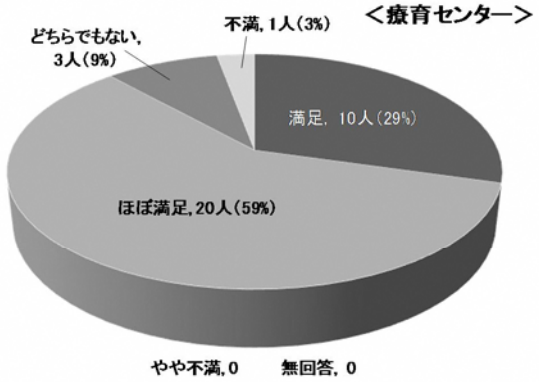
＜はまのわ＞



「設備や備品」についてはまのわでは「満足」「ほぼ満足」の回答を88%の方から頂きました。引き続き、備品については不足がないよう対応していきます。

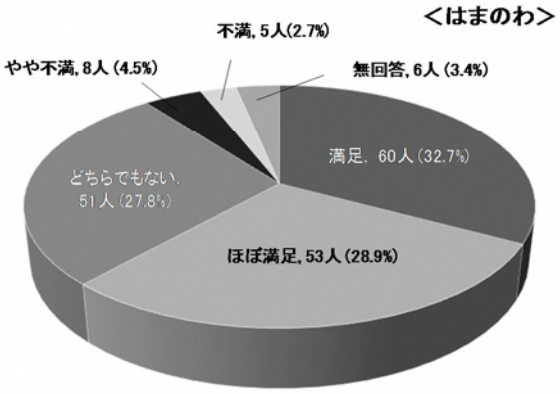
8. 公共交通機関や車での来館が便利である

＜療育センター＞



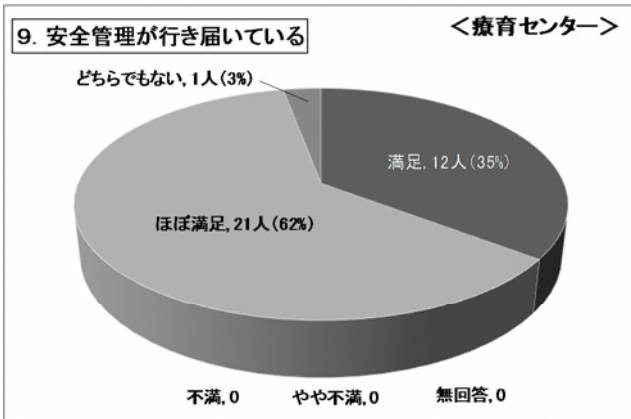
「来館が便利」について体育室では、「満足」「ほぼ満足」の割合が88%と前年度に比べ27%増加しました。交通の便や駐車場の利用については今後もご理解いただけるよう丁寧に説明をしていきます。

＜はまのわ＞

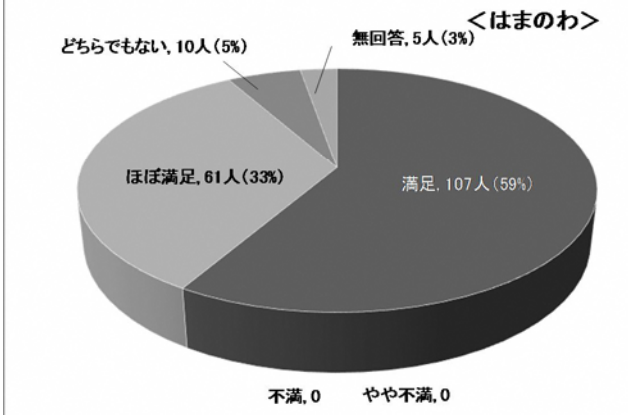


「来館が便利」についてはまのわでは「満足」「ほぼ満足」の割合は前年に比べほぼ変わりありません。徒歩、公共交通機関の利用者にとっては駅からの遠さなど不便を感じる方もいらっしゃると思いますが、今後もご理解いただけるよう丁寧に説明をしていきます。

9. 安全管理が行き届いている

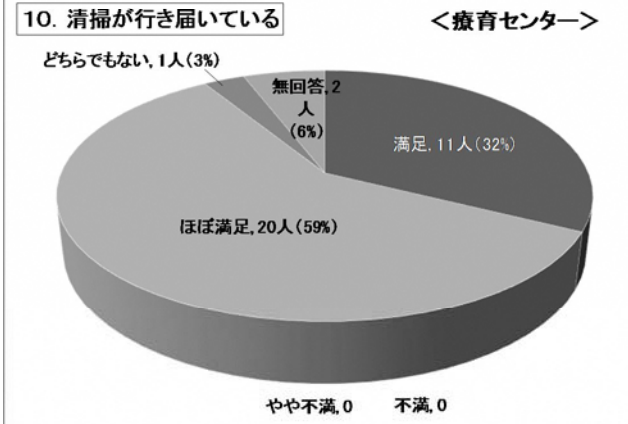


「安全管理」について体育室では「満足」「ほぼ満足」の割合が97%と前年度よりも高評価をいただいております。皆様に信頼して頂けている事も評価に繋がっていると考えます。引き続き、防災・防犯管理体制に努めます。

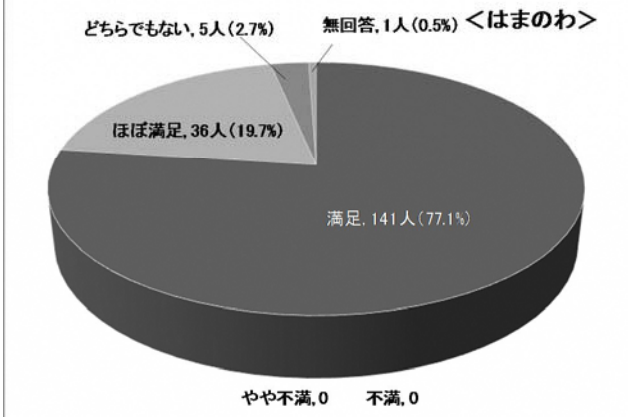


「安全管理」についてはまのわでは「満足」「ほぼ満足」の割合が92%と前年度より8%増加しました。防災訓練やヒヤリハット事例の職員間での共有などと共に、各教室での避難経路、消火器具の案内など分かりやすいように掲示し、防災・防犯管理体制に努めます。

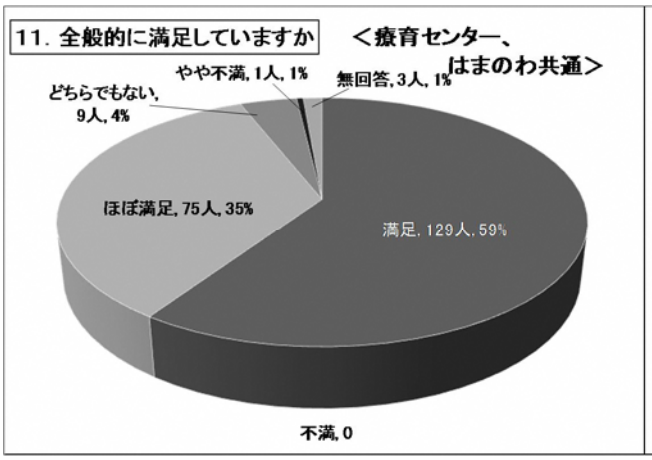
10. 清掃が行き届いている



「清掃」について療育センターでは「満足」「ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ変わりありませんが、「満足」の割合は13%減少しました。日常より清掃員が徹底して清掃を実施しておりますが、引き続き皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めてまいります。



「清掃」についてはまのわでは「満足」「ほぼ満足」の割合が96%と非常に高い評価をいただきました。日常より清掃員が徹底して清掃を実施しておりますが、トイレや教室などを汚してしまった際は遠慮なくお申し出頂きたくお願いします。



「全般」について「満足」「ほぼ満足」の割合は94%と非常に高い高評価をいただいており、前年に比べ4%増加しました。「どちらでもない」「やや不満」の割合も減少しています。今年度はコロナウイルスの影響で閉館となり事業が行えなかったり、感染防止対策にご協力頂くなどして皆様にご迷惑をおかけする事も多々あったかと思いますが、今後も改善を続け、職員一同より満足していただける施設づくりを目指していきます。

満足または、ほぼ満足（5～4点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
・掃除が館内（トイレ含む）で大変行き届いており、衛生的。最近はコロナに対しても安心していられる。 **⇒引き続き、感染予防対策に努めます。**	9
・洗面所が綺麗で使用するのが楽しみな位。トイレがどこも綺麗に掃除されている。	4
・コロナの時でも安心して楽しく行ける。 細かな心配りに感謝。	3
・エレベーターやトイレが広く、手すりも付いていて、静かで落ち着く。	
・環境がとても良く、設備がまとまっていて良い。	
・付き添いで来館している。待ち時間も気持ち良く過ごすことが出来てありがたい。	
・とても利用しやすい。	
・いつもお世話になっている。明るく、綺麗な環境を作ってくれてありがとう。	
・コロナ禍で規制がある中、私達の為に様々な工夫をしてくれてありがとう。	
事業についての意見	**同様の意見**
・この世情の中、講習会を開催してもらった事、大変ありがたい。職員にも同様に思っている。	
・申し込みはインターネットでOK、入館から教室の準備まで大変良く、コロナ対策も徹底されていて良いと思う。（手話講習会）	
・土曜日開催の教室があって助かる。もっと増えると嬉しい。 **⇒開催日時については、より多くの方にご参加頂けるよう、今後も検討して参ります。**	
訓練についての意見	**同様の意見**
・リハビリも会話も楽しみ。来館する日が来るのをカレンダーを見ながら楽しみにしている。	
・いつも健康に留意してもらい（血圧その他）、リハビリも会話も楽しみにしており、感謝している。	
・教えてもらいたかった事が全てあったので、ありがたかった。	

職員についての意見	同様の意見
・対応がとても丁寧。感じが良い。 **⇒ありがとうございます。引き続き丁寧な対応を心がけていきます。**	8
・いつも笑顔で明るく、解らない事も的確に説明してくれて大変助かる。	1
・親切で優しいので、心が明るくなる。	
・電話の対応等、丁寧で気持ちがいい。	
・サポートが行き届いていて、ありがたい。	
・誰しもが挨拶を返してくれる。	
・指導員が親切で丁寧。笑顔が良い。気軽に声を掛けてくれるので嬉しい。	
施設貸出、予約についての意見	**同様の意見**
・使いたい機器を貸してもらい、ありがとう。	
・いつでも貸してもらえる、どんな時にも親身になって対応してもらえる安心感がある。ありがとう。	
その他の意見	**同様の意見**
・職員、講師、サークルの方々が皆感じが良く、親身になって下さり、嬉しい。	
・講習会（手話）で学んだことを何らかの形で社会に還元したい。 **⇒当施設で学ばれたことを是非、多くの場で発信して頂けると幸いです。ありがとうございました。**	

不満またはやや不満（2～1点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
・バス停まで遠く不便。自動車での来館を制限しないで。 **⇒ご不便おかけしており申し訳ございません。当施設は障害をお持ちの方に優先的に駐車場をご利用頂いてる為、ボランティアの方には公共交通機関のご利用にご協力を頂いております。**	1
事業についての意見	**同様の意見**
・講習会や映写会でプロジェクターを利用している。レンズに水滴が付いているのか、画面の一部が曇り、皆様に見づらいかなと思っている。 **⇒ご不便おかけしており申し訳ございません。新しいプロジェクターを購入しましたのでご利用下さい。**	
職員についての意見	**同様の意見**
・男性職員が鼻を出してマスクをしているのが気になった。しっかりマスクを着用して欲しい。もう少し人と離れて話をした方が良いと思う。 **⇒ご迷惑をおかけしており申し訳ございません。今後はしっかりと感染症予防対策に努めます。**	

ご意見・ご要望

事業についての意見	同様の意見
・近くに住んでいてもどのような活動をしているのか、よく分からない。広報が必要では？ **⇒当施設の事業は市政だよりやふれあいの家のHPに載せております。ご確認いただけると幸いです。また、年に一度地域の方も招いたお祭りイベントのふれあいファスティバルを開催し（今年度は自粛）広報活動を行っておりますが、今後も密に情報を伝えていける様に努力いたします。**	
・STTを早く再開させて欲しい。（体育室貸し出し） **⇒緊急事態宣言中は運動系の事業を中止しております。宣言が明け次第、再開予定です。**	
・教室が偶数週に集中しているので、もう少し離れていたらと思う。 **⇒開催日に関しては講師の予定やサークルへの部屋貸出の状況を踏まえ今後も職員で検討しながら開催していきます。**	
・作品作りでは作業が遅れがちなので焦ってしまう。細かく目配りしてサポートしてもらいたい。 **⇒教室内には見守りで職員がおります。お困りの際は職員へ遠慮なくお声かけ下さい。**	
・全ての教室でトイレ休憩が必要だと思う。 **⇒講師、職員も理解しております。障害状況がそれぞれ異なりますので、各自タイミングをみてトイレ休憩を取っていただいて構いません。**	
・たくさんの事をお話いただき、ありがとう。教室で歌が歌える事を楽しみにしている。（音楽療法教室）	
・ヨガ教室を入れて欲しい。 **⇒ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。**	
・英会話教室があると良い。 **⇒ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。**	
・スマホ教室を開いて欲しい。 **⇒ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。**	
・コロナ収束時には実技体験の機会を増やして欲しい。（手話講習会） **⇒ご意見ありがとうございます。講師ともご要望を共有し、今後の参考にさせていただきます。**	
・講習会を市政だよりで知り、受講。自身はそろそろ募集があるだろうと気にかけていたが、うっかりすると気付かない事もあるのではと思う。（点字講習会） **⇒ボランティア講習会の開催を年間でまとめたものを館内で配布しております。参考にして下さい。**	
・リハビリの期限が切れるのが寂しい。ずっと来館したい。 **⇒医師の処方の元、リハビリを提供させていただいております。訓練期間終了後も、困ったことがありましたら、いつでもご相談ください。**	

・**施設運営関係**「ふれあいの家　利用者満足度アンケート」

満足度については、「満足」、「ほぼ満足」の割合が全般で 94%、設問別においてもほとんどの項目で 75～96%と高い評価をいただきました。

「事業による成果」や「利用したい事業」についての満足度はそれぞれ 67%、70%とほかの項目に比べやや低い評価でした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、教室の人数制限を行ったために 1 人当たりの参加回数の減少、料理教室などの短期講座が行えなかったことが要因として考えられます。しかし昨年度に比べると満足度は増加しており、コロナ禍においても感染対策を講じながら、できる限り教室を開催できたことを評価していただけた結果だと考えられます。

来年度も感染対策を徹底しながらも、利用者の方に満足していただけるような魅力的な教室を開催していけるように努めていきます。

５　管理経費の縮減

（１）基本的な考え方

療育センターの管理運営実績に基づき、可能な限り経費を縮減し最小限の経費でより効果的・効率的な施設運営を実践し、市民に対し良質なサービスを提供しました。

主な管理経費の縮減（内容、実績）

単位：円

支出科目	内容	予算額	執行額	差額
水道光熱費支出（内、電気料金）	療育センター本体の電気料金において、電気会社を入札により改めることで経費の削減を行いました。前年度の実績（１０，１１０，５２６円）より約１３．８％、予算額に対して約２１．４％抑えることができ、水道光熱費支出の内、電気料金の縮減ができました。（はまのわを除く）	11,086,696	8,716,545	2,370,151

６　年度の総括（評価）

ア　療育相談所

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、診察室や各個別指導室において換気や消毒の徹底、ご利用者様へ検温や消毒のご協力、窓のない部屋など換気が十分に行えない部屋に使用制限を設けるなど、感染予防対策に努めながら事業を実施しました。

その結果、部屋の利用にあたっては、一日あたりに受け入れられる件数が限られる中で事業を運営してきました。

相談員は、年度当初に１人退職し３人体制となりましたが、１２月に４人体制となり、新規採用職員の指導・育成を優先させながら、待ち期間の短縮に努めました。新規患者数（新規相談及び受理面接）はそれぞれ９２７件（３１年度１，０６８件)、６６５件（３１年度８０５件）でした。相談員同士が連携し、個別のニードに迅速、丁寧に対応する事もでき、担当相談員が不在の際にも、他の相談員で可能な限り対応するなど安定して業務を遂行する体制を継続してきました。

各専門職別の実績は、心理判定業務については、新規の評価を昨年度同様平均１か月の待ち時間で実施できました。初診増加に伴い、翌年度以降の再評価も増加しており実績も（３１年度４７５件→２年度５４４件）上げることができました。個別指導も、昨年度同様に対象を限定しながらであるものの実施することが出来ました。

言語聴覚療法は、１人の新規採用職員の指導を行いながらも昨年度同様平均１か月の待ち時間で実施できました。また、保護者宛てに評価結果についての報告書をお渡しし、言葉とコミュニケーションの発達について理解を深めていただくよう努めました。

作業療法については、継続的な指導と共に、日常生活の中で必要な動作や体幹の使い方等をより分かり易く保護者と利用者に寄り添った指導、支援を実施してきました。また、作成したリーフレットを活用することにより、作業療法の必要性の理解を促し評価、指導に繋げることができました。

理学療法については、対象児が減少傾向にありましたが、日常生活に必要な動作の獲得をすることや、療育へのニードが高い保護者に対して、ニードに応じた頻度で昨年度同様個別指導を行うことが出来ました。

次年度については、更に初診の増加が見込まれますが、再診枠を確保しながら可能な限り待機期間を維持及び短縮できるよう、体制を整えていく必要があると考えます。

イ　すぎのこルーム

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施しながら、医療型児童発達支援センターと児童発達支援事業の療育の充実及び保護者支援の充実に努めました。

利用者の安全を第一に日々の療育や行事など業務全般の見直しを行い、保護者ニーズに沿った療育内容（保育内容、行事、保護者勉強会）を実施しました。

保護者支援では、要望を伺いながら保護者勉強会を６回開催しました。なかでも今年度初めての「摂食嚥下講習会」は千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会の委員を講師に招き、年間４回（１回は緊急事態宣言のため中止）継続した勉強会を開催しました。保護者からは、来年度も継続して欲しいとの強い要望が出ています。

保護者アンケート結果からは、「療育内容はお子さまが楽しめるように工夫されていますか」の質問に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方が前期、後期とも１００％でした。また、「遊び別保育の内容はお子さまに合っていますか」の質問に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方が前期、後期とも１００％、また「個別保育の内容にお子様は合っていますか」の質問に対し、前期１００％、後期９２％と高い評価を得ることができました。

医療型児童発達支援センターの実績では、契約数は最大２２人。一日定員１０人に対し、利用児は１日平均３．６人（昨年度３．７人）でした。

減少している要因としては、

① 契約人数の減少。昨年度は最大２３人でしたが、令和２年度は２２人と減少しました。近年の契約人数の減少理由として、少子化や共働き世帯の増加により、預かり型児童発達支援施設の希望者が増加している。

② 併行通園児の大幅な増加。特に民間預かり型児童支援施設や保育所との併行通園児が多い。併行通園児は週１～２回と曜日固定利用がほとんどである。

③ 体調不良や家庭の都合による当日キャンセルが多い。

④ 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う、緊急事態宣言の影響により、登園を控える家庭が多かった。特に４月は契約人数１５人の中、実人数７人。４月の１日平均利用は１．９人と少なかった。

以上の結果より、次年度の取り組みとしては、引き続き契約人数増を図るため、各関係機関の病院や各区保健福祉センターの相談窓口担当者（相談員・保健師等）と連携を図り、親子通園ならではの療育の充実について周知していきたいと思います。

児童発達支援事業の契約人数は、１００人。前年度１３５人に比べ減少。要因として、見学者の減少（見学者４５人、昨年度６９人）があげられます。近年、共働き世帯や核家族世帯の占める割合は増加しており、親子通園施設から民間預かり型児童施設へ推移している傾向が見られます。

共働き、核家族化などの社会環境の変化により、家庭での子育ての難しさがあるという声が多く、かねてから要望が挙がっていた言語聴覚士によるお話会を全グループ対象に実施しました。

保護者アンケートでは、療育内容の満足度は前期、後期とも９０％以上、言語聴覚士の勉強会の満足度も９７％と高い評価をいただきました。

次年度も、保護者ニーズに沿った満足度の高い支援に努めていきたいと思います。

ウ　やまびこルーム

やまびこルームの令和２年度の目標は、療育内容の充実と利用者数の増加を図ることでした。令和２年度の契約人数は７８人（途中退園児２人を含む）、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中においても、昨年度の７６人を上回りました。

延べ利用者数は２，８１３人（３１年度は２，９８２人）で、昨年を１６９人下回り、1日の利用者数も年間を通しては１１．５７人（昨年度１２．４２人）と昨年度を下回りました。

しかし、1月～３月の年度の後半になると、月の延べ利用者数は昨年度実績を上回り、1日の利用者数も1月１４．８９人、2月１５．７２人、3月１３．３０人と、３１年度の１２．

４２人にくらべ増加し、日々定員２０人を超える日が月に数日出るようになりました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中においても、昨年度に比べ、契約人数が増加し、年度の後半には月別利用者数が昨年度を上回るようになった大きな要因は、千葉県こども病院ならびに聾学校乳幼児相談部との連携を継続して行っていることによる各機関との信頼関係と考えられます。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、聾学校乳幼児相談部が閉鎖されている間、病院で難聴診断を受けた多くの０～１歳児を、やまびこルームで引き受ける結果となりました。

また、社会情勢的に、仕事を持つ母親が増えている中で、保護者と一緒に毎日通学しなければならない聾学校幼稚部に通う選択はせずに、地域の幼稚園、保育園に通うことを希望され、就園の年齢（２歳児）で、聾学校乳幼児相談部から紹介されて来るお子さんも年々増えています。より一層、病院、聾学校乳幼児相談との連携を図るとともに、やまびこルームとして、保護者のニーズに応え、充分な療育を行っていけるよう、療育環境の整備や職員体制を整えていくことが必要であり、職員のスキルアップも重要な課題です。

保護者支援として、保護者セミナー、保護者勉強会をオンライン併用で実施し、多くの保護者が参加できたことで、当日の直接の利用者数には反映しませんが、保護者が難聴への理解を深め、療育へ前向きな姿勢を持てるようになり、これが日々の指導の出席率の向上につながったと考えられます。今後も、早期に難聴が発見され、まだ見通しの持てない低年齢児（０～２歳児）の保護者の心理的ケアを丁寧に行い、必要な情報提供を行い、保護者が安心して、前向きに療育に取り組んで頂けるよう、保護者のニーズに沿った保護者支援を行っていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中ではありましたが、以下が令和２年度実施した具体的な取り組みです。

① 新型コロナウイルス感染症感染予防で、密を避けるため、指導室の人数の上限を定めてグループ活動を実施しました。その結果、今まで１部屋で行っていたグループ活動を２部屋に分けて行うこととなりました。部屋の確保、職員の確保などの調整を行いましたが、０歳児と１歳児のグループは、職員体制が取れず、やむなく週１回実施していた活動をそれぞれ隔週で実施することになりました。

② ０～２歳児で通園の頻度を多く希望するお子さんには、週１回の保育のグループを積極的にすすめ、２～３人のお子さんが継続的に参加しました。

③ 新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ルーム全体で行う行事はすべて中止としました。運動会、クリスマス会、秋祭りは、通常のグループ活動や分散した開催とし、保護者１人の参加で行いました。

④ 新型コロナウイルス感染症感染防止のため､全体行事と保護者会懇談会がなくなり、異年齢のお子さん、保護者同士の交流の機会がなくなってしまったので、保護者からの要望に応え、異年齢交流グループ活動を設定し、実施しました。

⑤ 兄弟託児については、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、最小限のボランティアと職員の対応で行い、夏休み、冬休み期間中の利用率の維持をはかりました

⑥ 個別指導においても、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、登園しにくいお子さんに対し、オンラインでの個別指導を開始しました。

⑦ 保護者支援の充実をはかるため、保護者セミナーをオンライン併用で行いました。

全９回で１セットを２セット（月２回ずつ、①７月～１１月、②１１月～３月）実施しました。会場参加の保護者がセミナーに参加している間、お子さんたちは分離して保育を行いました。セミナーには、保護者、園児合わせてのべ２４８人が参加（昨年度１５５人）しました。また、年３回行っている保護者勉強会も同様にオンライン併用で実施し、延べ１２０人が参加し（昨年度５９人）、ともに昨年度を大きく上回りました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

相談支援事業所ぱれっとの令和２年度の目標は、引き続き法改正に伴う相談支援の在り方への適応と利用者一人ひとりに適切な支援ができる職員の専門性の向上ときめ細かい対応でした。

取り組みとしては、①専門性の向上に向けオンライン研修など参加可能な研修の受講に努めました。新型コロナウイルス感染症対応のため強度行動障害支援者養成研修は延期、医療的ケア児コーディネーター研修は中止となり次年度への持ち越しとなっています。②サービス提供時モニタリング年間１５０件目標のところを１５９件実施しました。③市内の相談支援事業所との意見交換会に出席し、情報交換や研修を行いました。④新規受け入れは、利用児の兄弟姉妹及び基幹相談支援センター等から相談があった場合について迅速な対応を行ないました。⑤ぱれっとの利用者以外の方や、関係機関からの相談や情報提供にも応じました。⑥各区の基幹相談支援センターと連携を取りながら多問題家族等の困難事例に対応しました。

令和２年度の成果としては、ぱれっと内で困難事例を共有することで、担当が不在の際にもスムーズに対応できた点や、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中感染対策に努めながら臨機応変にきめ細かい対応ができた点が挙げられます。また、サービス提供時モニタリングの実施による事業所間連携の強化や、各区基幹相談支援センターとの協働によりぱれっとの役割の構築及び全体の支援力の向上につなげることができました。課題としては、①利用者数の減少に伴う新規利用者受け入れについて、②新型コロナウイルス感染症感染拡大の中における研修受講について、③異動に伴う相談員間の業務負担の軽減等が挙げられます。①については新規利用者の受け入れの電話申し込みについて検討し、実施に向け取り組んでいきます。②については相談員の力量を高められるよう内部では引き続き事例検討や情報共有を行ない、オンラインを活用した外部の研修も積極的に受講していきます。③については業務の効率化を図り、相談員間の連携を密にすることで異動者を含めた相談員全体の負担を軽減しながら実績を上げられるよう努めます。

オ　いずみの家

令和２年度も受注作業として箱折り、手提げ袋作り、保冷剤の箱詰め、ハンガーの組み立てを柱に行なってきましたが、昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症感染拡大による経済の影響から、懸念していたとおり受注作業の発注が減少しました。その事から経営改善計画の課題である工賃向上を目指しつつも売り上げの現状維持に努めました。そのため受注作業の落ち込みを見越して印刷やポロシャツのプリント作業を重点的に実施しました。また、新規に業者を開拓してマスクの検品作業に取り組みました。自主生産活動の資材である

ポリ袋を活用した防護服作りや他施設から依頼されたペンキ塗りなどあらゆる作業に可能な限り請け負いました。リサイクル事業としてペットボトルキャップや段ボールの回収を行ってきましたが経済の影響により共に相場が暴落し、ペットボトルキャップに至っては業者の撤退により取引がなくなったため令和２年度でやむを得ず回収を終了しました。

作業収支は、収入については約 2,267 万円（３１年度約 1,523 万円、前年度比約 744 万円増)、材料費や諸費用の必要経費支出については約 1,257 万円（３１年度約 632 万円、前年度比約 625 万円増)、その差を工賃として約 1,010 万円（３１年度約 891 万円、前年度比約 119 万円増）を支給しました。就労継続支援Ｂ型事業のご利用者１人あたりの月平均額工賃は 26,666 円（３１年度 22,633 円、前年度比 4,033 円増）でした。就労継続支援Ｂ型施設の３１年度の全国平均額約 16,369 円及び千葉県平均額約 15,215 円は上回りました。３１年度と比較して、収入は約４９％増加しましたが、必要経費の支出が約９８%増加したため収益率は約４４．６%と減少になりました。ただ収入が増加した分月平均工賃額も２万円台を維持することができました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済への影響がいつまで続くのか推測できませんが引き続き取引業者と良好な信頼関係を継続していくとともに新規取引先の開拓にも努めます。また、現在の状況が続くようであれば受注作業以外の作業への転換も選択肢の一つだと考えます。

事業の実施状況としては新型コロナウイルス感染症感染拡大により職場実習や見学、体験等が制限される中、就労移行支援事業が、定員６人に対して４人で始まり、そのうち２人の方の就職が決まりました。就労移行率の目標である定員の３３％を達成することができました。(全国平均２７％）また、年度途中に就労移行支援より就労継続支援Ｂ型にサービス内容を変更した方が１人あり年度末の欠員は５人となりましたが、産業現場実習を経て就労移行への希望が３人あり、昨年同様４月には４人が在籍する見込みです。就労定着支援としては、ご本人やご家族からの電話相談の他、就職企業先との情報交換、巡回訪問、ケース会議への出席を通してアフターフォローに取り組みました。また、キャリアセンター等で定期的に開催される地域意見交換会に参加することで求人等の情報を得ることができました。今後とも関係機関と連携して一般就労への移行率向上を目指します。

就労継続支援Ｂ型事業は、定員３４人に対して年度当初の利用者は３０人でしたが、年度内に２人の利用が終了となり年度末時点の欠員は５人と目標を維持できませんでした。利用率を上げる取り組みについて検討していくとともに当施設をアピールするよう広報に努めます。また、ご利用者の平均年齢は３６歳となり年々高齢化しています。引き続きご利用者の健康状態を把握し、年齢の高い方に関しても生活習慣病やその合併症のリスクを抑えるために面談等を通じてご家族と連携して健康管理に努めていきます。また、ご家族の高齢化を見据えて今後のご利用者の生活等について様々な情報提供をしていきます。

日中一時支援事業は年間を通した新型コロナウイルスの影響により外部の方の利用を一時控えていただきました。そのため利用はありませんでした。ただ、終息後に向けて実習生やその保護者、見学者に事業の説明は欠かさず行っており来期に向けて１人の希望がありました。日中一時支援はその体験を通して利用に繋がるケースが多いため今後も力を入れて取り組んでいきます。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症に関して万全の感染対策をし、その対策は保護者

からも高評価を受けました。旅行等、一部の行事は中止となり、ご利用者には辛い思いをさせてしまいましたが社会研修を少人数で行う、余暇活動の内容を変える等工夫して楽しみが減らないよう実施しました。今後も感染対策を怠らず利用者の安全を第一に事業を遂行していきます。

障害者が地域で自立した生活を送るための基盤として就労支援は重要であると考えます。就労移行を希望する方にはできる限り一般就労していただけるように、一般就労が困難であり就労継続を希望される方には工賃水準が向上するようにそれぞれ支援していきます。

カ　ふれあいの家

移転による施設拡充から３年間で利用者が増加し、新規利用者の獲得、若年層を含めた幅広い世代の利用を課題としましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、主催事業の中止や利用人数の制限等により、前年度の４８，８０１人から１７，４３６人（△６４％）と大幅に利用者数が減少しました。

最初の緊急事態宣言（令和２年４月７日～５月２７日）の間、約２か月は、障害者の生活を維持するための音訳、点訳活動を除いて閉館しました。この間も、電話による相談対応の他、機能訓練利用者へは電話や郵送などにより自宅でできる訓練課題を提供し、機能の維持に努めました。

令和２年２月末から中止を継続した主催事業は、緊急事態宣言が解除されるまで中止し、６月から再開しました。再開にあたり密集、密接を避けるため、各部屋の利用定員を定めたほか、換気、消毒を徹底しました。また、パーテーションを相談室や教室に設置・貸出し、飛沫の飛散防止に努めました。

創作的活動は７教室を通年で開講し、６月から遅れての開始でしたが、１教室を除き、全日程を振り替え、当初の計画数を実施できました。また、スポーツは４教室を通年で開講し、同じく６月からの開始で全日程を実施する予定でしたが、２回目の緊急事態宣言（令和３年１月７日～３月２１日）の間、屋内スポーツが中止され、延べ１３回の教室を中止しました。再開にあたり活動場所に比べて参加者が多い教室は、利用者をＡ・Ｂ班に分け、隔回の参加で実施しました。音楽療法は、発声や合唱を控え、音楽を聴きリラックスする受動的音楽療法を取り入れました。例年人気の高い料理などの短期教室、交流会は感染防止の観点から実施できませんでした。

春のバス旅行は中止となりましたが、長くなる在宅期間をリフレッシュしていただくよう代替で企画した作業療法士による「心も体もリフレッシュしよう」で、ストレッチ体操や脳トレ教室を開催しました。秋のバス旅行もプチ旅行と変更し、３密を避けるためバスを使用せず、公園の開放された空間でのストレッチ体操をプログラムし実施しました。好評を得られたため次年度は、開催数を増やし定期的に実施します。

ボランティア養成では、要約筆記、初級・中級手話で開催数を変更しましたが、手話は参加者を２班に分けたことにより、少人数で実施でき、例年に比べて講師からは高評価で受講生の習熟度も高く感じられました。また、上級の開催要望に対し、初めて開講した応用編では、受講者がろう者と手話で対話する実践の場となり、手話を学ぶ熱意が感じられました。さらに前年度、中途で終了した中級手話、点字講習会は、希望者に対し補講を行い、年度跨ぎで最後まで受講していただくことができました。

ふれあいフェスティバルは、密集を避けるため、規模を縮小しミニフェスティバルとして開催しました。職員が各々企画し、１２の短期教室を開催する予定でしたが、緊急事態宣言によりスポーツ・運動系が中止となり、４教室の開催となりました。参加者数は少なかったものの、日頃の利用者への感謝を伝えようとの開催趣旨は満足されたものと言えます。

施設の貸出では、発声を伴うカラオケを１年間中止したほか、利用人数の制限や、休館、スポーツの使用中止により活動の場を十分に提供することができませんでした。特に、例年開催していただいている運動会やクリスマス会など大規模イベントは中止となりました。

感染症の対策は次年度も継続しなければなりませんが、新たな利用形態、利用方法に取り組みながら、利用を促進し地域へ還元される施設として努めます。

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　指定管理事業計（※発達障害者支援センター除く）

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続Bいずみ収入	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)	0	0	0	0	0	0	0	0
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)	0	0	0	0	0	0	0	0
市区町村受託金収入(公費)	679,773,000	0	0	0	679,773,000	659,464,039	△ 20,285,961	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	587,000	0	0	0	587,000	587,000	0	0
サービス区分間繰入金収入	8,394,000	0	0	7,808,671	16,202,671	16,202,671	0	0
慰労金収入(県)	0	0	0	0	0		0	
慰労金収入(市)	0	0	0	0	0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
計	688,754,000	0	0	7,808,671	696,562,671	676,253,710	△ 20,285,961	0

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	509,038,000	0	△ 1,566,960	0	507,471,040	486,451,501	21,019,539	0	21,019,539
職員俸給	213,334,000	0	△ 8,417,000	0	204,917,000	199,213,563	5,703,437	0	5,703,437
職員諸手当	68,486,000	0	0	0	68,486,000	62,779,147	5,706,853	0	5,706,853
職員賞与	88,288,000	0	△ 7,230,960	0	81,057,040	80,695,271	361,769	0	361,769
非常勤職員給与	66,504,000	0	14,081,000	0	80,585,000	78,644,184	1,940,816	0	1,940,816
派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	4,451,000	0	0	0	4,451,000	4,269,731	181,269	0	181,269
法定福利費	67,975,000	0	0	0	67,975,000	60,849,605	7,125,395	0	7,125,395
事業費支出	51,928,000	0	△ 1,464,000	0	50,464,000	44,776,062	5,687,938	0	5,687,938
給食費	3,997,000	0	△ 53,000	0	3,944,000	3,411,420	532,580	0	532,580
保健衛生費	1,883,000	0	53,000	0	1,936,000	1,925,165	10,835	0	10,835
教養娯楽費	632,000	0	0	0	632,000	624,380	7,620	0	7,620
保育材料費	467,000	0	0	0	467,000	464,283	2,717	0	2,717
水道光熱費	24,292,000	0	△ 1,464,000	0	22,828,000	20,616,125	2,211,875	0	2,211,875
消耗器具備品費	3,183,000	0	0	0	3,183,000	3,179,676	3,324	0	3,324
保険料	1,037,000	0	0	0	1,037,000	960,160	76,840	0	76,840
賃借料	7,568,000	0	0	0	7,568,000	6,534,189	1,033,811	0	1,033,811
教育指導費	5,739,000	0	0	0	5,739,000	5,018,899	720,101	0	720,101
車輌費	1,724,000	0	0	0	1,724,000	666,623	1,057,377	0	1,057,377
雑支出	1,406,000	0	0	0	1,406,000	1,375,142	30,858	0	30,858
事務費支出	103,670,000	0	3,030,960	0	106,700,960	103,909,543	2,791,417	0	2,791,417
福利厚生費	1,657,000	0	56,000	0	1,713,000	1,695,791	17,209	0	17,209
職員被服費	1,388,000	0	0	0	1,388,000	1,292,653	95,347	0	95,347
旅費交通費	635,000	0	0	0	635,000	438,507	196,493	0	196,493
研修研究費	746,000	0	0	0	746,000	283,289	462,711	0	462,711
事務消耗品費	1,225,000	0	0	0	1,225,000	1,210,737	14,263	0	14,263
印刷製本費	774,000	0	0	0	774,000	417,175	356,825	0	356,825
修繕費	5,651,000	0	2,756,960	0	8,407,960	8,401,966	5,994	0	5,994
通信運搬費	2,890,000	0	0	0	2,890,000	2,716,278	173,722	0	173,722
会議費	41,000	0	0	0	41,000	14,256	26,744	0	26,744
広報費	555,000	0	218,000	0	773,000	571,116	201,884	0	201,884
業務委託費	70,323,000	0	0	0	70,323,000	70,093,306	229,694	0	229,694
手数料	691,000	0	0	0	691,000	416,206	274,794	0	274,794
租税公課	554,000	0	0	0	554,000	504,700	49,300	0	49,300
保守料	12,447,000	0	0	0	12,447,000	11,876,995	570,005	0	570,005
諸会費	585,000	0	0	0	585,000	560,400	24,600	0	24,600
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費(事務局)	3,508,000	0	0	0	3,508,000	3,416,168	91,832	0	91,832
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販管費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	874,000	0	0	0	874,000	819,346	54,654	0	54,654
車輌運搬具取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具及び備品取得支出	874,000	0	0	0	874,000	819,346	54,654	0	54,654
ファイナンスリース債務の返済支出	6,924,000	0	0	0	6,924,000	6,920,760	3,240	0	3,240
積立資産支出	8,062,000	0	0	0	8,062,000	8,062,000	0	0	0
退職給付引当資産	8,062,000	0	0	0	8,062,000	8,062,000	0	0	0
工賃平均積立資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分間繰入金支出	247,000	5,585,300	0	0	5,832,300	5,832,300	0	0	0
サービス区分間繰入金支出	8,011,000	0	0	7,808,671	15,819,671	15,819,671	0	0	0
慰労金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	688,754,000	5,585,300	0	7,808,671	702,147,971	672,591,183	29,556,788	0	29,556,788

前期末支払資金残高	△ 4,952,089
当期末支払資金残高	△ 1,289,562

法人税	0

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	△ 4,952,089
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	△ 4,952,089
当期末支払資金残高	△ 1,289,562
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	△ 1,289,562

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　療育相談所

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	246,596,000				246,596,000	234,675,033	△ 11,920,967	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入	587,000				587,000	587,000	0	
サービス区分間繰入金収入	5,349,000			571,000	5,920,000	5,920,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	252,532,000	0	0	571,000	253,103,000	241,182,033	△ 11,920,967	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	215,776,000	0	△ 1,529,960	△ 2,717,000	211,529,040	199,155,053	12,373,987	0	12,373,987
職員俸給	88,830,000		△ 4,941,000	△ 665,000	83,224,000	80,829,684	2,394,316		2,394,316
職員諸手当	32,049,000			△ 1,670,000	30,379,000	25,998,731	4,380,269		4,380,269
職員賞与	37,139,000		△ 4,830,960	△ 77,000	32,231,040	32,230,838	202		202
非常勤職員給与	28,297,000		8,242,000	△ 305,000	36,234,000	35,470,233	763,767		763,767
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	1,722,000				1,722,000	1,589,104	132,896		132,896
法定福利費	27,739,000				27,739,000	23,036,463	4,702,537		4,702,537
事業費支出	11,956,000	0	△ 515,000	△ 389,000	11,052,000	10,329,512	722,488	0	722,488
給食費					0		0		0
保健衛生費	810,000				810,000	808,651	1,349		1,349
教養娯楽費	411,000				411,000	410,704	296		296
保育材料費					0		0		0
水道光熱費	6,102,000		△ 515,000	△ 356,000	5,231,000	4,892,548	338,452		338,452
消耗器具備品費	1,200,000				1,200,000	1,199,450	550		550
保険料	183,000				183,000	141,735	41,265		41,265
賃借料	2,535,000				2,535,000	2,370,942	164,058		164,058
教育指導費					0		0		0
車輌費	243,000				243,000	67,140	175,860		175,860
雑支出	472,000			△ 33,000	439,000	438,342	658		658
事務費支出	14,937,000	0	2,044,960	△ 771,671	16,210,289	14,906,103	1,304,186	0	1,304,186
福利厚生費	582,000		19,000	△ 33,000	568,000	567,731	269		269
職員被服費	550,000				550,000	481,007	68,993		68,993
旅費交通費	130,000				130,000	40,332	89,668		89,668
研修研究費	410,000				410,000	114,413	295,587		295,587
事務消耗品費	305,000				305,000	304,804	196		196
印刷製本費	365,000			△ 5,000	360,000	91,081	268,919		268,919
修繕費	1,403,000		1,978,960	△ 1,132,671	2,249,289	2,249,073	216		216
通信運搬費	405,000				405,000	377,075	27,925		27,925
会議費	11,000				11,000	1,894	9,106		9,106
広報費	101,000		47,000		148,000	108,361	39,639		39,639
業務委託費	5,338,000			441,000	5,779,000	5,779,000	0		0
手数料	56,000				56,000	46,912	9,088		9,088
租税公課	179,000			△ 16,000	163,000	123,700	39,300		39,300
保守料	3,515,000			△ 26,000	3,489,000	3,067,868	421,132		421,132
諸会費	308,000				308,000	308,000	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	1,279,000				1,279,000	1,244,852	34,148		34,148
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	546,000	0	0	0	546,000	491,546	54,454	0	54,454
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	546,000				546,000	491,546	54,454		54,454
ファイナンスリース債務の返済支出	1,165,000				1,165,000	1,164,240	760		760
積立資産支出	8,062,000	0	0	0	8,062,000	8,062,000	0	0	0
退職給付引当資産	8,062,000				8,062,000	8,062,000	0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	90,000	1,363,816			1,453,816	1,453,816	0		0
サービス区分間繰入金支出	0			4,448,671	4,448,671	4,448,671	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	252,532,000	1,363,816	0	571,000	254,466,816	240,010,941	14,455,875	0	14,455,875

前期末支払資金残高	1,363,816
当期末支払資金残高	2,534,908

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	1,363,816
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	1,363,816
当期末支払資金残高	2,534,908
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	2,534,908

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　医療型児童発達支援センターすぎのこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	89,844,000				89,844,000	86,432,015	△ 3,411,985	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	0			2,178,740	2,178,740	2,178,740	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	89,844,000	0	0	2,178,740	92,022,740	88,610,755	△ 3,411,985	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	60,258,000	0	△ 27,000	1,730,000	61,961,000	58,182,599	3,778,401	0	3,778,401
職員俸給	28,837,000		△ 2,512,000		26,325,000	24,784,492	1,540,508		1,540,508
職員諸手当	7,592,000				7,592,000	6,742,906	849,094		849,094
職員賞与	10,968,000		△ 979,000		9,989,000	9,987,376	1,624		1,624
非常勤職員給与	4,145,000		3,464,000	1,730,000	9,339,000	8,319,589	1,019,411		1,019,411
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	768,000				768,000	767,723	277		277
法定福利費	7,948,000				7,948,000	7,580,513	367,487		367,487
事業費支出	7,401,000	0	△ 478,000	31,000	6,954,000	5,982,354	971,646	0	971,646
給食費	754,000				754,000	570,662	183,338		183,338
保健衛生費	158,000			31,000	189,000	186,305	2,695		2,695
教養娯楽費	53,000				53,000	51,662	1,338		1,338
保育材料費	228,000				228,000	226,496	1,504		1,504
水道光熱費	5,085,000		△ 478,000		4,607,000	4,077,062	529,938		529,938
消耗器具備品費	420,000				420,000	419,551	449		449
保険料	118,000				118,000	112,242	5,758		5,758
賃借料	344,000				344,000	215,182	128,818		128,818
教育指導費					0		0		0
車輌費	227,000				227,000	116,192	110,808		110,808
雑支出	14,000				14,000	7,000	7,000		7,000
事務費支出	17,258,000	0	505,000	273,740	18,036,740	17,727,311	309,429	0	309,429
福利厚生費	296,000		27,000	△ 21,000	302,000	290,676	11,324		11,324
職員被服費	152,000				152,000	141,306	10,694		10,694
旅費交通費	42,000				42,000	23,137	18,863		18,863
研修研究費	87,000				87,000	33,706	53,294		53,294
事務消耗品費	108,000				108,000	107,609	391		391
印刷製本費	128,000			△ 47,000	81,000	54,908	26,092		26,092
修繕費	1,143,000		443,000	347,740	1,933,740	1,933,464	276		276
通信運搬費	308,000			34,000	342,000	338,176	3,824		3,824
会議費	5,000			1,000	6,000	5,926	74		74
広報費	78,000		35,000		113,000	83,049	29,951		29,951
業務委託費	12,433,000			△ 46,000	12,387,000	12,347,516	39,484		39,484
手数料	93,000				93,000	58,256	34,744		34,744
租税公課	48,000			5,000	53,000	52,800	200		200
保守料	1,853,000				1,853,000	1,790,230	62,770		62,770
諸会費	30,000				30,000	24,500	5,500		5,500
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	454,000				454,000	442,052	11,948		11,948
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	328,000	0	0	△ 165,000	163,000	162,800	200	0	200
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	328,000			△ 165,000	163,000	162,800	200		200
ファイナンスリース債務の返済支出	1,135,000				1,135,000	1,134,805	195		195
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	32,000	769,763			801,763	801,763	0		0
サービス区分間繰入金支出	3,432,000			309,000	3,741,000	3,741,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	89,844,000	769,763	0	2,178,740	92,792,503	87,732,632	5,059,871	0	5,059,871

前期末支払資金残高	769,763
当期末支払資金残高	1,647,886

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	769,763
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	769,763
当期末支払資金残高	1,647,886
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	1,647,886

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　児童発達支援事業すぎのこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	14,813,000				14,813,000	14,497,604	△ 315,396	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	473,000			251,548	724,548	724,548	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	15,286,000	0	0	251,548	15,537,548	15,222,152	△ 315,396	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	10,087,000	0	0	△ 1,282,000	8,805,000	8,414,838	390,162	0	390,162
職員俸給	3,415,000				3,415,000	3,415,000	0		0
職員諸手当	1,098,000			118,000	1,216,000	1,215,044	956		956
職員賞与	1,369,000				1,369,000	1,351,453	17,547		17,547
非常勤職員給与	2,742,000			△ 1,400,000	1,342,000	1,239,960	102,040		102,040
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	47,000				47,000	46,460	540		540
法定福利費	1,416,000				1,416,000	1,146,921	269,079		269,079
事業費支出	1,586,000	0	△ 43,000	10,000	1,553,000	1,348,886	204,114	0	204,114
給食費	244,000				244,000	243,200	800		800
保健衛生費	34,000			10,000	44,000	42,012	1,988		1,988
教養娯楽費	5,000				5,000	4,160	840		840
保育材料費	41,000				41,000	40,166	834		834
水道光熱費	1,017,000		△ 43,000		974,000	815,401	158,599		158,599
消耗器具備品費	120,000				120,000	119,914	86		86
保険料	13,000				13,000	12,550	450		450
賃借料	95,000				95,000	62,311	32,689		32,689
教育指導費					0		0		0
車輌費	17,000				17,000	9,172	7,828		7,828
雑支出					0		0		0
事務費支出	3,224,000	0	43,000	53,548	3,320,548	3,077,069	243,479	0	243,479
福利厚生費	48,000			△ 11,000	37,000	36,218	782		782
職員被服費	37,000				37,000	36,355	645		645
旅費交通費	4,000			4,000	8,000	4,738	3,262		3,262
研修研究費	26,000				26,000	0	26,000		26,000
事務消耗品費	57,000				57,000	56,999	1		1
印刷製本費	15,000			19,000	34,000	33,334	666		666
修繕費	213,000		27,000	85,548	325,548	324,719	829		829
通信運搬費	242,000			△ 56,000	186,000	119,169	66,831		66,831
会議費					0		0		0
広報費	20,000		16,000		36,000	25,615	10,385		10,385
業務委託費	1,908,000			12,000	1,920,000	1,917,485	2,515		2,515
手数料	187,000				187,000	64,021	122,979		122,979
租税公課					0		0		0
保守料	388,000				388,000	381,211	6,789		6,789
諸会費					0		0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	79,000				79,000	77,205	1,795		1,795
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	384,000				384,000	383,262	738		738
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	5,000	235,443			240,443	240,443	0		0
サービス区分間繰入金支出	0			1,470,000	1,470,000	1,470,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	15,286,000	235,443	0	251,548	15,772,991	14,934,498	838,493	0	838,493

前期末支払資金残高	235,443
当期末支払資金残高	523,097

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	235,443
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	235,443
当期末支払資金残高	523,097
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	523,097

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	76,177,000				76,177,000	76,176,542	△ 458	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	0			1,428,644	1,428,644	1,428,644	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	76,177,000	0	0	1,428,644	77,605,644	77,605,186	△ 458	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	54,785,000	0	0	809,000	55,594,000	55,369,988	224,012	0	224,012
職員俸給	22,314,000			665,000	22,979,000	22,978,184	816		816
職員諸手当	6,200,000			67,000	6,267,000	6,223,703	43,297		43,297
職員賞与	9,021,000			77,000	9,098,000	9,096,782	1,218		1,218
非常勤職員給与	9,378,000				9,378,000	9,341,361	36,639		36,639
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	455,000				455,000	454,714	286		286
法定福利費	7,417,000				7,417,000	7,275,244	141,756		141,756
事業費支出	4,886,000	0	△ 245,000	△ 2,000	4,639,000	3,881,875	757,125	0	757,125
給食費	5,000				5,000	4,172	828		828
保健衛生費	154,000			17,000	171,000	168,082	2,918		2,918
教養娯楽費	59,000				59,000	56,794	2,206		2,206
保育材料費	198,000				198,000	197,621	379		379
水道光熱費	3,051,000		△ 245,000		2,806,000	2,446,230	359,770		359,770
消耗器具備品費	381,000				381,000	380,293	707		707
保険料	93,000				93,000	91,401	1,599		1,599
賃借料	568,000				568,000	406,320	161,680		161,680
教育指導費					0		0		0
車輌費	270,000				270,000	66,162	203,838		203,838
雑支出	107,000			△ 19,000	88,000	64,800	23,200		23,200
事務費支出	14,416,000	0	245,000	386,644	15,047,644	14,729,757	317,887	0	317,887
福利厚生費	204,000			32,000	236,000	232,910	3,090		3,090
職員被服費	140,000				140,000	132,440	7,560		7,560
旅費交通費	60,000			△ 24,000	36,000	20,172	15,828		15,828
研修研究費	39,000				39,000	39,000	0		0
事務消耗品費	256,000				256,000	254,708	1,292		1,292
印刷製本費	117,000			28,000	145,000	144,694	306		306
修繕費	757,000		190,000	362,644	1,309,644	1,309,019	625		625
通信運搬費	399,000				399,000	381,081	17,919		17,919
会議費	4,000				4,000	2,482	1,518		1,518
広報費	101,000		55,000		156,000	115,879	40,121		40,121
業務委託費	10,469,000			△ 12,000	10,457,000	10,343,687	113,313		113,313
手数料	148,000				148,000	84,697	63,303		63,303
租税公課	64,000				64,000	61,600	2,400		2,400
保守料	1,183,000				1,183,000	1,147,277	35,723		35,723
諸会費	82,000				82,000	77,500	4,500		4,500
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	393,000				393,000	382,611	10,389		10,389
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	165,000	165,000	165,000	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	0			165,000	165,000	165,000	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,317,000				1,317,000	1,316,700	300		300
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	28,000	621,227			649,227	649,227	0		0
サービス区分間繰入金支出	745,000			70,000	815,000	815,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	76,177,000	621,227	0	1,428,644	78,226,871	76,927,547	1,299,324	0	1,299,324

前期末支払資金残高	△ 9,916,162
当期末支払資金残高	△ 9,238,523

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	△ 9,916,162
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	△ 9,916,162
当期末支払資金残高	△ 9,238,523
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	△ 9,238,523

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　身体障害者福祉センターふれあいの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	105,712,000				105,712,000	102,635,582	△ 3,053,418	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	943,000			1,041,000	1,984,000	1,984,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	106,655,000	0	0	1,041,000	107,696,000	104,619,582	△ 3,053,418	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	55,437,000	0	△ 10,000	103,000	55,530,000	53,237,088	2,292,912	0	2,292,912
職員俸給	19,039,000		△ 964,000		18,075,000	16,508,065	1,566,935		1,566,935
職員諸手当	5,477,000				5,477,000	5,436,049	40,951		40,951
職員賞与	8,170,000		△ 1,421,000		6,749,000	6,748,551	449		449
非常勤職員給与	15,144,000		2,375,000	103,000	17,622,000	17,621,311	689		689
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	237,000				237,000	191,582	45,418		45,418
法定福利費	7,370,000				7,370,000	6,731,530	638,470		638,470
事業費支出	11,861,000	0	0	437,000	12,298,000	11,313,518	984,482	0	984,482
給食費					0		0		0
保健衛生費	79,000			29,000	108,000	107,587	413		413
教養娯楽費	91,000				91,000	89,450	1,550		1,550
保育材料費					0		0		0
水道光熱費	3,952,000			356,000	4,308,000	4,307,844	156		156
消耗器具備品費	408,000				408,000	408,000	0		0
保険料	254,000				254,000	252,870	1,130		1,130
賃借料	1,264,000				1,264,000	1,078,549	185,451		185,451
教育指導費	4,800,000				4,800,000	4,081,987	718,013		718,013
車輌費	200,000				200,000	122,231	77,769		77,769
雑支出	813,000			52,000	865,000	865,000	0		0
事務費支出	37,953,000	0	10,000	48,000	38,011,000	37,701,466	309,534	0	309,534
福利厚生費	200,000		10,000	9,000	219,000	218,667	333		333
職員被服費	209,000				209,000	208,593	407		407
旅費交通費	62,000			△ 35,000	27,000	336	26,664		26,664
研修研究費	102,000				102,000	17,510	84,490		84,490
事務消耗品費	107,000				107,000	95,478	11,522		11,522
印刷製本費	41,000				41,000	35,475	5,525		5,525
修繕費	571,000			395,000	966,000	965,091	909		909
通信運搬費	577,000				577,000	547,329	29,671		29,671
会議費	21,000			△ 1,000	20,000	3,954	16,046		16,046
広報費	97,000			49,000	146,000	105,486	40,514		40,514
業務委託費	31,532,000			△ 395,000	31,137,000	31,075,161	61,839		61,839
手数料	56,000				56,000	45,097	10,903		10,903
租税公課	211,000				211,000	205,300	5,700		5,700
保守料	3,593,000			26,000	3,619,000	3,618,617	383		383
諸会費	25,000				25,000	24,400	600		600
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	549,000				549,000	534,972	14,028		14,028
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,365,000				1,365,000	1,364,220	780		780
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	39,000	721,873			760,873	760,873	0		0
サービス区分間繰入金支出	0			453,000	453,000	453,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	106,655,000	721,873	0	1,041,000	108,417,873	104,830,165	3,587,708	0	3,587,708

前期末支払資金残高	721,873
当期末支払資金残高	511,290

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	721,873
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	721,873
当期末支払資金残高	511,290
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	511,290

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　就労移行支援事業いずみの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	30,738,000				30,738,000	30,034,025	△ 703,975	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	0			1,304,438	1,304,438	1,304,438	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	30,738,000	0	0	1,304,438	32,042,438	31,338,463	△ 703,975	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	25,195,000	0	0	1,177,000	26,372,000	25,608,028	763,972	0	763,972
職員俸給	10,986,000				10,986,000	10,808,667	177,333		177,333
職員諸手当	3,269,000			975,000	4,244,000	4,243,406	594		594
職員賞与	4,644,000				4,644,000	4,508,249	135,751		135,751
非常勤職員給与	2,281,000			202,000	2,483,000	2,482,730	270		270
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	227,000				227,000	226,403	597		597
法定福利費	3,788,000				3,788,000	3,338,573	449,427		449,427
事業費支出	1,710,000	0	△ 27,000	0	1,683,000	1,353,158	329,842	0	329,842
給食費	400,000		△ 33,000		367,000	224,948	142,052		142,052
保健衛生費	93,000		33,000		126,000	125,393	607		607
教養娯楽費					0		0		0
保育材料費					0		0		0
水道光熱費	814,000		△ 27,000		787,000	652,315	134,685		134,685
消耗器具備品費	57,000				57,000	56,963	37		37
保険料	35,000				35,000	31,015	3,985		3,985
賃借料	102,000				102,000	95,446	6,554		6,554
教育指導費	141,000				141,000	140,530	470		470
車輌費	68,000				68,000	26,548	41,452		41,452
雑支出					0		0		0
事務費支出	2,389,000	0	27,000	96,400	2,512,400	2,457,329	55,071	0	55,071
福利厚生費	79,000			1,000	80,000	79,559	441		441
職員被服費	89,000				89,000	88,110	890		890
旅費交通費	64,000			△ 12,000	52,000	41,718	10,282		10,282
研修研究費	3,000			37,962	40,962	40,962	0		0
事務消耗品費	26,000				26,000	25,940	60		60
印刷製本費	5,000				5,000	3,555	1,445		1,445
修繕費	187,000		15,000	57,438	259,438	259,209	229		229
通信運搬費	52,000			10,000	62,000	58,858	3,142		3,142
会議費					0		0		0
広報費	14,000		12,000		26,000	19,142	6,858		6,858
業務委託費	1,367,000				1,367,000	1,354,457	12,543		12,543
手数料	15,000				15,000	10,315	4,685		4,685
租税公課	8,000			2,000	10,000	9,195	805		805
保守料	301,000				301,000	293,681	7,319		7,319
諸会費	21,000				21,000	18,900	2,100		2,100
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	158,000				158,000	153,728	4,272		4,272
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	240,000				240,000	239,751	249		249
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	11,000	283,619			294,619	294,619	0		0
サービス区分間繰入金支出	1,193,000			15,000	1,208,000	1,208,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	30,738,000	283,619	0	1,288,400	32,310,019	31,160,885	1,149,134	0	1,149,134

前期末支払資金残高	283,619
当期末支払資金残高	461,197

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	283,619
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	283,619
当期末支払資金残高	461,197
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	461,197

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　就労継続支援B型事業いずみの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	73,172,000				73,172,000	72,909,116	△ 262,884	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	0			889,301	889,301	889,301	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	73,172,000	0	0	889,301	74,061,301	73,798,417	△ 262,884	0

（単位:円）　　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	47,745,000	0	0	180,000	47,925,000	47,345,085	579,915	0	579,915
職員俸給	19,596,000				19,596,000	19,572,471	23,529		23,529
職員諸手当	8,128,000			510,000	8,638,000	8,637,378	622		622
職員賞与	8,460,000				8,460,000	8,354,771	105,229		105,229
非常勤職員給与	4,501,000			△ 330,000	4,171,000	4,153,000	18,000		18,000
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	322,000				322,000	320,980	1,020		1,020
法定福利費	6,738,000				6,738,000	6,306,485	431,515		431,515
事業費支出	9,620,000	0	△ 156,000	△ 87,000	9,377,000	8,269,631	1,107,369	0	1,107,369
給食費	2,594,000		△ 20,000		2,574,000	2,368,438	205,562		205,562
保健衛生費	521,000		20,000	△ 87,000	454,000	453,382	618		618
教養娯楽費	13,000				13,000	11,610	1,390		1,390
保育材料費					0		0		0
水道光熱費	4,271,000		△ 156,000		4,115,000	3,424,725	690,275		690,275
消耗器具備品費	385,000				385,000	384,765	235		235
保険料	157,000				157,000	151,727	5,273		5,273
賃借料	544,000				544,000	528,138	15,862		15,862
教育指導費	798,000				798,000	796,382	1,618		1,618
車輌費	337,000				337,000	150,464	186,536		186,536
雑支出					0		0		0
事務費支出	11,821,000	0	156,000	△ 145,661	11,831,339	11,710,652	120,687	0	120,687
福利厚生費	171,000			△ 28,000	143,000	142,730	270		270
職員被服費	127,000				127,000	126,302	698		698
旅費交通費	45,000			△ 26,000	19,000	18,400	600		600
研修研究費	47,000			△ 37,962	9,038	9,038	0		0
事務消耗品費	147,000				147,000	146,917	83		83
印刷製本費	14,000			5,000	19,000	18,928	72		72
修繕費	1,377,000		103,000	△ 115,699	1,364,301	1,361,391	2,910		2,910
通信運搬費	300,000			12,000	312,000	307,691	4,309		4,309
会議費					0		0		0
広報費	53,000		53,000	36,000	142,000	108,315	33,685		33,685
業務委託費	7,276,000				7,276,000	7,276,000	0		0
手数料	135,000				135,000	106,404	28,596		28,596
租税公課	44,000			9,000	53,000	52,105	895		895
保守料	1,583,000				1,583,000	1,555,944	27,056		27,056
諸会費	119,000				119,000	107,100	11,900		11,900
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	383,000				383,000	373,387	9,613		9,613
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,318,000				1,318,000	1,317,782	218		218
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	27,000	1,104,742			1,131,742	1,131,742	0		0
サービス区分間繰入金支出	2,641,000			958,000	3,599,000	3,599,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	73,172,000	1,104,742	0	905,339	75,182,081	73,373,892	1,808,189	0	1,808,189

前期末支払資金残高	1,104,742
当期末支払資金残高	1,529,267

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	1,104,742
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	1,104,742
当期末支払資金残高	1,529,267
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	1,529,267

令和2年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　相談支援事業所ぱれっと

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	42,721,000				42,721,000	42,104,122	△ 616,878	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	1,629,000			144,000	1,773,000	1,773,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	44,350,000	0	0	144,000	44,494,000	43,877,122	△ 616,878	0

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	39,755,000	0	0	0	39,755,000	39,138,822	616,178	0	616,178
職員俸給	20,317,000				20,317,000	20,317,000	0		0
職員諸手当	4,673,000				4,673,000	4,281,930	391,070		391,070
職員賞与	8,517,000				8,517,000	8,417,251	99,749		99,749
非常勤職員給与	16,000				16,000	16,000	0		0
派遣職員費					0		0		0
退職給付費用	673,000				673,000	672,765	235		235
法定福利費	5,559,000				5,559,000	5,433,876	125,124		125,124
事業費支出	2,908,000	0	0	0	2,908,000	2,297,128	610,872	0	610,872
給食費					0		0		0
保健衛生費	34,000				34,000	33,753	247		247
教養娯楽費					0		0		0
保育材料費					0		0		0
水道光熱費					0		0		0
消耗器具備品費	212,000				212,000	210,740	1,260		1,260
保険料	184,000				184,000	166,620	17,380		17,380
賃借料	2,116,000				2,116,000	1,777,301	338,699		338,699
教育指導費					0		0		0
車輌費	362,000				362,000	108,714	253,286		253,286
雑支出					0		0		0
事務費支出	1,672,000	0	0	59,000	1,731,000	1,599,856	131,144	0	131,144
福利厚生費	77,000			51,000	128,000	127,300	700		700
職員被服費	84,000				84,000	78,540	5,460		5,460
旅費交通費	228,000			93,000	321,000	289,674	31,326		31,326
研修研究費	32,000				32,000	28,660	3,340		3,340
事務消耗品費	219,000				219,000	218,282	718		718
印刷製本費	89,000				89,000	35,200	53,800		53,800
修繕費					0		0		0
通信運搬費	607,000				607,000	586,899	20,101		20,101
会議費					0		0		0
広報費	91,000			△ 85,000	6,000	5,269	731		731
業務委託費					0		0		0
手数料	1,000				1,000	504	496		496
租税公課					0		0		0
保守料	31,000				31,000	22,167	8,833		8,833
諸会費					0		0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)	213,000				213,000	207,361	5,639		5,639
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出					0		0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	15,000	484,817			499,817	499,817	0		0
サービス区分間繰入金支出	0			85,000	85,000	85,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	44,350,000	484,817	0	144,000	44,978,817	43,620,623	1,358,194	0	1,358,194

前期末支払資金残高	484,817
当期末支払資金残高	741,316

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	484,817
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	484,817
当期末支払資金残高	741,316
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	741,316